

農林省水產局長 長瀬 貞一
農林省所管事務政府委員被仰付
製鐵所長官 中井 勵作

商工省所管事務政府委員被仰付
一昨七日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第二部豫算委員 伊藤仁太郎君
一昨七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
神戶商業大學移轉改築費ニ關スル法律案
(政府提出) 外二件委員

委員長 眞鍋 勝君
理事 中井 一夫君 深水 清君
一昨七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

未成年者飲酒禁止法中改正法律案外一件委員
星島 二郎君 蔭山 貞吉君
西岡竹次郎君 伊坂秀五郎君
田中 養達君 定塚門次郎君
前田房之助君 三宅 利平君
熊谷五右衛門君

一昨七日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
神戶商業大學移轉改築費ニ關スル法律案
外二件委員

辭任瀨川 光行君 補關定塚門次郎君
辭任石坂 豐一君 補關藤原 米造君
賠償金特別會計法中改正法律案外二件委員

辭任福井 甚三君 補關岩本 武助君
鐵道敷設法中改正法律案委員
辭任赤尾藤吉郎君 補關安原仁兵衛君
辭任生田 和平君 補關松岡 俊三君

競馬法中改正法律案委員
辭任川島正次郎君 補關鈴木 巖君
府縣制中改正法律案外三件委員

辭任武富 濟君 補關三宅 磐君
辭任小池 仁郎君 補關森保 祐昌君
一昨八日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第二部選出 大崎清作君(伊藤仁太郎君
補關)

第三部選出 土屋清三郎君(一松定吉君
豫算委員 補關)

第三部選出 長内則昭君(高島兵吉君補
請願委員 關)

第四部選出 山本宣治君(龜井貫一郎君
豫算委員 補關)

一昨八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(星島
二郎君外六名提出) 外一件委員

委員長 熊谷五右衛門君
理事 西岡竹次郎君 定塚門次郎君
一昨八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
蠶絲業法中改正法律案委員

辭任工藤十三雄君 補關大澤寅次郎君
○議長(元田肇君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、
御諮ヲ致シマスコトガアリマス、第三部選
出請願委員長内則昭君ヨリ常任委員辭任ノ
申出ガアリマシタガ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ許
可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ
行ヒ届出アランコトヲ望ミマス、議事日程
第一、明治四十年法律第十一號中改正法律
案ノ第一讀會ヲ開キマス——望月内務大臣

第一 明治四十年法律第十一號中改正
法律案(癩癰預防ニ關スル件)(政府提
出、貴族院送付) 第一讀會

明治四十年法律第十一號中改正法律
案
第四條ノ二中「前條ノ療養所」ノ上ニ「國
立癩癰療養所及」ヲ加フ

第七條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム
一 癩患者ノ救護費(國立癩癰療養所ニ入
ラシメタル癩患者ノ救護費ヲ除ク)又
ハ癩患者若ハ其ノ同伴者、同居者ニ對
スル一時救護費ニシテ被救護者又ハ其
ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得ザルモノ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(國務大臣望月圭介君登壇)

○國務大臣(望月圭介君) 本案ノ說明ヲ申
上ゲマス、國立癩癰療養所ハ、昭和二年度以
降三箇年繼續事業トシテ、既ニ第五十三議
會ニ於テ其建設費ノ御協賛ヲ得テ居ルノデ
アリマス、目下工事中デアルノデアリマス
ガ、之ニ伴ヒマシテ現行癩癰預防ニ關スル法
律中、次ノ二點ヲ改正スルノ必要ヲ生ジタ
ノデアリマス、即チ其一ハ、國立癩癰療養所
長ニモ道府縣立癩癰療養所長ニ於ケルト同様、
收容中ノ患者ニ對シマシテ、懲戒又ハ檢束
ノ權能ヲ與ヘル事デアリマス、其二ハ、國
立癩癰療養所ニ收容セル患者ノ救護費ハ、國
庫ニ於テ負擔スルヲ至當ト認メマシテ、道
府縣ノ負擔スル費用中ヨリ之ヲ除外スルコ
トデアリマス、是ガ改正ノ要旨デアアルノデ
ゴザイマスルカラ、御審議ノ上御協賛アラ
ンコトヲ切ニ御願シマス(拍手)

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマスガ、別
段ノ御通告ガアリマセヌ、仍テ日程第二、右
議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題
ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉
○原惣兵衛君 本案ハ議長指名九名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成「ト呼フ者アリ」
○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異存ハ
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル
○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メマ
ス、可決致シマシタ——日程第三及第四ハ
同種議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御
異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル
○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メマ
ス、一括シテ議題ニ供シマス、日程第三ハ
北海道會法中改正法律案、日程第四ハ北海
道地方費法中改正法律案デアリマス、其第
一讀會ヲ開キマス

第三 北海道會法中改正法律案(政府
提出)
北海道會法中改正法律案 第一讀會

北海道會法中左ノ通改正ス
第八條第三號中「夫役現台」ヲ「賦課徴收」ノ
下ニ「並ニ北海道地方費ノ分賦」ヲ加ヘ同
條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同
條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 北海道條例及北海道規則ヲ設ケ又
ハ改廢スルコト
第十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 北海道會成立セザルトキ、招集ニ
應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ
規定ノ準用ニ依ル除斥ノ爲會議ヲ開
クコト能ハザルトキ又ハ北海道廳長
官ニ於テ北海道會ヲ招集スルノ限ナ
シト認ムルトキ北海道會ノ權限ニ屬
スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決
スルコト

附則
本法中第八條ノ北海道地方費ノ分賦ニ關
スル改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施
行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ
以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

第四 北海道地方費法中改正法律案
(政府提出)
北海道地方費法中改正法律案 第一讀會

北海道地方費法中左ノ通改正ス
第三條中「地租ヲ賦課セザル」ヲ削ル
第八條ノ三中「第七十五條」ノ上ニ「第三
條ノ二」ヲ加ヘ「第三百三條第二項」ヲ「第
三百三條第二項第三項、第三百十一條第二
項、ニ」第三百三十條」ヲ「第三百二十九條」
ニ改ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則
本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ
北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ
昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規
定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

〔國務大臣望月圭介君登壇〕

○國務大臣(望月圭介君) 本案ハ自治權擴充ノ趣旨ニ基キマシテ、地方制度ニ關スル諸法律ヲ改正セントスル要綱ニ付キマシテハ、先日府縣制、市制、町村制ニ關スル改正諸法律案ヲ提案致シマシタ際ニ、詳細ニ申上ゲテ置キマシタカラ、此處デ詳シクハ申述バマセヌガ、此必要ハ北海道ニ於ケル自治ノ上ニ付キマシテモ、全ク同様ニ存ズル所デアリマスガ、右ト概テ同一ノ要領ヲ以テ、北海道會法及北海道地方費法ニ改正ヲ加ヘマシテ、以テ北海道ノ自治ヲシテ健全ナル發達ヲ遂ゲシメンコトヲ期スル次第デアリマス、御審議ノ上速ニ御協賛ヲ御願申上ゲマス(拍手)

○議長(元田肇君) 質疑ガアレバ計シマス——別段ノ御通告モアリマセヌカラ、日程第五ニ移リマス、右各案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第五 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原憲兵衛君 本案ハ一括シテ政府提出府縣制中改正法律案外十四件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メマス、可決致シマシタ——次ニ議事日程第六ハ、絲價安定融資補償法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第六 絲價安定融資補償法案(政府提出) 第一讀會

絲價安定融資補償法案

第一條 生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ政府ハ銀行ガ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ

依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ因リ損失ヲ受クルトキ銀行ニ對シ其ノ損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ者ニ對シ銀行ガ前項ノ條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

一 生絲ノ問屋
二 主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者

前二項ノ規定ニ依リ政府ガ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付テハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

絲價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 損失補償ノ契約ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ五年トス

第三條 損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フベキ損失補償金ノ總額ハ三千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ向不足アルトキ其ノ不足分トス

前項ノ損失ニ付政府ノ補償スベキ額ハ損失補償ノ契約ニ定ムル金額ノ制限其ノ他ノ條件ニ從ヒ絲價安定融資補償審查會之ヲ決定ス

絲價安定融資補償審查會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第九條 損失ノ補償ヲ受ケタル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ債權ノ取立ヲ爲シ其ノ取立金ヲ政府ニ納付スベシ

銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ問屋其ノ他生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ前項ノ債權ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 損失ノ補償ヲ受ケタル契約ヲ爲シタル銀行ガ本法若ハ本法ニ基キテ發タル命令又ハ損失補償ノ契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ本法施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者及第一條第二項各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ、其ノ事業又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本法ノ適用ニ付テハ產業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國務大臣(山本錦二郎君登壇)
○國務大臣(山本錦二郎君) 絲價安定融資補償法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、本邦ノ蠶絲業ハ國內重要産業ト致シマシテ、其ノ蠶絲收支ノ關係ニ於キマシテ、益、其重キヲ加ヘツ、アリマスルガ、併ナガラ審ニ其内容ヲ檢メマスレバ、遺憾ナガラ尙ホ幾多ノ缺陷ガアルノデアリマス、隨テ斯業ガ將來能ク今日ノ繁榮ヲ維持シテ、更ニ一段ノ發展ヲ遂グルガ爲ニハ、速ニ其全般ニ互テ根本的ニ改善ヲ加ヘ、充實ヲ圖ルコトヲ頗ル急務ト致スノデアリマスル、ソレ

故ニ政府ニ於キマシテハ、常ニ當業者ヲシテ、深ク此點ニ鑑ミテ、自發的ニ適當ナル施設ヲ講ゼシメマスルト同時ニ、是ト相俟テ著々適切ナル對策ヲ講ジマシテ、是ガ促進ヲ圖リ、以テ斯業ノ健全ナル發達ヲ全ウスルコトニ努力致シテ居ルノデアリマスル、而モ本邦蠶絲業ハ、未ダ其根柢ニ於テ堅實ヲ缺イテ居リマスルガ爲ニ、一朝絲價ノ非常ナル低落ニ遭遇致シマスレバ、當業者ハ到底自己ノ力ノミヲ以テ、是ガ對應ノ策ヲ講ズルダケノ實力ヲ備ヘマセヌノデアリマス、其結果ト致シテ、遂ニハ斯業ノ改善充實ノ實ヲ舉グルニ至ラザル中途ニ於テ、其存立ノ基礎ヲ危ク致シ、延テハ蠶絲業ノ衰運ヲモ招來シテ、此重要ナル國家的產業ガ不祥ナル事態ニ陥ル虞ガアルノデアリマスル、是ニ於テ是非トモ斯業ノ根本改善ヲ成就致シ、當業者ノ實力ノ充實ヲ見ルマデノ一時の方策ヲシテ、絲價ノ非常ナル低落ニ際シマシテハ之ヲ防衛シ、之ヲ安定セシムベキ施設ヲ備ヘ置キマシテ、以テ斯業ノ將來ノ發展ヲ期スル必要ガアルノデアリマス、而シテ絲價ノ著シキ低落ヲ來ス場合ニ付テ考ヘマスルニ、主トシテ蠶絲業者ガ信用薄弱デアリマスシテ、金融難ニ陥ツテ、ソレガ爲ニ已ムナク其製品ノ投資——賣急ギヲ爲スニ至リマスルノ原因デアリマシテ、他ニ格別ニ經濟上必然ノ原因ト見ルベキモノガナキニ拘ラズ、不自然ナル低落ヲ重ネル場合ガ多イノデアリマスル、此事情ニ鑑ミマスレバ、絲價安定ノ施設ハ必要ニ應ジ、何時ニテモ機ヲ失スルコトナク、敏活ニ發動シ得ル所ノ常備ノ組織ヲ必要トスルノデアリマス、而シテ其方法ト致シマシテハ、絲價低落ノ直接ノ原因ニ即應シテ、且ツ一面海外消費國ニ對シテ、成ベク誤解ヲ生ゼシメザルヤウニ努ムルコトヲ必要トスルノデアリマス、仍テ茲ニ右ノ趣旨ニ基キマシテ、生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シテ、異常ナル低落ヲ來シマシテ、本邦蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於キマシテ、製絲工業者ヲシテ其製品ノ賣急ギヲ手控ヘシメ、市場供給量ノ自然調節ニ依テ

絲價ノ安定ヲ得セシメンガ爲メ、平常ノ金融系統ニ依テ、製絲業者ニ對シ潤澤圓滑ナル資金ヲ融通シテ、其金融難ニ陥ルノヲ防グコト、致シマシテ、之ニ依テ銀行等ガ損失ヲ受ケマシタ時ニハ、政府ガ之ニ補償スル制度ヲ設ケントスルノガ本案ノ骨子デアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ本法案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アランコトヲ切望致シマス
(拍手)

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマスガ、通告者ガゴザイマス——加藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君 私ハ只今御提案ニナリマシ
タ、此絲價安定融資補償法案ニ付キマシ
テ、一、二ノ質問ヲ致シタイト考ヘテ居リ
マス、實ハ私考ヘマスニ、此度政府ガ幾多
ノ重要法案ヲ御提出ニ相成リマシタケレド
モ、此融資補償法案程重要ナ法案ハナイト
思フノデアリマス、恐ラク今期議會ヲ通ジ
マシテ、是程重要ノ法案ハアリマスマイ、否
議會立始マデ以來、斯ノ如キ重要ナル法
案ハ全クナカラウト考ヘル次第デアリマ
ス、何故ニ左様ニ申スカト申シマスレバ、
御案内ノ如ク今日ノ我國ノ國家經濟ハ、一
口ニ申シマスツ云フト、我が蠶絲ノ力ニ依
テ其大半ヲ維持セラレテ居ルト申上ダテ
モ、決シテ過言デハナイト信ズルノデアリ
マス、故ニ蠶絲ノ一顰一笑ハ、直ニ以テ國
力ノ消長ニ大ナル關係ヲ有スルト云フコト
ハ、何人モ能ク之ヲ唱ヘル所デアリマス、
然ルニ其蠶絲ガ昨今ノ狀態カラ之ヲ見マス
ルト云フト、頗ル危機ニ瀕シテ居ルヤウニ
思ハル、ノデアリマス、若シモ此蠶絲ガ減ビ
マシタナラバ、我が國家經濟モ減ビナケレ
バナラス、此意味カラ申シマスツ云フト、
我が國家經濟上是ヨリ重大ナル所ノ法案ハ
ナカラウト私ハ固ク信ズル者デアリマス
ガ、斯様ノ重要ノ法案ヲ我が田中内閣ナレ
バコソ御提案ニナツタデアリマセウ、此意味
ニ於キマシテ、私ハ滿腔ノ感謝ノ念ヲ拂
者デゴザイマス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(元田肇君) 靜肅二願ヒマス

○加藤知正君(續) 例ナカラ如何ニ感謝致シマシテモ、疑問ハ疑問デアリマスルカラハ、吾々ハ感謝スルト同時ニ、自分ノ有スル所ノ疑問ハ遠慮ナク之ヲ質シタイト思フノデアリマス。其疑問ハ澤山アリマスケレドモ、議事ノ進行ヲ考ヘマシテ、私ハ唯一、二、三、最も重要ト信ズル點ヲ申上デマシテ、之ヲ質シタイト考ヘマス、先以テ御尋ヲ申上デタイノハ、本法ノ第三條ニ損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フヘキ損失補償金ノ總額ハ三千万圓ヲ超ユルコトヲ得ス」トアリマスガ、斯ノ如ク三千万圓ト云フコトニ損失補償ノ金額ヲ限定セラレマシタイハ、如何ナル所ニ準據セラレタノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（元田肇君） 静ニ願ヒマス

○加藤知正君(續) 御案内ノ如ク今日我ガ
製絲ノ產額ハ、年ニ依リテ多少ノ相違ハアリ
リマスケレドモ、約九億圓前後ヲ算スルノ
デアリマス、相場ノ高低ニ依リマシテ、暴
騰暴落アルコトハ言フマデモゴザイマセヌ
ガ、假ニ二割ノ下落ヲ致シマシタトシテモ、
九億圓ノ產額ニ對シ其ノ一割ハ九千万圓デ
アル、若シソレガ二割下落致スト致シマス
ナラバ、一億八千万圓トナルノデアルガ、僅
ニ此三千万圓ヲ以テ、能ク絲價ノ安定ヲ爲
シ得ルヤ否ヤ、是レ吾々ノ疑問トスル所デ
アリマスカラ、此點ニ於テ政府當局ノ御答
辯ヲ戴キタイト考ヘルノデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（元田肇君） 静肅ニ願ヒマス

○加藤知正君(續) 次ハ只今申上ゲル如ク、蠶絲ノ一顰一笑ハ直ニ國力ノ消長ニ關スルト云フコトヲ何人モ申シマスガ、實際ニ於テドレダケノ蠶絲ニ力ガアツテ、左様ナコトヲ申スノデアルカ、之ヲ私ハ數字ニ付テ調ベテ見マスルト、能ク分ルコト、考ヘマス、明治元年カラ昭和三年ニ至ル六十二年間ニ於テ、我が蠶絲ガ海外ノ正貨ヲ取入レタ高ハ、ドノ位ニナツテ居ルカト申シマス、假ニ之ヲ十年毎ニ計算ヲ致シテ見マ

スルト 明治元年カラ十年迄ガ九千百二十
一万九千圓デアリマス、明治十一年カラ二
十年迄ガ一億五千三百九十二万二千圓、明
治二十一年カラ三十年迄ガ三億六千二百五
十萬五千圓、明治三十一年カラ四十年迄ガ
八億五百七十四万六千圓、明治四十一年カ
ラ大正六年迄ガ十八億九千三百十二万一千
圓、而シテ大正七年カラ昭和三年迄ノ十一
箇年間ニ於テ、我が蠶絲ノ取上ダタ高ガ實
ニ、六十五億二千五百二十四万四千圓ト云

フ巨額ニナツテ居ルノデアリマス、僅二十年ノ違ヒデアリマスケレドモ、明治四十一年カラ大正六年迄ノ十年ガ十八億九千餘万圓、然ルニ大正七年カラ其後ニ於ケル十一箇年ニ於テハ、六十五億二千五百萬圓ト云フ、實ニ驚クベキ所ノ數字ヲ示シテ居ルノ

デアリマス、之ヲ合計

計カ、九十八億三千百七十五万七千圓ト云フ高ニ達シテ居ル、斯ウ云フヤウナ巨額ノ數字ヲ示シテ居リマスカラ、我ガ蠶絲ト云フモノガ國家經濟ニ重大ノ關係ヲ持テ居ルト云フコトハ、爭ハレヌ事實デアルト言ヘルノデアリマス、諸君、斯ウ云フヤウナ重大ノ國家經濟ニ關係ヲ持シテ居ル蠶絲ガ、最近ニ於キマシテ、一年ノ輸出額ガ生絲ノミデ七、八億圓、之ニ絹織物其他ヲ加ヘバマスルト、約十億圓ニ垂ントスル所ノ輸出額ヲ示シテ居ル、僅ニ一箇年ニ於テ此巨額ノ金額ヲ外國カラ取入レル所ノ蠶絲ガアルガ爲ニ我國民ハ大ニ其意ヲ強フシテ居リマ

スガ、儲、此蠶絲八條

ハナイノデアリマス、即チ、世界二八二十

四箇國カラノ蠶絲國ガアルノデアリマスカラ、我國ノミノ特有物産デアルト思フタナラバ、ソレハ大變ナ間違ト言ハナケレバナラス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 静肅ニ願ヒマス

○加藤知正君(續) 而モ我が最大競争國デアル所ノ支那ハ、久シク内亂ニ亞グニ内亂ヲ以テシテ、此蠶絲業ノ發展モ圖ルコトガ出來ナカッタデアッタガ、最近ノ情報ニ依リ

マズルト云フト、支那國民政府ハ全カヲ此蠶絲ニ注イテ、以テ我國ト其覇ヲ爭ハントスル所ノ計畫ガアルト云フコトデアリマス、果シテ然ラバ我蠶絲ニハ國トシテハ此有力ナル支那ト云フ競爭者ガアルノデアル〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 静肅ニ願ヒマス

○加藤知正君(續) 品物トシテハ、諸君モ御承知ノ如ク、人造絹絲ト云フ恐レベキ勁敵ガアルノデアリマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ) 諸君ガ簡單ト言ヘバ益、長クヤリマス、絲ノ長サハ幾ヲ挽イテモ中ニ盡クルモノデハアリマセヌ、所ガ内ヲ顧ミマスルト、生産費ハ依然トシテ高イ、即チ勞銀高ク物價安カラズ、此高イ生産費ノ爲ニ、經營困難ヲ極ムルノニ、而モ外ヲ眺ムレバ、人造絹絲デアルトカ、支那ノ蠶絲業デアルトカ、内憂外患交ニ至テ居リマス、之ヲ以テ製絲家ノ狀態ハ、只今農林大臣ガ述べラレマシタヤウニ、洵ニ憐レムベキ狀態ニ居ルノデアリマスカ、之ヲ何トカセネバナラヌト云フコトハ實ニ焦眉ノ急デアアルノデアリマス、此時ニ於テ、此補償法案ヲ御出シナルト云フコトハ最モ時宜ヲ得タモノデ、吾々二百餘万ノ蠶絲業者ハ雙手ヲ舉ゲテ之ヲ歡迎スルノデアリマスル、併ナガラ今日是ト同時ニ更ニ一步ヲ進メテ蠶絲國策ト云フト同時ニ付テハ、吾々議員ハ勿論ノコト、政府當局ト雖モ大ニ此際考慮ヲ費サナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ、政府ハ此補償法案ヲ御制定ナサルニ付キマシテ、此蠶絲業ノ國策ト云フコトニ付テ如何ナル所ノ御考慮ヲ拂ハレマシタカ、ソレトモ之ニ付テ何カ御腹案ガ出來テ居ルノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、此蠶絲業ハ、只今大臣ノ御述ニナシタリ、將ニ危機ニ瀕セントシテ居ル、之ヲ如何ニシテ救ヒ、蠶絲業百年ノ大計ヲ立テテ、斯業ノ安全ヲ圖ルカト云フコトハ、吾國政料理ノ任ニ當ル者ノ雙肩ニ懸ル大問題デアアルノデアリマスカラ、此蠶絲國策ト云フコトニ付キマシテ、當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○加藤知正君(續) 昨年ノ特別議會ニ於キ

マシテ、經濟困難ニ關スル所ノ決議案ナル

モノヲ滿場一致デ以テ決議ヲ致シマシタ

吾々モ雙手ヲ舉ゲテ之ヲ贊成シタモノデア

リマス、併ナガラ私ヲシテ言ハシムルナラ

バ、我が蠶絲業ガ健全ナル發達ヲ致ス以上

ニ於テハ、經濟困難何カラン、蠶絲業ガ

健全ニ發達スレバ、即チ我が經濟上ノ困難

ナゾ打開スルコトハ御茶ノ子サイ」デ

アル、而モ此蠶絲ニ付テ私ガ數年來此議場

ニ於ケル所ノ實感ヲ遠慮ナク申上ダマス

ナラバ、議員諸君ノ大部分トハ申シマセヌ

ガ、極メテ蠶絲業ニ冷淡ナル人ノ多イヲ

遺憾トスル、特ニ民政黨ノ諸君ニ其人ノ多

イヤウニ思ハル、ノヲ私ハ遺憾トスルノデ

アリマス(拍手)本日民政黨ノ諸君ハ濱口總

裁ヲ陣頭ニ押立テ、不信任案ヲ出サル、ト

云フコトデアルガ、ソシテ不信任案ヲ出ス

ヨリモ何故ニ眞面目ニ此補償法案ト云フヤ

ウナ眞面目ナ問題ニ就テ眞面目ニ審議セナ

イノデアルガ、諸君ガ不信任案ナドヲ出シ

タ處デ、ソシテ事デ以テ容易ニ濱口總裁ニ

ナ田中内閣デハナイ、私ハ敢テ濱口總裁ニ

問フ、ソシテ不信任案ナドヲ出スヨリモ、

眞面目ニ此實業上ノ重大問題ニ就テ調査シ

研究シ審議シ、以テ國家百年ノ大計ヲ立テ

ラレタガ宜イデハナイカト云フコトヲ敢テ

之ヲ御尋スル、若シ答ヘル勇氣ガアルナラ

バ、此壇上ニ立テ宜シク答辯ヲ與ヘラレ

ヨ、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマ

ス(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 山本農林大臣

○國務大臣(山本侍郎二郎君登壇)

○國務大臣(山本侍郎二郎君) 只今ノ加藤君

ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、三千万圓

ノ補償ト云フ其根據ハ何レニアルカト云

フ、斯様ナ御質問デアッタヤウデアリマス、

三千万圓ト云フ根據ハ、大體非當時ニ於テ

非常貸付ヲ爲サナケレバナライ最高數量

ヲ十五万圓ト見マシテ、而シテ是ガ爲ニ生

ズル所ノ萬一ノ損失ヲ一圓ニ付テ二百圓ト

見當付ケマシテ、此三千万圓ト云フ金額

ガ出テ居ル次第デアリマス、而シテ十五万

圓デ宜シイカ、其損失ノ補償ノ程度ハ二百

圓デ宜シイカト云フ、此問題ニ付キマシテ

ハ、當局ニ於キマシテハ過去ノ事例ニ徴シ

マシテ、非常時ニ際シテ貸付ケベキ數量ハ

十五万圓ト云フコトヲ見當ニ致シテ置キマ

スレバ、十二分ダト斯様ニ考ヘテ居ル次第

デアリマス、御承知ノ通りニ大隈内閣ノ下

ニ於テ大正三年、原内閣ノ下ニ於テ大正九

年、若槻内閣ノ下ニ於テ大正十五年、而シ

テ現内閣ノ下ニ於テマシテ昭和二年ニ、斯

様ナ非常時ニ於ケル所ノ買収若クハ非常貸

付ヲ行ヒマシタノデアリマスルガ、皆此十

五万圓ト云フ數量以內ニ於テ目的ノ十分ニ

達シテ居ルノデアリマスルカ、先ヅ此限

度デアリマシタナラバ、大シタ間違ハナカ

ラウト考ヘマス、尙ホ蠶絲業ヲ如何ニ將來

發展セシムベキヤ、其對策ニ付テト云フ御

尋デアッタヤウニ記憶致シマスルガ、左様デ

ゴザイマスルカ、是ハ中々廣汎ニ互タ問

題デアリマシテ、今此席上ニ於テ悉ク御説

明申上ダレ譯ニハ參リマセヌガ、少クトモ

只今提出致シマシタ所ノ此補償法案ノ如キ

ハ、即チ蠶絲業ヲ發展セシムル所ノ極メテ

有力ナル一ツノ方法ト致シテ、政府ハ之ヲ

御協賛ヲ願フテ居ル次第デアリマス(拍手)

○加藤知正君 簡單デアリマスルカ此席上

ニ於テ……

○議長(元田肇君) 加藤知正君

○加藤知正君 詳細ノコトハ委員會ニ於テ

申上ダレコトニ致シマス

○議長(元田肇君) 岡崎久次郎君

〔岡崎久次郎君登壇〕

○岡崎久次郎君 極メテ簡單デアリマスルカ

ラ御安心ヲ願ヒマス、私ハ本案ニ對シテ、

二、三ノ質疑ヲ有スルモノデアリマシテ、

之ニ對シテ農林大臣ノ御明答ヲ承リタイノ

デアリマス、本案ノ趣旨ガ絲價暴落ノ爲メ

一時ノ設備デアル、期限ガ五箇年、三千

萬ノ融資ヲ以テ之ニ充テルト云フコトハ、

只今御説明ノ通りデ承知シマシタガ、補償

法ノ理由書ニアルガ如ク「絲價ノ安定ハ畢

竟蠶絲業ノ根本ノ改善ニ俟タサルヘカラス

ト雖モ」ト政府モ絲價ノ安定ハ蠶絲業ノ根

本ノ改善ニ俟タザルヲ得ズト認メラレリノ

デアリマスガ、由來積極政策、産業立國策

ヲ主張シ、而シテ農村ノ最モ理解ノ深イト

云フ政友會内閣ニ於テ、既ニ組閣以來二箇

年ニ近キ今日ニ於テ、如何ニシテ此根本問

題ニ付テノ解決方法ガ出ナイノデアルカト

云フコトヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイノデア

ル、加藤君ガ先般蠶絲ノ問題ニ付テ御質問

ニナッタガ如ク、私モ此點ニ付テハ敢テ異

議ハナイ、即チ根本ナル蠶絲ノ發展、殊ニ

加藤内閣ニ於テ、高橋農林大臣ノ時代ニ於

テ、貨幣鑄造益金特別會計ニ依ル乾葉裝置

及倉庫ノ設備ノ如キハ、極メテ今日ノ産業

問題ヲ解決スル其一端デアルト認メナケレ

バナラヌノデアリマス、既ニ根本ノ一部ハ

爰ニ其一端ヲ現ハシテ居ルノデアリマスル

ガ、若シ三千万ノ融資ヲ以テ、銀行ノ救済

デアルカ或ハ蠶絲業ノ救済デアルカ知リマ

セヌガ、此問題ヲ唯融資ニ依テ絲價ヲ安定

サセルト云フコトダケガ目的デアルノデ

ハ、ドウモ本員等ハ物足りナイ感ジガセザ

ルヲ得ナイノデアリマス、願クバ其一端ヲ

割イテモ、或ハ別ニ支出シテモ、産業立國

ヲ趣旨トセラレル政友會トシテハ、蠶絲業ノ

根本問題ニ觸レル方針ガ出ナケレバナラ

ヌト私ハ信ズルノデアリマスルガ、今議會

ニ對シテ根本問題ノ提出ガアルノデア

ルカ、ナイノデアルカ、此點ヲ第一ニ承

リタイ、更ニ又山本農林大臣ノ先程ノ

御演說ニハ、生絲製造家ノ賣急ガ絲價低

落ノ唯一ノ原因デ、他ニ何モ原因ガナイ、

而シテ其價格ノ維持ハ需要家、即チ米國ノ

誤解ヲ招カザルヤウニ努メタイ、御趣旨ハ

尤デアルガ、私ハ絲價安定セザル唯一ノ途

ハ、生絲製造家ノ賣急ガ唯一ノ理由――

唯一トハ言ハナイケレドモ、大部分ノ理由

デアルト云フコトニ對シテハ、今日ノ米國ノ

狀態及人造絹糸ノ發展ニ伴レタル時ハ、以

テ減シテ居ルト云フコトハ容易ナラザル問

ス、必ズシモ製造業者ノ賣急ギノミガ、絲

價下落ノ唯一ノ途デハナカリサウニ思ハレ

ルノデアリマス、此點カラ考ヘマスルト、

唯昔日ノ十五万圓ニ對スル融資ヲ以テ絲價

ノ安定ヲ爲シタト同ジ途行ケルト云フ風

ニ御考ニナルノハ、少シク輕卒デハナイカ

ト云フ感ガナイデハナイノデアリマス、此

點ニ付キマシテハ、今少シク明瞭ナル御答

辯願ヒタイノデアリマス、更ニ第三ニハ、

生絲ノ品質ノ向上ト販路ノ開拓ニ對シテ御

努力ヲ爲サル、此對策ノ必要ヲ私ハ認メル

ト思フノデアリマスガ、農林大臣ハドウ考

ヘラレルカ、申上ダモナク、我國ノ生絲ガ其

大部分ハ米國ニ輸出セラレ、而モ米國ハ

人造絹糸ガ其國產デアル、人造絹糸ハ七割

モ米國カラ出テ、米國ガ人造絹糸ノ國產デ

アル、其國ハ天然絹糸ノ我國ノ生絲ガ七割

モ行クノデアルカラ、其間ニ於テ十分ニ我

等天然絹糸ノ威力ヲ發揮シ、販賣ヲ促進ス

ベキ種々ナル手段ヲ講ズルト云フコトハ、

極メテ間接ノヤウデアルガ、又重大ナル事

デアルト私ハ考ヘマス、我國ノ貿易改善ノ

上カラ言フト、如何ニシテモ生絲貿易ノ一

欄ノ價格デナク、一欄ノ値段ハ幾分下落シ

テモ、金額ノ金額ヲ餘計ニ取ルト云フコト

ガ、貿易改善ノ上カラ今後必要デナイカト

信ズルノデアリマス、ツレニ付テ私ハ茲ニ

疑問ヲ有スルノデアリマス、三土大藏大臣

ハ施政方針ノ下ニ於テ、經濟問題ヲ簡單ニ

言ハレテ居リマスガ、昭和三年ノ貿易ハ昭

和二年ノ貿易ニ比シテ、輸出ニ於テ二千万

圓ヲ減少シ、輸入ニ於テ千七百餘萬圓ヲ増

加シタト云フコトヲ言ハレテ居リマシタ

ガ、御承知ノ通り昭和二年ニハ「モラトリ

ム」ノアタ財界混亂ノ時デアリマシタガ、

其昭和二年ヨリモ尙ホ輸出ハ減少シテ、輸

入ハ増加シタ、即チ出シタ物ハ少クシテ、

買シタ物ガ多イ、斯ウ云フ實際ノ狀況デアリ

マシテ、而モ其二千万圓ノ減少ハ何カラ來

テ居ルカ、其内容ヲ調べ見マス、生絲

ノ輸出ガ二千万圓減シテ居ルノデアリマス、

題デアルノデアリマス、而シテ更ニ綿絲ノ輸出が三千五百万圓減テ居ル、是ハ生絲ノ問題ニハ關係アリマセヌガ、纖維工業トシテ生絲ガ二千万圓、綿絲ガ三千五百万圓減少シテ居ル、是ハ輸出貿易ニ於テ容易ナラザル點デアルト云フコトノ御考ヲ持タナケレバナラズ、又全體ノ貿易額ニ於テ輸出ガ減テ輸入ガ増シタ、總額ニ於テノ金額モ減タ、是ガ政友會ノ積極政策ノ賜デアルト思ヘバ、國民ハ何人ト雖モ、政友會ノ積極政策ニ賛成ヲ表スル者ハ一人モナイト私ハ信ゼザルヲ得ナイ(拍手)斯様ナ狀態デアリマスガ、私ハ是ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、今後失張唯價格ヲ調節シテ以テ、貯藏ヲシテ販賣ヲ止メテ、而シテ價格ノ一部ヲ維持スルト云フコトデナク、販路ノ擴張ヲシテ、今後益、生絲ノ輸出ヲ増加スルト云フ方ニ努メテ、金額ヲ増加スル、此點ニ御努力ナサルコトガ最も重要ナル趣旨デアルト思ヒマシテ、本案ノ如キハ少シク帶ニ短シ襪ニ長シト云フ嫌ヒナキニシモ非ズ、寧ろ若槻内閣ノ時代ニ於テ融通ト擔保ト兩方ニ於テ生絲ノ價格維持ノ方ガ、遙ニ有效デアッタトハ思ハレザルカト云フ質問デアリマス、此點ニ於テ私ハ御尋ヲ致シマス(拍手)

(國務大臣山本悌二郎君登壇)

○國務大臣(山本悌二郎君) 岡崎君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ハ、蠶絲業ノ根本策トシテハ、養蠶業ニ對シテモト何等カスル必要ガナイカト云フヤウナ意味ニ拜聽致シマシタガ、左様デアリマスカ

○岡崎久次郎君 根本策タルモノヲ今期議會ニ提出スル意思ナキヤ

○國務大臣(山本悌二郎君) 蠶業全體ニ對シテデスカ

○岡崎久次郎君 イヤ養蠶業……

○國務大臣(山本悌二郎君) 養蠶業ニ對スル所ノ根本方策ト致シマシテハ種々アリマスルケレドモ、取敢ヘズ今期議會ニ提出致シテアリマスルハ、即チ桑園ノ改良ト云フ大事業ノ年度割ガ今年度ニ計上致シテアリマス、御承知ノ通り桑園ノ荒廢セルモノ

ハ二十万町歩ニ達シテ居リマスルケレドモ、取敢ヘズ植替ヲシテ、其收量ヲ遙ニ増加シ得ベキ所ノ面積ガ、約八万町歩アリマスルカラシテ、之ニ手ヲ著ケテ改良ヲ致スト云フ計畫ガ、今期議會ノ此協賛ヲ仰イデ居ル豫算計畫ニ現レテ居ルノデアリマス、又金融ト云フ極メテ大事ナ問題ニ付キマシテハ、此製絲ノ方面ハ只今補償法案ヲ提出致シテアリマスガ、養蠶ノ方面ニ付テハ非當時ニ於ケル金融關係ハ、矢張此法案ガ成立致シマスレバ、間接ニ養蠶業其モノニモ相當良好ナル結果ヲ及ボスモノト當局ハ信ジテ居リマスルガ、儲テ平時ニ於ケル所ノ金融關係ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ製絲、養蠶兩方ニ互テ極メテ重大ナル問題デアリマスルカラシテ、即チ現在ノ金融機關ニ甘シズベキヤ、又現在ノ金融機關ヲ改良シテ之ニ應ズベキヤ、又新ナル金融機關ヲ造ルベキヤ、頗ル御承知ノ通り重要ナル問題デアリマスルガ故ニ、今此金融機關——金融制度ノ改良ト云フコトニ付キマシテハ、經濟審議會ヘモ其意見ヲ尋ネテ居ル次第デアリマシテ、當局ニ於テモ之ニ付キマシテハ深く只今研究ヲ進メテ居ル次第デアリマシテ、今期議會ニ具體ノ成案ヲ得テ之ヲ提出スルト云フ運ビニハ、恐ラクハ參り兼ルダラウト信ズルノデアリマス、モウ一ツ此金融機關ト云フ外ニ、養蠶業ニ對スル所ノ金融關係ト致シマシテハ、乾繭倉庫ヲ獎勵シ、乾繭裝置ヲ助長致シマシテ、之ニ依テ、金融關係ヲ平均ナラシメ——圓滑ナラシメルト云フコトハ、當局ニ於テハ最も必要ナル事トシテ、既ニ此豫算ニ於キマシテモ相當ノ増額ヲ計上要求致シテアル次第デアリマス、ソレカラ絲價低落ノ原因ハ、製絲業者ノ賣急ギニノ起因シテ居ルガ如ク當局ハ説明ガアッタガ、自分ハ左様ニハ思ハナイガドウダト云フヤウナ、御尋ガアリマシタヤウデアリマスガ、私ハ只今提案ノ理由ノ説明ニ於テ述ベマシタノハ、非常時ニ於テ非常ナル瓦落ヲ來スト云フ其原因ハ、多クハ投資ニ存シテ居ル場合ガ多イト斯様ニ申シタノデ、絲價ガ平時ニ於テ低落致スト云フ

コトハ、唯内地ノ製絲家ガ投資ヲスル原因ノミデナイト云フコトハ無論ノコトデアリマス、大體ニ於テハ需要先ノ大勢ニ制セラレテ絲價ハ定マルモノデアリマシテ、而シテ我が生絲ノ七割ヲ消費スル所ノ米國ノ經濟狀況ガ、最も深刻ニ我が生絲ノ價格ニ影響スルト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、ソレ故ニ彼ノ地ニ於ケル所ノ人造絹絲ノ盛ニ產出サレ、而シテ價格ガ年々歲々低落シテ行クト云フ其趨勢ニ押サレテ、我が生絲ガ漸次價格ニ於テ低落ヲ來シテ、十年前ニ較ブレバ殆ド半分ニマデ低落致シテ居ルト云フコトハ、是ハ決シテ内地ノ製絲家ノ投資ノ結果デハナイノデアアツ、世界大勢ノ致ス所デアルト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、ソコデ輸出ガ非常ニ減少シテ更ニ減少シテ居ルガ、斯様ニ儘デ打捨テ置イテハイケナイノデアハナイカト云フ御尋ガ、第三點デアッタヤウニ思ヒマスガ、私ハ昭和三年度ニ於テ二年度ニ較ベテ多少ノ輸出ガ減少シテ居ルト致シマシテモ、ソレヲ必シモ左様ニ悲觀スル必要ハナイト思フノデアリマシテ、現ニ人造絹絲ノ影響カ知レマセヌケレドモ、兎ニ角價格ハ段々押サレテ居リマスルケレドモ、輸出數量ハ敢テ減ジテ居ラナイノデアアツ、漸次漸進ノ二矢張増加シテ居ル、此數字ハ將來ト雖モ亦同ジコトデアラウト思ハレマスガ、大體ニ於テハ米國關係ノ輸出デアリマスルガ、是ハ十年間ノ間ニ倍ニ往ニ於テハナツテ居リマスルガ、是ガ假ニ將來ト十箇年ニ於テ更ニ倍ノ輸出ニナラナイトシテモ、五割トカ八割トカノ増加ハ、必ズ來スモノデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、一年、二年ノ間ニハ多少ノ波瀾ハアリマセウケレドモ、將來ニ於テハ我國ノ輸出生絲ガ是ヨリ以上ニ減少スルト云フガ如ク、私ハ悲觀ハ致シテ居リマセヌ、併ナガラ販路ヲ擴張スルハ品質ノ改良ヲ行フト云フコトハ必要デアラカト云ヘバ、ソレハサウデナイノデアアツ、大ニ品質ヲ改良シテ、人造絹絲ノ如キモノガ出テ來テモ、此天然絹絲ノ特有ノ特

長ハ、ドウシテモ眞似ノ出來ナイヤウニ、天然絹絲ノ特長ヲ發揮セシムルヤウニ改良シテ行カナケレバナラヌト云フコトハ無論デアリマスカラ、ソレ故ニ當局ニ於キマシテモ、此點ニ付テハ相當ノ力ヲ入レナケレバナラヌト考ヘマシテ、從來ノ蠶業試驗場ニ於キマシテハ、養蠶ニ關スル施設ノミガ試驗ノ目的ニナツテ居リマシタノヲ、本年度豫算ノ計畫ニ於キマシテハ、更ニ之ニ製絲技術ノ研究ト云フコトヲ加ヘ、ルコトニ致シマシテ、御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス、又販路ノ擴張ト云フコトニ付テハ、是ハ米國ニ於テ販路ノ擴張ヲ更ニスルト云フコトノ必要ト同時ニ、米國以外ニ於テモ亦販路ヲ求メル方法ヲ講ズルコトガ極メテ必要デアツ、其點ニ於テハ岡崎君ト當局ハ意見ヲ同ウシテ居ル次第デアリマスカラ、此方面ニ向ッテモ相當ノ力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡崎久次郎君 極メテ簡單デスカラ此席カラ……

○議長(元田肇君) 宜シウゴザイマス

○岡崎久次郎君 農林大臣ニ極メテ簡單ニ伺ヒマスルガ、然ラバ乾繭倉庫、乾繭裝置ノ金額ヲ増シテ——詳細ノ數字ハ今記憶シマセヌガ、前二ハ六十二萬九千圓デアッタト記憶スルガ、ドレダケ御増シナツテ、ソレニ依テ乾繭賣買ノ趣旨ガ徹底サレル御意見デアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、第二ハ販路促進ノ緊要ナコトヲ御認ニナツタナラバ、私ハ他國ノコトハ言ヒマセヌガ、專ラ米國ニ於テ人造絹絲ノ宣傳ガ可ナリ痛切デアルガ故ニ、之ニ對抗スルト云フ意味デアリマセヌガ、天然絹絲ノ特色ヲ現ハスベキ總テノ天然絹絲促進方法ヲ講ズベキ豫算等モ、御持ニナツテ居ルノデアアルヤ否ヤ、此二點ヲ簡單ニ御伺シタイト思ヒマス

(國務大臣山本悌二郎君登壇)

○國務大臣(山本悌二郎君) 此乾繭倉庫並ニ乾繭裝置ニ對スル國家ノ補助ノ金額ハ、十四年度末迄ハ毎年六十万圓ト云フヤウニナツテ居リマシタノデスカ、昭和三年度ノ實行豫算ニ於キマシテ、七十六萬圓ニ之ヲ増

加致シタノデアリマス、來年度ニ於キマシ
テハ是ガ約七十五萬圓ニナツテ居リマス、
大體カラ申シマスレバ斯様ナコトデ乾繭裝
置並ニ乾繭倉庫ノ促進ト云フコトガ出來ル
カト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマスルガ、御承
知ノ通り是ハ國デ國營スルノデハナクテ、
地方組合ノ施設デアツテ、ソレニ國家ガ補
助ヲ與ヘルノデアリマスカラシテ、地方組
合ガ進ンデ一時ニ大ニ之ヲ行フト云フ資力
ガナクレバ如何ニ國家ガ之ヲ促進シタイ
ト考ヘマシテモ、俄ニ之ヲ促進スル譯ニハ行カ
ナイト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリ
マス、ソレ故ニ近年ヨリ今年ニ至ル迄ノ狀
況ニ微シマスレバ、此位ノ經費ヲ以テ補助
ヲ致セバ、ソレデ丁度民間ノ要求ニ應ズル
コトガ出來ルノデアリマシテ、此以上民間
カラ進ンデ大ニ施設ヲスルカラ、政府ノ方
ニ於テソレダケノ豫算ヲ取ツテ補助ヲシロ
ト云フ、其進ミ方ニ應ジテ豫算ヲ取ツテ之
ニ應ズルト云フ積リデアアルノデアリマス、
ソレカラ其次ノ御尋ハ何デゴザイマシタ
カ

○岡崎久次郎君 販路擴張ニ對スル本員ノ
質問ニ對シテハ御返答ガアツタヤウダガ、ソ
レニ對シテ豫算等モ御取リニナツテ居ル
カドウカ

〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 是ニ對シテ本
年度ニ於テハ何モ豫算ハ取ツテ居リマセヌ、
ソレハ實ハ販路擴張ト云フガ如キ事ハ商
賣事項ニ屬スルノデアリマスカラ、成ベク
是ハ當業者ニヤツテ貫ヒタイト實ハ思フノ
デシテ、併シ當業者ノ力ガ愈足リナイカラ
斯ウシロト云フ場合ニ於テハ、國家ハ出動
シタケレバナラヌダラウト思ヒマスガ、此
點ニ付テハ當業者ノ發奮ト反省ニ先ヅ以テ
待タタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○議長(元田肇君) 次ハ栗原彦三郎君

〔栗原彦三郎君登壇〕

○栗原彦三郎君 我ハ極ク簡單ニ二三點ノ
御質問ヲ申上ゲタイト考ヘマス、蠶絲業ノ
發展促進ノ爲ニ如何ナル根本方針ヲ政府ガ

持ツテ居ラレルカト云フコトニ付テハ、加藤
君及ビ岡崎君デ御質問ニナリマシテ、ソレ
ニハ大體ノ御答辯ガアツテ、稍、諒承ヲ致シマ
シタガ、私ハ更ニ進ンデ蠶絲業ト最モ密接
ナル關係ノアル蠶維工業ニ付テ、政府ハ如
何ナル根本方針ヲ持ツテ御居デニナルカ、是
ガ承リタイノデアリマス、日本ノ蠶絲業ノ
發展ハ單ニ政友會ノ政府ト云ハズ、民政黨
ノ政府ト云ハズ、官僚ノ政府ト云ハズ、何
レノ政府モ十分ニ注意セラレマシテ、其發
達促進ノ爲ニハソレ、相當ニ御盡力ニ
ナツテ居ルコトヲ私共ハ認メルノデアリマ
ス、其結果ト致シマシテ桑園ガ年々非常ナ
勢ヲ以テ改良セラレテ行キ、或ハ又原蠶種
ガ非常ニ改良セラレテ行キ、更ニ又飼育方
法ガ非常ニ改良セラレテ參リマシテ、最近
ノ狀態ニ於テハ少クトモ年々三百万貫ヲ下
ラザル所ノ増收獲ヲ見テ居ルノデアリマ
ス、此勢ヲ以テ致シマスレバ少クトモ近キ
將來ニ於テ一億五千万貫トナリ、十年後ニ
於テハ繭ガ必ズ二億貫ニナルト私共考ヘ
テ居ルノデアリマス、斯様ナ場合ニ於テ若
シ政府ガ蠶ノ輸出獎勵ヲノミ爲シテ居リマ
シテ、蠶維工業ヲ獎勵シナイト云フコトニ
ナリマスレバ、其將來ハ繭ノ非常ナル下
トナツテ、恐レベキモノガアルニ相違ナイ
ト考ヘルノデアリマス、且ツ日本現時ノ狀
態ヲ考ヘマスレバ、其國狀カラ申シマシテ
モ國民ノ體格、國民ノ勞働能率、其總テカ
ラ研究ヲ致シマシテ、蠶維工業ヲ以テ國ヲ
立テルヨリ外日本ノ將來ニ於ケル國民ノ生
活ヲ安定シ、國民ノ生活ヲ幸福ナラシメル
途ハナイノデアリマス、然ルニ若シソレ政
府ガ徒ニ目先ノ生絲貿易業者ノ運動ノミ容
レテ、之ヲ保護スル爲ニ汲々トシテ蠶維工
業ノ發達促進ノ爲ニ御盡力スル所ガナケレ
バ、國家將來ノ爲ニ大ニ悔ヲ貽ス處ガアル
ト考ヘルノデアリマス、政府ハ此點ニ付テ
如何ナル方針ヲ持ツテ居ラレルカ、之ヲ御聞
キ申シタイノデアリマス、更ニモウツ御
伺申シタイノハ、政府ガ蠶ニ養蠶ヲ御獎勵
ニナツテ居リマスルガ、是ハ私共ハ至極結
構ナ事デアルト考ヘ、且ツ感謝シテ居リマ

ス、併ナガラ政府ハ一億五千万貫迄御獎勵
ナサル御積リデアリマス、二億貫程度
ニ於テ爲サル積リデアアルカ、或ハ三億貫
程度迄御獎勵ナサル積リデアリマス、
現在ノ桑畑ノ少シモ増加シナイデモ、桑園
ノ根本ノ改良ニ依リ、飼育法ノ改良ニ依リ
マスレバ、現在ノ桑畑ヲ以テ二億貫ノ收
獲ヲ見ルコトハ決シテ難事デナイト私共考
ヘテ居リマスガ故ニ、二億貫ノ收獲ガア
リ、或ハ二億五千万貫ノ收獲ガアリマシテ
モ蠶維工業ノ發展ヲ圖リマシテ、世界ノ嗜
好——世界ノ人々ノ流行ニ遅レナイ所ノ製
品ヲ澤山造ツテ輸出スレバ、少シモ差支ナ
イト思フテ居リマスルガ、如何ナル程度迄政
府ハ御獎勵ナサル積リデアアルカ、或ハ無
限ニ獎勵ナサル積リデアアルカ、此點モ聞イ
テ置キタイノデアリマス、更ニ最後ニモウ
一點御聞キ致シテ置カケレバナラナイ事ハ
蠶絲業者ノ繭ガ出來過ル爲ニ絲ガ下落ス
ルノデアルト云フコト、絲ノ低落原因ヲ繭
ノ生産過剩デアルト爲シマシテ、或ハ夏蠶
或ハ秋蠶ノ掃立ヲ制限シテ貫ヒタイト云フ
ヤウナ主張ヲ爲シ、商工省ノ一部ニ於テモ
之ニ共鳴スル者ガアツテ、夏秋蠶ノ制限ヲ如
何ナル程度迄ニスルカト云フヤウナコト
ヲ、口走ツテ居ル者ガアリマス、爲ニ、全國
三百萬ノ養蠶業者ハ非常ニ恐怖致シテ居リ
マス、斯ノ如キ愚ナ事ヲ爲サレヤウトハ思
テ居リマセヌ、少クトモ山本農林大臣ハ蠶
絲業ノ一點ニ付テハ、吾々ト一致シタ意見
ヲ持ツテ居ラル、方デアリマスカラ、斯様ナ
馬鹿氣タ事ハ絕對ニ爲サラナイト考ヘテ居
リマス、之ヲ國民ニ知ラシメ、國
民ニ安心セシムル上ニ於テ、掃立ノ制限ト
云フヤウナ事ハ、近キ將來ニ於テ絕對ニ爲
サラナイト云フコトヲ、此演壇ノ上ニ於テ
天下ニ御聲明ナサルコトガ出來ルヤ否カ、
是モ御伺致シタイノデアリマス、更ニ加藤
君ガ、民政黨ハ蠶絲業ニ付テ冷淡ト云フ
ヤウナコトヲ仰セラレマシタガ、是非非常
ノ大間違デアツテ、若シ同君ガ左様ナ事ヲ信
ジテ居リマスレバ、私共同君ヲ蠶絲業者ノ
「オーソリティー」トシテ考ヘテ居タノデ

アリマスルガ、全ク此點ニ付テ「ゼロ」ノ方
デアルト言ハナケレバナラナイノデアリマ
ス、大隈内閣以來、加藤内閣以來、若槻内
閣ニ於テ、如何ニ蠶絲業ノ發展促進ニ付テ、
色々ノ施設ヲ爲サレタカ、(何モシテ居ナ
イ)ト呼フ者アリ)澤山ノ施設ヲ爲シテ居ル
デハアリマセヌカ、十分ナル施設ヲ爲シテ
居ル、尙ホ吾々ハ進ンデ更ニ多クノ施設ヲ
爲サントスルモノデアツテ、現内閣ノ計畫ニ
對シテ、尙ホ十分デアアルコトヲ考ヘテ居
ル者デアアル、然ルニ事モアラウニ、自ラ蠶
絲業ノ「オーソリティー」ヲ以テ任ジテ居ル
所ノ加藤君ガ、民政黨ニ對シテ冷淡デア
ナド、云フ一言ハ、如何ニモ聽捨ニナラヌ
一言デアアル、唯同君ガ劣等ナルコトヲ天
下ニ證明スルノミデアルト私共考ヘルノデア
リマス、尙ホ詳細ナル點ニ付テハ、委員會
ニ於テ御質問致シマス、先ヅ私ノ
質問シタ三點ニ付テ、十分ナル御答辯アラ
ンコトヲ要求致ス者デアリマス

○議長(元田肇君) 山本農林大臣

〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今ノ御尋ニ
對シマシテ答辯致シマス、第一ノ蠶維工業
云々ノ御尋ハ、確ト私ニハ其御質問ノ趣旨
ヲ捕捉スルコトガ出來兼ニマシタノデアリ
マスルガ、或ハ大ニ機業ヲ獎勵シナケレバ
ナラナイト云フ御意味デハナカッタカト思
ヒマスルガ、若シ左様デアリマスレバ、ソ
レハ商工省方面ニ於キマシテモ、種々之ヲ
獎勵スル、助長スル計畫ヲ立テ、居リマシ
テ、其一部分ハ、本年度ノ豫算ニモ現ハレ
テ居ル答デアリマス、又第二ノ養蠶ヲ獎勵
シテ行ク其目標ハ何レニ在ルカ、ドノ程度
マデ獎勵ヲシテ行クノデアアルカト云フ御尋
デアツタヤウデアリマスガ、第二ノ御尋ハ左
様デアリマスガ(栗原彦三郎君「サウデス」ト
呼フ)是ハ嘗テ往年日本ノ養蠶——繭ノ生
產額ノ限度ヲ定メテハドウダト云フヤウナ
議論ガ、各種ノ委員會等ニモ現ハレテ居リ
マシタノデアリマス、遂ニ結論
ト致シマシテハ、左様ナル目標ヲ此處ニ置
クベキデハナイノデアツテ、自然ノ生産ノ

成行ニ任セテ、生産出來ルナラバ、出來ルヤウニ之ヲ生産セシムルト云フ、放任ノ方針ヲ執ルヨリ外ハナイト云フヤウニ、意見ガ歸著シテ居ルノデアリマス、而シテ今日現狀ニ於キマシテハ、幸ニ生絲ノ消費ガ年々海外ニ於テモ増加致シ、我が輸出モ亦年々増加致シテ居ルノデアリマスルカヲシテ、此増加シテ居ル間ハ、矢張養蠶モ之ニ伴ウテ増加シテ行クコトハ、一向差支ナイコトデアリノミナラズ、寧ろ消費ガ増加シテ輸出ガ増加シテ行キマスレバ、之ニ順應スルベク、養蠶ヲ出來ルガ獎勵ヲシテ行カナクバナラヌト、左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ掃立數ヲ——掃立ヲ制限スルト云フコトヲ、當局ハスルカドウカト云フヤウナ御尋ガ第三デアリマシタヤウデアリマスルガ、左様ナ考ハ只今ノ所デハ持テ居リマセヌ

○議長(元田肇君) 加藤綱一君

〔加藤綱一君登壇〕

○加藤綱一君 簡單ニ二三御尋ヲ致シタイト存ジマス、本案ハ大體ニ於キマシテ、生絲ノ製造及加工スル者、若クハ問屋ヲ營ム者ヲ救済スル案デアルト思フノデアリマスルガ、之ヲ救済スルト云フ趣旨ハ、斯ウ云フ場合ニ之ヲ救済シナクレバ、蠶絲業ノ根本ヲ危ウスル虞ガアルカト云フ趣旨ニ、法案ニ現ハレテ居ルノデアリマスルガ、果シテ然ラバ政府ハ、蠶絲業ノ基礎ヲ危ウスル虞ノアルト云フコトハ、此生絲ノ製造、若クハ加工問屋業ヲ爲ス者ノミニ依テ、之ヲ救済スルコトガ出來ルト云フ考ヲ持テ居ラレカ否カト云フコトデアリマス、例ヘテ申上ゲテ見マスルナラバ、此製絲家ヲ如何ニ救済致シマシテモ、其根本ノ養蠶家ノ方ガ參テシマヒマシタナラバ、此方ガ蠶絲業ノ基礎ヲ危ウスル虞ガアルト思フノデアリマスルガ、之ニ對シマシテ農林大臣ハ如何ニ御考デアリマセウカ、御承知ノ如ク日本全國養蠶業ヲ爲サル地方ハ、極メテ少イノデアリマス、今日デハ最早農家ノ副業ト云フヨリモ、獨立シタル本業ニナテ居ル所ハ、地方ニ於キマシテハ非常ニ

多イノデアリマスルガ、其正業デアリマスル所ノ養蠶業ガ、如何ニ最近ニ困テ居リマスルカト云フコトハ、色ノ統計ニ依テ現ハレテ居リマスルガ、最近ノ二三ノ例ヲ申上ゲマシテモ、養蠶家ハ生産費以下デ、生産シタル蠶ヲ販賣シナクレバナラナイト云フコトニ、往々遭遇ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此生絲ノ製造加工ヲ救済スルト云フ案ヲ御出シナテ居ラヌノハ、ドウ云フ譯デアリマスルカ、此救済スル案ヲ出サレル意思ガ有ルノデアリマスルカ、無イノデアリマスルカ、第一ニ御何致シタイノハ、養蠶組合ヲ制定スル意思ガデアリマスルカ、若シ此組合ヲ制定スル意思ガアリマスルナラバ、本年ノ議會ニ御提案ナサル意思ガアルカ否カト云フコトヲ承テ置キタイノデアリマス、ソレカラ此補償法案ハ、先程加藤君カラノ御尋ガアリマシタガ、其總金額ハ三千万圓以内ト決メテ御出デニナリマスルガ、其根據ハ先程ノ御説明デ一應分リマシタガ、然ラバ此第一條ノ契約ニ屬スル内容方法ハ、如何ナル手續ヲ御執リニナリマスルカ

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○加藤綱一君(續) 此法案ニ依リマスルト、此補償法ニ依リマスルト、損失ノ全部ヲ補償スルト云フ形ニナテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ何十人何百人ノ損害ガ、若シ三千万圓以上ニナリマシタ時デモ、之ヲ補償セナクレバナラヌト云フ結果ニナリマスルガ、サウ云フ時ニハ一體ソレ以上ノ金額ハ、誰ガ責任ヲ負フノデアリマスルカ、又此補償委員會ヲ組織致シテ、主務大臣ハ此補償委員會ノ議ヲ經テ、適當ナル者ニモ補償ヲスルト云フ案ガ出テ居リマスルガ、此補償委員會ノ議ヲ經テ適當ト認メル者ト云フモノハ、例ヘバ如何ナルモノデアリマス、一例ヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス、又此補償委員會ノ組織及權限ハ、勅令ニ讓ルト云フコトニナテ居リマスルガ、其勅令ノ内

容ハ大體定マテ居ル等デアリマスカラ、御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、又此補償契約ヲ爲ス期間ヲ五箇年間ト御定メタル所ノ理據ハ何處ニ在リマスルカ承リタイノデアリマス、最後ニモウツ承リタイノハ、此法案ハ大體ニ於テ、經濟界ノ變動ニ依テ、絲價ノ非常ニ變化ヲ致シタル時ニ、生絲ノ製造加工及問屋業ヲ爲ス者ヲ救済スルト云フ案デアリマスルガ、是ハ歷代ノ内閣ガ似タヤウナ事ヲ度ミヤテ居リマスルガ、姑息ナル救済案ニ過ギヌト、私ハ思フノデアリマス、故ニ農林大臣ハ百尺竿頭ニ一步進メテ、此生絲業ハ現在投機事業ニ見ラレテ居ルノデアリマス、日本ノ農民ノ大部分ノ者ガ、從事シテ居ル業務デアリニ拘ラズ、是ガ投機ノ事業ノヤウニ見ラレテ居リマシテ、製絲家ノ或ハ破産ヲスルトカ、業務ヲ閉鎖スルトカ洵ニ變動極マリナキ狀態デアリマスルガ、斯ウ云フ狀態デハ、此根本ヲ救済スルコトハ出來ナイト思フノデアリマスルガ、現在國民ノ大多數ノ從事致シテ居リマスル此事業ニ對シマシテ、根本的ニ之ヲ救済スル案ヲ何カ御考ニナテ居ラナイカドウカト云フコトヲ、承リタイノデアリマス、一例ヲ申上ゲマスルナラバ、此生絲業ノ如キ事業ハ投機ノ事業デナクシテ、普通ノ眞面目ナル事業ニサシタイト思フノデアリマスルガ、其方法ト致シマシテハ、一步ヲ進メテ此生絲ヲ專賣ニスル御考ハナイカドウカヲ御伺シタイノデアリマス、若クハ之ヲ專賣ニスル意思ハナイカ、或ハ半民半官ノ大會社ノヤウナモノヲ造リマシテ、其會社ノ手ヲ經テ賣買サセルト云フヤウナ、專賣ニ等シキ制度ヲ御設ケニナル御考ハ持テオキデニナラマカ、此大綱ノ事ノ付テノ明確ナル御答辯ヲ承リタイノデアリマス(拍手)

〔國務大臣山本錦二郎君登壇〕

○國務大臣(山本錦二郎君) 御答辯致シマス、第一問ハ、本案ハ製絲業關係ノ方面ノミヲ非常時ニ於テ救済スル案デアルガ、養蠶業ニ對シテ何故斯様ナ法制ヲ設ケナイカト云フ御尋デアッタヤウニ思ヒマスルガ、製

絲業ニ對シマシテ、非常時ニ斯様ニ必要ノアッタト云フコトハ、過去ノ事績ニ徴シテ明デアリマスルカラシテ、故ニ此法案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスルガ、法案ノ效果ガ製絲業ニ向テ現ハレマスレバ、ソレガ即チ間接ニ矢張養蠶業者ノ救済ト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、非常時ニ於キマシテ斯様ナ法制ガナクシテ、ソレガ爲ニ製絲業者ガ續ク破産ヲスル、斯様ナ狀態ニデモ立至リマスレバ、其結果ガ即チ蠶ヲ供給スル所ノ養蠶業者ニ及ブト云フコトハ、申迄モナイノデアリマス、唯茲ニ一言致シテ置キタイコトハ、當時ニ於ケル所ノ金融ト云フコトハ、非常時ニ於ケル金融ト云フコトハ、分ケテ御考ヲ願ハンケレバナラヌノデアリマシテ、當時ニ於ケル所ノ金融關係ニ付テハ、既ニ襲ニ申上ゲタ通り、當局ニ於キマシテモ種々ノ方法ニ依テ、矢張養蠶業者ノ方面ニモ相當ノ方法ヲ立テタイト、斯様ニ考ヘテ、今現ニソレヲ調査中デアルト云フコトヲ、申上ゲタノデアリマス、此法案ハ非常時ニ於ケル所ノ法則デアリマスガ、非常時ニ於ケル法制ヲ、茲ニ製絲業者ニ對シテ立テマスレバ、其結果ハ即チ養蠶業者ニモ相當宜シカラウト、斯業ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ養蠶組合ヲ提出スル所ノ考ヘハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ餘程研究ヲ要スル問題デアリマシテ、或ハ今日ノ産業組合ト云フ組合法ニ相當ノ改正ヲ加ヘテ、其目的ヲ達スルト云フヤウナコトモ、一ツノ方法デアリマスマイカ、ソレトモソレデドウシテモイカスト云フコトデアリナラバ、即チ一種ノ法制ヲ、特ニ養蠶業者ニ對シテドウスルト云フコトノ必要モ又起ルカモ知レマセヌガ、目下ノ研究ニ依リマシテハ、マダ養蠶組合法ト云フ特別ナ法律ヲ立テ、宜シイト云フ結論ニマデハ到着致シテ居リマセヌ、ソレカラ五箇年ト限シタノハドウデアアルカ、此法案ヲ五箇年ニ期限ヲ切ッタノハドウ云フ譯デアアルカト、斯様ナ御尋デアリマシタガ、實ハ斯様ナ非常ナル絲價ノ暴落ト云フガ如キ場合ニ際シテ、國家ガ救済ノ手ヲ伸

バサナケレバナラヌト云フガ如キコトハ、甚ダ喜ブベキ現象デハナイノデアリマシテ、當業者自身ガ常ニソレダケノ備アリシテ居テ、非常ナ場合ガアツテモ、之ニ應ズルダケノ準備ガ當業者ニナクテハナラヌノデアリマス。

ノ御質問ハ、稍、具體的ノ細カイコトニ互フテ居リマス。政府委員ヲシテ答辯致サセマス。

〔政府委員石黒忠篤君登壇〕

○政府委員(石黒忠篤君) 只今加藤サンノ御質問ノ二點ニ付テ私カラ御答ヲ申上デマス。本案ノ第一條ニ於ケル損失ノ補償ノ契約ヲ致スト云フコトガ、三千万圓ヲ超過ス場合ニ於テハ、其損失ハドウナルカト云フ御質問デアリマス。第一條ハ御覽ノ通りニ「損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得」トアリマシテ、大正三年ニ於キマスル議會ニ提出ニナリマシタ補償案ノ如クニ、損失全部ヲ補償スルコト云フコトハ書イテナイノデアリマス。從ヒマシテ損失ガ非常ニ多クナル場合ニ於テハ、一部分ノ補償ニ止マル場合ガアルノデアリマス。其損失ノ補償ノ許サレテ居ル範圍ハ、第三條ニ於ケル三千万圓ト云フノ限度デアリマシテ、ソレ以上ハ此法案ニ於キマシテハ補償ヲ致サナイノデアリマス。從ヒマシテ非常ナル低落ガ更ニ擴大セラレマシテ、ソレ以上ニナツタ場合ハ、二百万圓以上ノ損失ト云フモノハソレハ銀行ノ損失ニナルト見ル外致方ガナイノデアリマス。尙ホ政府ガ其際ニ於テ或ハ三千万圓ノ金額ヲ増ス必要アリト云フヤウニ、大勢ノ上カラ見マシタ場合ニハ、更ニ議會ノ御協賛ヲ經ルコト、考ヘマス、ソレカラ次ニ絲價委員會ノ組織ト云フモノヲドウ云フ風ニ見テ居ルカ、權限ハドウデアルカト云フコトデアリマス。是ハ普通ノ政府ノ諮問機關トハ餘程違ヒマシテ、非常ニ重要ナル機關ト考ヘテ居ルノデアリマス。法律ガ絲價委員會ノ議ヲ經テト云フコトノ條件トシテ、政府ノ發動ニ制限ヲ付ケテ居ルノデアリマス。從ヒマシテ普通ノ諮問機關ヨリハ、餘程重大ナ委員會ト考ヘテ居リマス。恰モ日本銀行特殊融通補償法ニ於キマスル補償審査會ノ如キ權限ヲ持テ居ルモノト御了解ヲ願ヒタイノデアリマス。其組織ハ、從ヒマシテ財政、經濟、貿易、各方面ニ互ル方ニ御願ヲ致シテ、最も慎重ニ御審議ヲ願ヒタイト考ヘテ居ルノ

デアリマス。尙ホ委員會ノ議ヲ經テ政府ガ適當ト認メルモノハ融通ヲスルコト云フコトニナツテ居リマス。其適當ト認メルモノハ何カト云フ御質問デゴザイマス。是ハ其時ニ於テ絲價委員會ガ慎重ニ審議ヲ致シテ決定スルノデアリマス。例ヘバ帝國絲價會社ノ如キ、或ハ生絲販賣組合ノ聯合會ノ如キ、斯ウ云フヤウナモノニ付テ、慎重審議ノ結果決定セラル、コト、存ジマス。其他ノ勅令ノコトナドハ、詳細ノコトハ委員會ノ時ニ申上ゲタイト存ジマス。

○議長(元田肇君) 田淵豐吉君

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 極ク簡單ニ質問シタイト思ヒマス。一體此經濟組織ト政治組織ノ關係ガ明ニナツテ居ナイノデス。非常ニコンガラガテ居ルノデアアル、個人の經濟ト國家ノ財政ト云フモノトノ關係ガ、非常ニ密接ナ關係ヲ持テ來マシタガ爲ニコンガラガテ來ル、ソコデ農民トカ、當業者トカ、政黨員トカ、政黨ノ起ル所ノ土地ノ產業ノ狀態、一種ノ「エゴイズム」個人主義、政府ノ人民ヲ宥メル方法、非常ニコンガラガテ居ルノデアアル、第一ニ聞キタイノハ、是ハ何ト云フ書キ様デアアル「生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ絲價委員會ノ基礎ヲ危カスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲ニ必要アリト認ムルキハ」ト云フ法文デアアルガ、何億ト云フ此世界の生絲ニ對シテ、僅カ三千万圓ノ金デ

〔議長元田肇君議長席ヲ退キ副議長清瀨一郎君代リ著席〕

ソレモ一時ニ直グ出シテヤルノデハナイ、ソナコトデ果シテ出來ルカ、マルデモハ書イテ居ル、ソナコトヲ書イテ置ケバ、後デ尻詰ルコトハ分リ切テ居ル、私ハ細カイコトハ知ラナイカラ大キナ點ダケ述ベテ置ク、私ハ能ク知リマセヌガ、生絲ハ伊太利ニモアリ、支那ニモアル、日本ノ生絲ヨリ良イト云フコトデアアル、日本ハ此頃大分造出シタト云フ狀態デアアル、サウ云フヤウニ生絲ハ世界の產物デ、亞米利加デモ造ラウトシテ居ルラシイガ、果シテ生絲ハ世

界の價格ノ變動ヲ受ケルモノカドウカ、ドウ云フ點ニ於テ世界の變動ヲ受ケルコトノ多イ產物デアアルカ、又日本特殊の產物デアアルカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス。世界の二大ナル變動ヲ受ケル中ニ危イモノデアアルカドウカト云フコトガ聞キタイ、第二ニ聞キタイノハ、人造絹絲ノ狀態デアアル、麥酒見タヤウナ藥ヲ掛ケテ、三十分間置イテ置クト木ガ絲ニナル、サウシテ光澤ヲ減スコトモ出來レバ、洗フコトモ出來ル、サウシテ段々價格ガ低廉ニナル傾向ガアル、所ガ世界ノ食料品ガ高イカラ、人間ノ勞力ガ高クナル、蠶ハ人間ノ勞力ヲ俟テ大キクナルノデアアルカラ、土手飼見タヤウニシテ、地面ノ上ニ造ルト云フ狀態ヲ生ジテ來タ、成ベク自然的ニ人工ヲ加ヘナイヤウニスル、人工ヲ加ヘルト勞銀ガ高クナリ、勞働黨ガ起ル、益高クナル、法律ガ出來テ、人民ノ平等ヲ叫ブ、生絲ノ生産費ガ益高クナツテ、人造絹絲ガ低クナツテ來ル狀態、此二ツノ特殊の二優良ナル天然絹絲ト、粗製ニ見エル所ノ人造絹絲トノ間ノ差額ガ段々大キクナツテ行ク、藍ヲ印度ニ於テ保護シタケレドモ、遂ニ是ハ減ビテシマッタ、詰リ天然絹絲ハ毎年惡クナリ、人造絹絲ハ段々發達スベキモノデアアルガ、日本ハ此人造絹絲ヲ獎勵シテ、支那ニモ輸出シ、外國ニモ輸出スルヤウニ、生産費ヲ省ク爲ニ如何ナル御考ヲ持テ居ルカト云フコトハ、此中ニ潜シタル重大ナ要件ト思フ、三千万圓ヤ五千万圓ノ小サナ問題デアナイ、モト深イノデアアル、故ニ此人造絹絲ト云フモノヲ獎勵スルカ、人造絹絲ノ前途如何ト云フコトヲ見届ケナケレバ、斯ウ云フモノヲ出セル義理デハナイ、私ハ恐ル、日本ノ今ノヤウナ天然絹絲ガ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、現ニ群馬縣邊リデモ段々食ヘナクナルト云フ狀態デアアル、斯ナ客チ臭イ膏藥貼リヤツテ、後デボカント落スヤウナコトハ、政府モ注意シナケレバナラヌ、政黨モ注意シナケレバナラヌ、此前途如何ト云フコトヲ見定メナケレバナラヌ、故ニ私ガ聞キタイノ

ハ、生絲ノ價額ノ變動、世界的變動ガ、ドウ云フヤウナ状態ニ依テ上ツタリ下ツタリシテ居ルカ、又世界的状態ガ日本ノ市場ニ及ボス所ノ影響ノ影響及産額、其他ノ状態カラ起ル所ノ日本ノ状態ガ、如何ナル所ノ状態ヲ取テ居ルカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス、サウシテ先ニ問ウタ點デゴザイマスガ、大ナル所ノ變動ニ、此小サイ金デ以テ、サウ云フコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ點ヲ第二點ニ聞キタイ、第三點ニ私ノ聞キタイコトハ、先ニ申シタ人造絹絲ガ、如何ナル所ノ趨勢ヲ以テ我が日本ニ入ッテ來テ、之ヲ獎勵シナケレバナラヌモノデアリカ、如何ニ取扱フベキモノデアリカト云フコトヲ、根柢的ニ調ベナケレバ、此救済ハ出來ナイ相談デハナイカト私ハ思フ、第四ハ、此製造者トシテ加工變形スル所ノ人ト、一般ノ農民トノ關係ハドウナッテ居ルカ、悉ク生絲ニ關係シタ者ガ此恩典ニ與ルカドウカ、唯一部ノ者、政黨ニ加擔シテ居ル者、アノ會社トカ、妙ナモノヲ保護シテ、ソレガ變ニナッテ行クノデハナイカ、斯ウ云フ例ガ澤山アルノデアリマス、此點ニ付テ國民ノ安心スルヤウニシナケレバナラヌ、金ハ只取ラレタガ、却テ出來ナイモノヲ有メテ、結果ガ惡クナッテ、地獄ニ落シテシマフト云フコトガ私ハ宜クナイト思フ、之ヲ第四ニ聞キタイ、若シ山本サンガ知ッテ居ルカドウカ、是ハ即チ資本家ノ或者ニヤッテ、一般ノ農民ニ利益ヲ與ヘナイデ、諸君ノ力ヲ以テ斯ウ云フモノヲ作ッテ、支離滅裂ナル小サイ、斯ウ云フモノヲ拵ヘテ、國家ノ干涉ノ状態、補助ノ状態ガ何處マデ行キ得ルカト云フコトヲ十分調ベナイデ、當分手近ナ斯ウ云フ事ヲスルノデナイカト云フコトヲ虞レル、斯ウ云フコトヲ聞キタイノデアリマス、第五ニ聞キタイノハ、關稅ト云フモノト、補助金ト云フモノト、此補償法ト云フモノガ、如何ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカ、左様ナコトハ委員會デモ、必ズ論議ガ起ルカモ知レマセウガ、此點モ聞キタイ、如何ナル所ノ状態——或ハ保護關稅、即チ獎勵ノ關稅、或ハ又此補助

金——砂糖トカ云フヤウナモノニ出ス補助金、或ハ又補償法ト云フヤウナモノガ、如何ナル關係ヲ以テ我が經濟上、財政上ニ與フルモノカト云フ所ノ影響ヲ考究スルニ非ズンバ、斯ウ云フモノガ如何ニ續出シテモ、結局國民ヲ救フコトガ出來ナイ、却テアトデ災害ガ生ズルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ深く慮ル、一人デアリマスガ故ニ、是等ノ數點ニ付テ諸君ノ反省ヲ促シ、サウシテ御同様に十分ニ根本的ニ研究スルト共ニ、大臣ガ此壇上ニ於テ御答辯アラシコトヲ切ニ望ンデ此壇ヲ降ル次第デアリマス

〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 田淵君ノ御尋ハ頗ル多岐ニ互ッテ居リマスヤウデスガ、簡單ニ御答ヲ申上ゲマス、第一ハ、法案ノ書キ方ガ宜クナイデハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、當局ハ頗ル洗練シタ書方ヲヤッテ居ル積リデアリマス、又世界的ニ……

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(山本悌二郎君)(續) 絲價ハ世界的ノ變動ヲ受ケルカドウカト云フ御尋ノヤウデシタガ、勿論先刻カラモ御説明申上ゲテ居リマス通りニ、主トシテ需要先ノ價格ニ依テ、我國ノ生絲ノ價格ハ制セラレテ居ルノデアリマス、人造絹絲ヲ大ニ獎勵シタラ宜イデハナイカ、連モ天然絹絲ハ最早人造絹絲ニ押サレテ、將來ノナイ仕事デハナイカ、ソレヨリハ人造絹絲ヲ獎勵シタ方が宜イデハナイカト云フ意味ノ御尋ノヤウデアリマシタガ、若シ左様ト致シマスレバ、私ハ左様ナ考ハ持ッテ居リマセウ、只今ノ所ハ人造絹絲ハ大ニ發達シテ參ッテ居リマステレドモ、ソレニ拘ラズ天然絹絲ノ消費モ亦同ジク増加致シテ居リマス、是ハ相並ンデ行クコトガ、將來ト雖モ出來ルモノト考ヘテ居リマスカラ、天然絹絲ノ將來ハ、田淵君ノ如クニ左様ニ悲觀致シテハ居リマセウ、又此案ニ依テ救済サレル者ガ製絲業ノ全部デアリカ、或ハ一部デアリカト云フ御尋デアリマシタガ、無論法案ニ規定ヲシテ居ル資格ノアル者ノ全部ニ互ッテ適用サレルコトニナルノデアリマス、關稅其他ノ關

係ガドウカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、製絲業助長獎勵ノ上ニ於テハ、關稅、補助金、助成金ト云フヤウナモノガ關係ヲ持ツコトハ申ス迄モアリマセウケレドモ、本案ハ關稅トハ何等ノ關係ヲ直接ニ持ッテ居リマセウ

○田淵豐吉君 私人先ニ言フタ點ハ、文字其モノハ日本ノ文字デアッテ、立派ニ書イタルガ、併ナガラ其實質ト云フコトニ關係スルト、非常ニ違ッテ居ルト云フコトヲ私ハ言フノデアリマス、敢テ是ハ御答辯ニハ及ビマセウガ、御答辯ガアレバ伺ヒマス、

第二點ハ天然絹絲ト人工ノ絹絲ト云フモノト併行スルト云ヒマスケレドモ、此人工ノ絹絲ノ爲ニ、天然ノモノガ非常ニ價格ノ上ルコトヲ防ガレテ居ッテモ、寧ロ下ル傾向ガナイカト云フコトヲ聞イテ居ル、之ニ付テモウ一度聞キタイ、若シ無イト云フナラバ、ドウ云フ理由デアリカ、世界的現象ニアラズシテ、天然絹絲ト人造絹絲トノ間ノ衝突點ニ於テ起ルコト云フコトハ、私ハ只今確信シタイト思フ、サウ云フ點デアリマスカラ、其點ニ付テ聞キタイ、第四ノ點ハ、何モ關稅デアルトカ、補助金トカ、此補償法ト云フヤウナ、今度ノ法案ニ照ラシテ言フノデアリ、山本サンハ大體懷ノ人、大政治家トシテ見テ居ル、是ハ總テノモノヲ含ンデ、サウ云フ點カラ見ルベキデ、左様ナコトハセアラシナイト思フガ、又之ニ付テ御答辯アラシコトヲ願フノデアリ、決シテ此問題ノミニ付テ私ハ言フノデアリト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイ、是ダケデアリマス

〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 天然絹絲ノ價格ト人造絹絲ノ價格ニ付テ御尋デアリマス、御答申上ゲマス、天然絹絲ノ價格ハ、人造絹絲ノ價格ガ漸次安クナッテ行クニ伴ウテ、矢張安クナッテ參ッテ居ルノデアリマス、十年以降ノ經過ニ微シマシテモ、人造絹絲ハ段々安クナッテ行ク、ソレニ伴ウテ我ガ天然絹絲ノ如キモ、殆下半分ノ價格ニ下落ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ一面ニ於テハ技術ノ進歩其他ノ關係カラシ

テ、我國ノ天然絹絲ノ生産費ト云フモノモ、亦相當ニ安クナッテ參ッテ居リマスノデ、是ガ爲ニ人造絹絲ノ壓倒スル所トナルト云フコトハ、將來殆ド無イ積リデアリマス、又無イヤウニスルト云フコトガ當局ノ責任デアリ、又國民ノ責任デアルト斯様ニ考ヘテ居リマス

〔田淵豐吉君登壇〕

〔簡單ト云フ約束デアリカ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○田淵豐吉君 約束ハ簡單デアリマス……

〔笑聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○田淵豐吉君(續) 私ハ農林大臣ニ聞キタイ、價格ガ人造絹絲ガ半分ニナッテ居ル、サウシテ天然絹絲ノ生産費ト云フモノガ段々少クナルト云フコトハ、私ハ前者ハ肯定シタイト思ヒマスケレドモ、後者ハ肯定スルコトガ出來ナイ、段々安クナッテ居ナイ、私ハ一年ヤ二年ノコトハ知りマセウガ、段々後來ハ高クナル傾向ヲ辿ルノデハナイカト思フノデアリマス、故ニ人造絹絲ハ段々ト安クナリ、天然絹絲ハ段々高クナル傾向ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、此點ニ付テ御尋シタイ——ハッキリシタイ、大臣其答辯ダケデアリカス、委員會ニ於キマシテモ私出ルカ出ナイカ知ラヌガ——出ナイデセウ、ソレカラ第二ニハ、此非常ナ差額ノ「パランス」ノ出來ル所ノモノヲ、國民ガソレヲ支ヘル義務ガアルト云フコトハ何ト云フコトハ、國民ノ生活、人生ノ目的ヲ達成センガ爲デアリ、ソレヲ何デモ彼デモ無闇ニシヤウトシテモ、ソレヲ行ケルモノデアリカドウカト云フコトヲ政府ニ聞キタイ、ソレダケノモノナラバ何故何億、何十億ト云フ金ヲ投ジテヤラヌカ、ソレヲ僅カ三千万圓位デ堂々タルモノヲヤルト云フコトハ出來ナイト思フ、此根本論ニ於テモ甚ダ重大デアルト思フ、故ニ政府ハ果シテ日本ノ天然絹絲ヲ保護スルト云フガ、力ノ無イ者ガ助タテヤルト云フデモ、ソレハ危イト云フコトハ諸君ハ能ク知ッテ居ラウ、私ハ會テ用デ

溺レチ死ナントシタガ、其時私ヲ助ケテ吳
レヤウトシタ者ガ助ケルコトガ出来ズ、逃
ダテシマッタノ非常ニ困タ、私ハ私ノ三
十年前ノ小ツナ時...

〔清瀬副議長議長席ヲ退キ元田議長復
席〕

經驗ヲ能ク知テ居ル、故ニ斯ノ如キ重大ナ
ル案ガ出ル場合ニハ、是ト姉妹案、兄弟案
ガ澤山出テ来ルニ違ヒアリマセヌカラ、其
根本ヲ質シ、其適用ヲ明ニシ、大臣ノ言明
ヲ明ニスルニ非ザレバ、帝國ノ經濟界ノ前
途ヲ明ニスルコトガ出来ナイと思フ、私ハ
今與テ居ル日本ノ特産物ヲ減ラスト云フ
ノデハナイ、唯、已ムヲ得ズ與ルモノニ對
シテ、此經濟的事實ニ對シテ、吾々ハ之ヲ
直觀シ、能ク之ヲ見テサウシテ此モノヲ正
シク整理スルニ非ザレバ、非常ナル災害ガ
来ルト云フコトヲ問ウノデゴザイマス、私
ガ壇上ニ登ラノモ、サウ云フ微衷カラ登
タノデアリマスカラ、大臣ハ誠意ヲ以テ御
答辯アラント望ムノデゴザイマス

〔國務大臣山本錦二郎君登壇〕

○國務大臣(山本錦二郎君) 御答致シマ
ス、天然絹絲ノ製造生産費ハ將來高クナル
一方デアルト云フ田淵君ノ御意見デアリマ
ス、此以上尙ホ之ヲ安クシテ人造絹絲ト競
争スルコトノ出来ル餘地ハ尙ホ餘タリシテ
アルト考ヘテ居リマスノデ、此方面ニ向テ
吾々ハ努力シテ居ルノデアリマス、又國民
ガ斯ノ如キ將來運命ノナイ天然絹絲ノ製造
ト云フコトヲ、國ノ力ヲ以テ支ヘテ行ク義
務ハナイデヤナイカト云フ御意見ヲ承リマ
シタガ、私共ハ左様ニ考ヘテ居ラナイ、是
ハ將來大ニ發展シ得ベキ事業デアルト同時
ニ、我國ニ取テハ頗ル重要ナ産業ト考ヘ
テ居リマスガ故ニ、自分ト致シマシテハ其
根柢ヲ擁護スル義務モアリ、又必要モアル
ト信ジテ居リマス、三千万圓デハ出来ナイ
デヤナイカト仰シタルケレドモ、非常時ニ
際シテハ是ダケノ金額ヲ以テ十分ニ其目的
ヲ達スルコトガ出来ル積デアリマス(拍手)
○議長(元田肇君) 日程第七ニ移リマ

ス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉
ヲ議題ト致シマス

第七 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員
ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ特ニ議長指名十八名
ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長(元田肇君) 御異議アリマセヌカ
ラ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 御異議ナシモノト認メ
マス、仍テ原君ノ動議ノ如ク決シマシタ
○原惣兵衛君 茲ニ議事日程ノ變更ニ關ス
ル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府
ノ同意ヲ得テ議事日程ヲ變更セラレ、日程
第十、濱口雄幸君外二十一名提出ノ決議案
ヲ議題ト爲シ、其審議ヲ進メラシムコトヲ
望ミマス

〔贊成ノ聲起ル〕

○議長(元田肇君) 多數ノ御贊成ト認メマ
ス、仍テ政府ノ同意ヲ求メマス——政府ハ
同意致サレマシタ、議事日程ハ變更致サレ
マシタ、此際議長ニ一言御許シテ願ヒタイ
ノデアリマス、御承知ノ通り次ノ問題ハ最
モ重大ナル議案デアリマシテ、之ニ對シマ
シテハ十分ニ賛否ノ議論ヲ盡サレコト、
存ジマス、議長ニ於テ審議ヲ進メル上ニ於
テモ最善ノ努力ヲ致スコトハ申スマデモア
リマセヌガ、諸君ニ於ケレマシテモ、演說
ヲ靜肅ニ傾聴セラレ、又演說ヲ爲サル御方
ニ於ケレマシテモ、用語等ニ御注意下サイ
マシテ、最モ嚴肅ノ中ニ其審議ヲ進メラレ
ンコトヲ希望シテ止マヌノデアリマス、一
言申上ダマス(拍手)議事日程第十、濱口雄
幸君外二十一名提出ニ掛ル決議案ヲ議題ト
致シマス

第十 決議案(内閣不信任ノ件)(濱口
雄幸君外二十一名提出)

決議案

決議

衆議院ハ現内閣ヲ信任セス

右決議ス

〔國務大臣ガ出席サレナケレバ駄目
ダト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 承知シマシタ、只今出
席ヲ請求致シマシタ、總テ見エルト云フコ
トデアリマス、總理大臣初メ出席致サレ
マシタカラ、濱口雄幸君ニ提案ノ説明ノ爲
ニ登壇ヲ望ミマス

〔濱口雄幸君登壇〕

○濱口雄幸君 諸君、本員ハ同志ヲ代表致
シマシテ決議案提案ノ理由ヲ説明シヤウト
考ヘマス、本員ノ説明ニ漏レタル事項、又
說イテ審カナラザル事項ニ付キマシテハ、
我が同志ノ諸君ヨリ補足説明セラル、コト
ヲ希望致シマス、吾々ガ現内閣ヲ信任シナ
イト云フ理由ハ種々アリマセヌケレドモ、大
體三ツノ大ナル項目ニ分レテ居ルノデアリ
マス、第一ニハ對外外交ニ關スル件、第二
ニハ財政經濟政策ニ關スル問題、第三ニハ
政策ヲ超越シタル根本ノ問題、即チ是デア
リマス、是ヨリ順次其理由ヲ大體説明ヲ致
ス考デアリマス、對外外交ハ現内閣唯一ノ
抱負經綸デアリマシテ、田中總理大臣ガ畢
世ノ心血ヲ傾注シテ之ガ解決ニ當タ所デア
リマス、而シテ滿蒙政策ハ實ニ對外外交
ノ重心ヲ成スモノデアリコトハ申スマデモ
アリマセヌ、現内閣ノ滿蒙政策トハ、即チ
滿蒙ニ關スル所ノ諸般ノ懸案ヲ解決致シマ
スルト同時ニ、更ニ一歩ヲ進メテ滿蒙地方
ニ對スル所ノ經濟的ノ進出ヲ爲スト云フコ
トデアリマシテ、其重要ナルモノハ土地ノ
商相權ニ關スルモノト、並ニ鐵道ニ關スル
モノトデアリマス、現内閣ハ斯ノ如ク對支
問題ノ解決ニ全力ヲ擧ゲ、之ヲ以テ内閣成
立ノ大使命ノ一ナリト信ジ、之ヲ天下ニ聲
明シタル以上ハ、對支外交ノ成敗利鈍ト云
フコトハ直ニ内閣ノ運命ヲ決シ、之ガ失敗
ハ即チ内閣ノ進退ニ關スルモノデナケレバ
ナラヌ(拍手)然レニ内閣組織以來茲ニ殆ド
滿二箇年ニ垂ントスル今日ニ於テ、現内閣
ノ對外外交ノ成敗ノ跡ヲ顧ミルニ、幾多ノ
大問題何一ツ満足ニ解決セラレタルモノハ
ナイノデアリマス(拍手)第一ニ南京事件、
漢口事件ノ結果ハ如何デアルカ、英米其他
列國ニ關係スル分ハ既ニ悉ク解決ヲサレ、
單リ我國ニ關係スル分ノミ未ダ解決ヲ見ルコ

トガ出来ナイデハナイカ、第二ニハ關稅協
定ノ問題デアリマス、日支通商航海條約、
此改訂ノ問題ニ關シ、政府ハ其初メ頗ル強
硬ナル所ノ狀態ヲ持タレ、昨年ノ夏、國民
政府ノ條約廢棄ノ通牒ニ對スル回答ニ於
テ、國民政府ガ依然現行條約ノ失效ヲ主張
スルト云フ態度ヲ固持スルニ於テハ、帝國
政府ハ條約改訂ノ商議ニ應ズルコトガ出来
ヌト云フ旨ヲ明ニ聲明シタルデアリマス、
然レニ國民政府ガ未ダ條約失效ノ宣言ヲ取
消サナイモノ拘テ、今回通商航海條約ノ
重要部分ヲ占メテ居リマスル所ノ關稅々率
ニ關シ、國民政府ノ高壓的ノ態度ニ違ウテ、
卒然トシテ其態度ヲ改メ、實施ノ前々日タ
ル所ノ一月ノ三十日ニ至テ漸ク是ガ調印
ノ手續ヲ終リ、當初ノ態度聲明ニ照シテ現
内閣ノ一大失態デアルト謂ハナケレバナラ
ヌ(拍手)元來今回ノ關稅ノ協定ハ、支那ノ
關稅ノ增收ヲ圖リ、其財政ノ整理ニ資セン
トスルコトヲ主眼トスルモノデアリマスル
ニ依テ、是ガ爲メ最大ノ恩惠ニ浴スルモノハ、
固ヨリ支那自身身デアルニ相違ハアリマセヌ
ケレドモ、我國ト致シマシテハ、日支兩國ノ
特殊ノ關係ニ顧ミテ、其成立ニ協定スベキ
ハ言フマデモナク、更ニ進シテ支那ノ列國
トノ間ニ斡旋ヲ致シマシテ、其實現ノ機會
ヲ促進ヲ致シ、以テ支那全國民ノ福利ノ増
進ニ努ムルコトガ、即チ日支親善ノ基礎ヲ
確立スル所以デアリマス(拍手)然レニ政府
ハ今回ノ關稅協定ニ際シ、關係列國ガ何レ
モ帝國ニ先ンジテ支那ト新條約ヲ締結シタ
ル後ヲ承ケ、漸ク列國ニ追隨ヲシテ最後ニ
調印ヲ了シ、我國ガ支那ノ國民的ノ宿望ノ
達成ニ深甚ナル同情ヲ有スルト云フ、其實
ヲ示スベキ所ノ絶好ノ機會ヲ空シク逸シ去
リタルコトハ、現内閣ガ最初ヨリ如何ニ支
那ノ事態ヲ明察スルノ見識ヲ缺キ、其外交
ガ常ニ機宜ヲ失フテ居ルカト云フコトヲ立
派ニ證明スルモノト謂ハナケレバナラヌ
(拍手)況ヤ關稅增收ノ使途ニ關スル條件ニ
至リマシテハ、北京關稅特別會議ノ當時ニ
比較ヲ致シ、著シク讓歩セラレタリトノコ
トデアリマスガ、果シテ然リトセバ、現内

閣成立以來、支那トノ間ニ調印サレタル所ノ唯一ツノ協定デアル所ノ關稅ノ協定モ、亦結局現内閣ノ外交ノ失敗ヲ裏書スル所ノ一ツノ實例ニ過ギナイモノデアリマス(拍手)第三ニハ濟南ノ出兵デアリマス、濟南ノ出兵ノ主要ナル目的ガ、同地方ニ於ケル在留邦人ノ現地保護ニ存シタルコトハ、當時ノ政府ノ聲明ニ依テ明瞭デアリマス、現地保護ノ可否ト云フコトハ姑ク別問題ト致シマシテ、苟モ政府ガ既ニ現地保護ノ方針ヲ決定シ、之ヲ中外ニ聲明シ、此目的ヲ達スルガ爲ニ出兵ヲ爲シマスル以上ハ、其目的ヲ達スルニ十分ナル兵力ヲ適當ノ時機ニ於テ目的地ニ派遣スルト云フコトガ、政府當然ノ義務デハナイカ(拍手)若シ政府ガ此義務ヲ果シテ居タラバ、所謂南京事件ナルモノハ蓋シ起ラナカッタ筈デアリマス(笑聲起ル)然ルニ昨年五月初メ——間違ヒマシタ、南京事件デアリマス、濟南事件デアリマス、昨年五月初メ濟南事件ノ突發ヲ見ルニ至リマシテ、在留邦人中、或ハ虐殺ヲ受ケ、或ハ凌辱ヲ被タルモノガ十數名ニ達シ、更ニ掠奪ニ遭ヒタルモノガ百數十名ノ多キヲ見ルニ至リマシタルコトハ、政府ガ疑ニ國民ニ對シテ聲明シタル現地保護ノ目的ヲ貫徹スルノ能力ヲ缺キ、責任ヲ竭サル所ノ證據デアリマス(拍手)加フルニ不用意ナル撤兵ノ爲メ、支那官民ノ誤解ト反感トヲ挑發シテ、却テ濟南地方ニ於ケル所ノ在留邦人ノ不安ヲ招キ、日支兩國國民間ノ商業關係ヲ阻害シ、延テ兩國ノ國交上ニ重大ナル禍根ヲ貽スニ至リタルコトモ亦顯著ナル事柄デアリマス(拍手)出兵ニ伴フテ起タル所ノ是等ノ重大ナル事態ニ對シ、政府ガ其責任ズベキハ固ヨリ當然ノコトデアリマス、假令將來兩國ノ間ニ何等カノ協定ガ出來マシテ、濟南事件ノ解決ヲ見ルノ時ガアリト致シマシテモ、此政府ノ責任ハ是ガ爲ニ斷ジテ解除サル、モノデハナイノデアリマス、吾々ハ豫テヨリ濟南事件ガ、連ニ圓滿ナル解決ヲ告グルニ至ランコトヲ日支兩國ノ爲メ衷心ヨリ希望シテ居タモノデアリマスルガ、政府ハ何ノ見ル所ガアリマシ

タカ、昨年ノ七月十九日ノ聲明書ニ於テ明白ニ我要求ノ條項ヲ列舉シテ之ヲ中外ニ發表シ、是ガ貫徹ヲ國民ニ誓ヒタルニ拘ラズ、爾來濟南事件ノ交渉ハ全然停頓ヲ致シテ解決ノ曙光ヲ見マセヌ爲ニ、感情ノ疎隔ハ益々破綻ヲ加ヘ、排貨排日ノ運動ハ到ル所ニ起リ、諸般ノ對支問題ノ解決ノ暗礁トナリ、以テ今日ニ至リタノデアリマス、然ルニ最近ニ至リテ上海ニ於テ該事件ノ交渉ガ行ハレ、帝國政府ノ多大ノ讓歩ニ依テ協定ガ出來タト云フ報道ガ傳ヘラレタ爲ニ、國民ガ其協定ノ内容ニ就テ非常ニ心配ヲ致シテ居タ所、如何ナル故デアリマスルカ、昨日ノ午後ニ至リテ交渉逆轉、談判停頓、殆ト成立ノ見込ガナイト云フコトデアリマス(拍手)此問題ニ付テ試ニ外務大臣ニ質問ヲ致シテ見マシテモ、尙ホ交渉中デアルト云フ旨ヲ以テ明答ヲ避ケラレノデアリマセウカ、前後ノ事情ヲ綜合シテ判斷シマスルニ、恐ラクハ是ガ事實デアラウト思ハレルノデアリマス、果シテ然ラバ濟南事件ナルモノガ何時ニナレバ圓滿ニ解決ヲセラレ、兩國ノ外交關係ガ改善サレカト云フ見込ハ、殆ト立チ兼ルト思ハレルノデアリマス、濟南出兵ノ責任ニ當ル現内閣ノ存續スル限リ、對支外交ノ好轉ハ到底望ムコトガ出來ナイノミナラズ、形勢ハ益々惡化スルコトヲ俱ル、者デアリマス、現内閣ノ諸公ハ國家ノ爲メ、深ク自ラ顧ル所ガナレバナラスト思ヒマス(拍手)第四ハ滿蒙政策デアリマス、私ハ是ヨリ進ンデ現内閣ノ對支外交ノ中核タル所ノ滿蒙問題ニ關シテ、政府ノ失敗ノ跡ヲ檢討シテ見タイト思フノデアリマス、田中總理大臣兼外務大臣ガ多大ノ抱負ヲ以テ解決ノ衝ニ當ラレタル所ノ幾多ノ滿蒙問題ノ中、一ツデモ解決ヲ告ゲタモノガアルカドウカ、政府ハ組閣早々滿蒙問題ノ交渉ヲ始メルニ先チマシテ、所謂東方會議ナルモノヲ起シ、極メテ大膽ニ、極メテ露骨ニ、帝國政府ハ滿蒙地方ニ對シテ積極政策ヲ行フト云フ意圖ガアルコトヲ標榜セシメタノデアリマス、所謂積極政策ナル

モノ、内容ガ果シテ適當デアリ、且ツ實行ノ可能性ヲ有スルヤ否ヤ、又結局ハ實行ノ可能性ガアルニ致シマシテモ、アノ場合一時ニ之ヲ提出スルト云フコトガ果シテ賢明ノ策デアッタカドウカト云フコトハ暫ク別問題ト致シマシテモ、未ダ交渉ヲ始メザルニ先テ彼ガ如キ誇張的、恫喝的ノ宣傳ヲ行フコトガ外交上甚ダ不利益デアリ、不得策デアルト云フコトハ言フ俟ザル所デアリマス、是ガ爲メ對手國ノ官民ヲシテ、日本政府ハ滿蒙地方ニ對スル從來ノ懸案ヲ解決シ、既得ノ權益ヲ確保スル以上ニ、何カ非常ナル所ノ積極的ノ要求ヲ新ニ持出スニアラズヤトノ疑ヲ招キ、滿蒙地方ニ對シ、帝國ニ何等カノ意思アルガ如キ猜疑心ヲ生ゼシメ、爲ニ彼我ノ意思ノ疏通ヲ缺キ、感情ノ疎隔ヲ招キ、遂ニ東三省ノ中心タル所ノ奉天ニ於テ未曾有ノ排日ノ運動ヲ惹起シ、其結果交渉ノ停頓ヲ來シ、我國ノ滿蒙政策ヲシテ全然行詰リノ狀態ニ陥ラシメタルノミナラズ、世界ノ列國ヲシテ帝國ノ態度ニ關シ無用ノ猜疑ヲ懷カシメ帝國ノ國際上ノ立場ヲ不利ナラシメタルモノト信ズルノデアリマス(拍手)滿蒙ニ關スル案件ガ今日ニ至ルモ何一ツ成立スルニ至ラナイ、其行詰リノ原因ハ主トシテ此恫喝外交ニアルコトハ疑ヲ容レナイ所デアリマス、先ツ政府ノ重要政策ノ一タル所ノ鐵道問題ニ付テ之ヲ見マスルニ、吉會線ノ問題ニ就テハ基礎的ノ約束ハ出來タガ、吉林省民ノ反對ノ爲メ未ダ細目ノ協定ガ出來ナイト云フコトハ、我が同僚ノ質問ニ對シ田中外交大臣ノ答辯シタル所デアリマス、吉會線以外ノ鐵道ニ就テハ何等ノ約束スラ未ダ出來ナイト云フコトデアリマス、滿蒙ニ於ケル鐵道問題、解決ニ對シテハ、政府ハ滿鐵ト力ヲ協セ、久シキニ互ニ最善ノ努力ヲ爲シタルニ拘ラズ、右申ス如ク今日マデ何等ノ成績ガ擧テ居ナイト云フニ至リテハ、明ニ現内閣外交ノ失敗デアリマス(拍手)更ニ進ンデ問ヒマセウ、田中總理大臣ガ最も重キヲ置キタリト謂ハレテ居ル所、所謂滿蒙積極政策ノ中心タル商租權問題ノ經過ハ如何ニナッテ

居ル、一度奉天當局ニ交渉ヲシテハ見タガ、其明白ナル所ノ拒絕ニ遭ウタト云フコトノ以外ニ、尙トシテ消息ヲ聞ク所ノナイト云フコトハ、即チ失敗ノ證據デハナイカ(拍手)要スルニ滿蒙問題ノ解決ニ付テ、田中内閣ハ成立當初ノ誇張的宣傳ニモ拘ラズ、二箇年ノ歲月ヲ費シテ今日ニ至リマシタレドモ、未ダ國民ニ報告スベキ何物ヲモ持テ居ナイト云フコトハ、極メテ明白ナル事柄デアリ(拍手)吾々ハ現内閣ノ所謂成立ノ使命、田中總理就任當初ノ抱負經綸ニ照シテ、大ニ其責任ヲ問ハナケレバナラヌ(拍手)次ニ滿蒙問題ニ關スル政府ノ失政ノ大ナルモノハ、張學良ニ對シテ爲サレタル所ノ妥協延期ノ勸告デアリマス、此勸告コソ實ニ現代支那ニ於ケル國民の運動ノ潮流ニ逆行シ、隣邦ノ和平統一ヲ妨ゲル所ノ行動デアリマシテ、是ハ外交上海ニ輕卒不謹慎ノ甚シキモノト謂ハナケレバナラヌ(拍手)由來現内閣ハ滿蒙地方ノ領土的政治的ノ地位ニ就テ、中外ノ疑惑ヲ招クガ如キ極端ナル偏見ヲ有シ、此偏見ノ上ニ總テノ對支政策ヲ樹テントスルノ傾向ガアル(拍手)隨テ滿蒙問題ノ解決ニ急ナル餘リ、支那全體トノ關係ヲ無視シテ、有ユル交渉ノ上ニ意外ノ齟齬ヲ來シ、遂ニ滿蒙問題ソレ自體ノ解決ヲスラ今日ノ如ク不可能ナラシムルニ至リタノデアリ、最近ニ至リマスル迄ノ現内閣對支外交ノ方針ハ、概ネ此時代錯誤ノ謬見ニ基イテ行ハレタルモノデアリマシテ、只今申述ベタル滿蒙積極政策ノ宣傳モ此謬見ニ出ヅルモノデアリマスルガ、妥協延期ノ勸告ノ如キモ正シク其一ツノ現レデアリマス(拍手)南北妥協ノ機運ハ抵抗スベカラザル四圍ノ大勢デアリマスルガ故ニ、政府ノ當局ノ執拗ナル勸告ニモ拘ラズ、裏面ニ於テハ南北ノ妥協ガ著トシテ進行致シ、遂ニ昨年ノ暮ニ至リテ、日本政府ニ何等ノ諒解ヲ得ルノ手段ヲ執ルコトモナク、青天白日旗ハ卒然トシテ東三省全體ニ翻ヘルニ至リ、田中内閣ハ甚シク其面目ヲ失墜シタノデアリマス(拍手)吾々ハ時代錯誤ノ考ヲ有シ、時代ノ趨向ヲ無視シ、支那國民運動ノ

大勢ニ對スル所ノ違方ニ逆行シテ、遂ニハ失敗ニ終リタル舊式外交ノ暴露ヲ憐ムト同時ニ、斯ノ如キ時代錯誤ノ謬見ヲ有スル所ノ政府ヲ戴キ、ソレガ爲ニ列國環視ノ中ニ於テ帝國ノ面目ト威信トヲ傷クルノ結果ヲ見ルニ至リタルコトヲ、國家ノ爲メ悲マザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)此失敗ノ爲メ帝國ニ及ボシタル所ノ結果ハ何デアリカ、言フ迄モナク帝國ノ面目ヲ毀損シ、威信ヲ失墜シタルコトガ其一ツデアリマス、妥協成立、統一成就ノ曉、徒ニ支那官民ノ感情ヲ害シ、長ク國交ノ將來ニ累ヒテ貽スニ至リタルコトガ其二ツデアリマス、此責任ハ抑、何人ガ負擔スベキデアリカ、最近ニ至テ政府ハ俄ニ國民政府ニ對スル態度ヲ改メ、甚シキニ至テハ前日ノ主張ヲ一擲シテ帝國ノ面目ヲ無視シ、先方ノ主張ニ聽從スルノ態度ヲ執リツツアルヤウデアリマスガ、現内閣成立以來、支那全體ニ對シ、殊ニ滿蒙地方ニ對シテ行ヒ來テ所ノ諸般ノ政策、諸般ノ行動ニ想ヒ及ボス時ハ、何人モ其約變ノ餘リニ甚シキニ驚クト同時ニ、斯ノ如キ根本ニ關スル方針ノ變更ハ、即チ内閣存立ノ意義ヲ失フモノデアリマシテ、方針ノ變更ヲ餘儀ナクサレタル現内閣ハ、當然責任ヲ引イテ其進退ヲ決スベキモノデアリマス(拍手)次ニ滿蒙政策ニ關聯シテ政府ノ責任ヲ問フニ當テ、此場合特ニ一言ヲ要スルコトハ、所謂某重大事件ノ取扱方、並ニ之ニ關聯スル所ノ政府ノ當局ノ責任問題デアリマス、本件ニ關スル政府ノ態度ヲ見ルニ、政府ガ自ラ事件ヲ重大化シテ中外ノ耳目ヲ聳動セシメ、其議會ニ臨ムニ當テハ調査中ノ一語ヲ以テ總テノ質問ニ應酬スルノ外、何事ヲモ言ヒ能ハザル狀態デアリマス(拍手)隨テ本件ニ待ツアル所ノ中外ノ疑惑ヲ一掃スルコトガ出來ナイノデアリマス、吾々ハ此事件ガ未ダ調査中ノ儘今日迄殘テ居タト云フコトヲ甚ダ意外ニ思フノデアリマス(拍手)事件ノ性質ト其ノ影響トハ固ヨリ重大デアラウト思ヒマスレドモ、列車ノ爆破ト云フ事件其モノハ極メテ簡單ナル出來事

デアリマス、其簡單ナル出來事ガ我が行政警備區域内ニ起タノデアルカ、若シ政府ノ當局ニ誠意ト常識ト能力トガアルナラバ、是ガ眞相ノ調査ハ事件發生ノ直後敏速ニ行ハレ、此事件ハ疾ウソ昔ニ落著テ致シ、今更何等ノ問題モ殘テ居ナイ筈デアリマス(拍手)然レニ最近ニ至テ政府自ラ問題ヲ重大化シ、議會ニ於テモ總理大臣ノ口カラ公然調査中ト云フ言葉ヲ承テ、吾々ハ甚ダ意外千萬ニ思フノデアリマス(拍手)外字新聞ノ記事ヲ見、其他滿洲方面ニ於テモ該事件ニ對シテ種種ナル所ノ風説ヲ傳ヘ、此風説ガ大分世界ニ擴メラレ、帝國ノ名譽ト信用トヲ傷クルコト少クナイノデアリマス、列車ノ爆破ト云フ簡單ナル事件ヲ九箇月モ掛テ未ダ調査ヲ完了セズ、事件ノ結末ヲ告グルコト能ハズ、ソレガ爲メ中外ノ疑惑ヲ招クニ至テハ、實ニ何共許シヤウモナイ無能、怠慢デアアル、吾々ハ唯驚入ルノ外ハナイノデアリマス、全體斯ノ如キ問題ニ對シ、事件發生ノ當時、速ニ適切ナル措置ヲ執ラズ、中外ノ疑惑ヲ一掃スル能ハズ、往昔今日ニ及ビ、總理大臣自ラ問題ヲ重大化シ、名ヲ調査中ト稱シテ、當面ヲ糊塗シ去ラントシテ國政ヲ託スルコトハ出來ナイ(拍手)以上ハ外交上ノ失敗ニ關シ其主ナルモノヲ申述ベタルデアリマスガ、要スルニ現内閣ハ對外交上ノ全體ヲ通ジテ、其態度ニ確固タル信念ナク、其主張ニ一貫シタル方針ナク、徒ニ聲ヲ大ニシテ濫ニ事ヲ起シ、時局ノ發展ニ伴ヒ勢ヒ極マルニ至ルヤ、幾度カ其態度ヲ約變シ、爲ニ對手國ノ輕蔑ト感情ノ疏隔トヲ招キ、其結果重要ナル對支政策ハ全然行詰リノ狀態ニ陥テ、遂ニ之ヲ打開スルノ途ナク、日支兩國間ノ國交ノ改善ハ遂ニ之ヲ期待スルコトガ出來ナイノデアリマス、是レ洵ニ帝國ノ不幸デアデ、同時ニ支那ノ不幸デアリ、否東洋全局ノ不幸デアリマス、即チ斯ノ如キ内閣ニハ吾々國民ハ帝國ノ外交ヲ托スルコトガ出來ナイノデアリマス、是ガ吾々ガ外交上カラ現内閣ヲ信任スル能ハザル理由ノ第一デア

リマス(拍手)次ニ財政經濟問題ニ付テハ豫算計議ノ際、同志ノ議員ヨリ詳細ニ論議スル筈デアリマスレニ依テ、茲ニハ本決議案ニ關係アル重要ナル一二ノ點ノミニ付テ簡單ニ申述アル考デアリマス、財政經濟ニ關スル今日ノ急務ハ、一言ニシテ申セバ公債政策ヲ中心トシテ、財政ノ整理ヲ行ヒ、金解禁ヲ中心トシテ財界ノ建直ヲ行フベシト云フコトニ歸著スルノデアリマス、此事タルヤ、單リ吾々ノ主張ノミデアリマセヌ、財界全體ノ一致シタル定論デアリマス、然ルニ現内閣ノ政策ハ國民ノ輿望ニ反シ、昭和四年度ノ豫算及之ニ伴フ所ノ財政ノ計畫ヲ見ルニ、殆ド整理緊縮ノ認ムベキモノナク、却テ將來ニ向テ財政膨脹ノ勢ヲ作り、公債ノ新發行ヲ抑制スルコトニ努力シナイノミナラズ、是マデ普通財源ノ支辨ニ係ル所ノ震災復興費ノ爲ニ殊更ニ公債發行ノ計畫ヲ建テ、其上昭和五年度カラ新ニ電話事業公債ノ發行ヲ計畫シ、鐵道建設ノ爲ニ巨額ノ公債ノ増發ヲ企テ、サナキダニ遞増シテ止マル所ヲ知ラザル我國ノ公債ノ増加ニ向テ、一層激増ノ油ヲ注ガントスルガ如キハ、現内閣ガ公債ノ整理、隨テ財政整理ニ對スル誠意ヲ有セザルモノト斷ズルノ外ハナイノデアリマス、殊ニ驚クベキハ大藏大臣ガ吾々同僚議員ノ質問ニ答ヘテ、地租委譲ノ有無ニ拘ラズ、政府ハ自分ノ見識トシテ、震災復興費ト電話事業トノ爲ニハ公債ヲ發行スル考デアル、隨テ地租委譲ヲシナカタナラバ、ソレダケ積極的ノ政策ヲ起シタカモ知レスト言明シタル事柄デアリマス、政府ガ公債ノ整理ト云フコトヲ、少シモ念頭ニ置イテ居ナイト云フ何ヨリノ證據デアリマシテ、斯ノ如キ政府ノ下ニ帝國ノ財政ノ整理ハ到底望ムコトガ出來ナイト思フノデアリマス(拍手)更ニ政府ハ地租及營業收益稅ノ委譲ヲ實行シテ中弱ナラシメントスルモ、如キハ、全然其理由ヲ成サマルモノデアリマシテ、財政整理ノ要求ニ逆行スルモノデアルト云フノ外ハナイノデアリマス、其所

謂代リ財源ナルモノヲ研究シテ見マスルニ、一億二千九百萬圓ト云フ確定歳入ヲ棄テマスル其補填財源トシテハ、如何ニモ貧弱デアリ、如何ニモ不確實デアルト云フ非難ヲ免ル、コトガ出來ナイノミナラズ、御承知ノ通り昭和六年度カラ始メラルベキ所ノ主力艦建造ノ爲メ少ナカラザル財源ヲ有スルコトノ極メテ明瞭ナル今日、兩稅ノ委譲ヲ行テ、態々一億三千萬圓近クノ確定歳入ヲ失フノデアリマスレニ依テ、其結果將來ニ向テ帝國ノ財政ハ増稅ヲ行フカ、然ラズンバ公債ノ増發ヲ餘儀ナクスルノ傾向歷然タルモノガアルノデアリマス、斯クテ現内閣ノ財政計畫ハ窮極ナル所、國民負擔ノ増加トナリ、遂ニ收拾スルコトノ出來ナイヤウニナルト云フコトハ、必然ノ勢デアルト思ヒマス、若シ此勢ヲ避ケントスレバ、軍艦ノ建造ヲ中止致シテ、國防ノ安全ヲ犧牲トスルノ外ハナイノデアリマス、地方稅ニ於ケル或ル稅目ノ輕減ニ付キマシテハ、自ラ他ニ適當ノ方法モアルデアリマセウ、何ヲ苦シメ今日財政上、經濟上ノ危險ヲ冒シテマデ、其稅制ノ根本ヲ動カスガ如キ、輕舉妄動ヲ敢テスルノ必要ガアルノデアリマスガ、更ニ兩稅ノ委譲後ニ於ケル地方財政ノ實際如何ト云フコトヲ考慮シテ見マスルニ、地方稅ノ負擔ハ、兩稅委譲ノ結果益々不公平ニ陷ルノミナラズ、地方ニ於テハ新ニ獨立ノ財源ヲ得タル結果、地方事業ノ膨脹ニ伴テ、地方民ノ負擔ハ將來ニ向テ愈々増加ノ端ヲ開クデアラウト思ハレルノデアリマス、兩稅ノ委譲ニ關スル政府ノ説明ハ、段々承ハテ見マスルニ、殆ド支離滅裂、何等明確ナル根據ヲ有セズ、就中最モ重大ナル意義ヲ有スルト思ハレテ居タ所ノ、地方分權ト兩稅委譲トノ關係ハ頗ル不明瞭デアリマス、甚シキニ至テハ、政府ノ當局ハ地方分權ト云フモノト、普通ノ事務管掌ト云フモノトヲ混同シ、若クハ地方分權ト云フモノト、地方ノ自治ト云フモノトヲ混同シ、地方分權其モノニ對スル正確ナル觀念ヲ有シテ居ナイニ至

テハ、海ニ驚入タル次第アリマス、抑、我國ノ税制ハ御承知ノ通り大正十五年ニ於テ相當大規模ニ整理ヲサレ、未ダ兩年ヲ經過シナイ今日ニ於テ、何等緊要ノ理由アリニ依ラズ、又明確ナル根據ニ基クニアラズ、單ニ政黨ノ面目ヲ行掛リニ因ハレテ、國家ノ經濟ト國民ノ生活ニ密接重大ナル關係有スル所ノ租税ノ制度ヲ、根本ヨリ覆サントスルガ如キハ、如何ニモ輕率、如何ニモ不謹慎、徒ニ國政ヲ弄ブノ批難ヲ免レナイモノト思フノデアリマス(拍手)久シキニ互テ不安ト不振トヲ極メタル我財界ヲ根本カラ立直シ、産業貿易ノ堅實ナル發展ヲ圖ラントスルナラバ、速ニ金解禁ヲ實現スルノ外ハナイコト云フコトハ、今日ニ於テハ既ニ財界ノ定論トナシ居ルノデアリマス、併ナガラ解禁ヲ實施スルガ爲ニハ、固ヨリ周到綿密ナル準備ヲ要スルコトハ勿論デアリマス、大藏大臣ガ其財政演說ニ於テ、金解禁ノ實行ニハ舉國一致ノ努力ヲ要スルト述ベラレタコトハ、固ヨリ當然ノコトデアリマス、而シテ政府ノ當局ハ、金ノ解禁ニ對スル民間各方面ノ準備ガ相當進捗シツ、アルト云フコトヲ認メテ居ラル、ニモ拘ラズ、解禁ニ對スル政府側ノ準備ハ更ニ進捗シテ居ナイ、ノミナラズ政府ノ財政經濟政策ハ、或ハ歲計ノ膨脹ニ依リ、或ハ公債ノ増發ニ依リ、通貨ノ膨脹ヲ招キ、物價ノ騰貴ヲ招キ、爲替ノ低落ヲ招キ、斯ノ如クニシテ政府自ラ著々トシテ金解禁ノ實現ヲ妨グツ、アルニ至テハ、抑、何處ニ舉國一致云々タル資格ガアルノデアリマスカ(拍手)政府ハ金解禁ノ實行ニ依テ、直ニ財界ノ立直シヲ行ヒ、産業貿易ノ堅實ナル發展ヲ圖ルト云フ意思ヲ持シ居ナイモノト認メル外ハナイノデアリマス、金解禁問題ニ對スル大藏大臣ノ意見ト云フモノガ、新聞紙ヲ通ジテ屢々發表セラレ、之ニ依テ政府ハ、或時ニハ解禁即行ノ考ガアルモノ、如ク、又或時ニハ即行ノ意思ガナイモノ、如ク色々ト世間ニ解釋ヲサレ、其度毎ニ爲替相場ノ亂高下ヲ招イテ、財界ノ非難ヲ受ケタノデアリマス、政府ノ當局ハ此非難ニ懲

リマシテ、最近ハ沈黙ヲ守シテ居ルヤウデアリマスガ、財界ノ各方面ニ於テハ、政府ノ財政計畫其他カラ推測ヲ下シ、現内閣ニハ到底金解禁ノ意思ナシトマデ諦メ付ケテ、今ヤ金融界ニ於テハ、現内閣ノ存續中ニ於テハ解禁ハ所詮實行ノ出來ナイモノトシテ、總テノコトガ之ニ順應シテ考慮計畫セラレツ、アルコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス(拍手)以上申述ベタ所ニ依テ、現内閣ハ現下多難ヲ極メツ、アル所ノ我國ノ財政經濟政策ヲ立直シ、時局ヲ匡救スルノ誠意ト能力ト有シナイコトハ、極メテ明瞭デアルト信ズルノデアリマス(拍手)是吾々ガ財政上カラ現内閣ヲ信任スル能ハザル理由ノ第二デアリマス、諸君、凡ソ議會ノ言論、殊ニ政黨内閣制ノ下ニ於テ相爭フベキモノデアリマス、隨テ此議會ニ於テモ吾々ハ、政策問題ノミヲ以テ爭ハンコトヲ希望シ、政策以外ノ問題ヲ以テ爭フコトヲ希望シナイノデアリマス、然ルニ熟、現内閣ノ政治ヲ爲ス所ノ其態度ト其心事トヲ見ルニ及ンデ、又今日國家ノ風教、國民思想ノ傾向、社會ノ世相等ヲ觀察スルニ及ンデ、政策問題ヲ以テ内閣ノ處決ヲ促テ、政府ノ責任ヲ問フノ已ムヲ得ザルニ至ツタコトヲ、國家ノ爲ニ悲ム者デアリマス(拍手)昨年五月ノ特別議會ニ於テ、吾々ガ内閣ノ不信任案ヲ提出シマシタ時ニ、人事行政ノ失態ガ其理由ノ一ツデアッタノデアリマス、其時ノ理由由トスル所ハ、黨略本位ニ基ク所ノ地方官空前ノ大更迭、新領土、植民地長官ノ選擧其宜シキヲ得ナイコト、金融經濟機關ノ主腦部ニ政黨ノ臭味ヲ侵入セシメタルコトヲ不當ト致シマシテ、政府ノ責任ヲ糾彈致シタノデアリマスガ、爾來總理大臣ノ爲ス所ヲ見ルニ毫モ反省スル所ガナイノミナラズ、人事行政ノ失態ハ愈々出デ、愈々甚シク、天皇輔弼ノ重責ニ任ジ、天下ノ儀表タルベキ所ノ國務大臣ヲ奏薦スルニ當テ、或ル種類ノ手形債務ニ關聯シテ、國家ニ莫大ナル損害ヲ蒙ラシメタル人

物ヲ以テシテ憚ル所ナク、其人モ亦平然トシテ其椅子ニ在ル(拍手)議會ノ難詰ト一世ノ指彈トヲ受ケテ恥ル所ナキニ至テハ、吾々ハ綱紀風教ニ關スル重大ナル問題トシテ、内閣全體ノ責任ヲ問ハナケレバナラヌ(拍手)昨年二月ノ總選舉ハ、國民多年ノ宿望デアッタ所ノ普選第一回ノ總選舉デアッタデアリマス、吾々ハ之ヲ機會トシテ選舉界多年ノ宿弊ヲ改メ、公平嚴正ナル選舉ニ依テ、國民ノ自由意思ガ有儘ニ議會ニ反映スルニ至ランコトヲ希望シタノデアリマスガ、事實ハ全ク國民ノ期待ヲ裏切り、選舉ノ不正ハ益々甚シキヲ加ヘ、選舉ノ監督取締ノ責任ヲ有スル所ノ中央地方ノ官憲ヲ行ヒ、國民意思ノ自由ナル表現ガ妨ゲラレタコトハ、天下周知ノ事柄デアリマシテ、現内閣ガ普選ヲ冒瀆シタル所ノ罪惡ハ極メテ重大デアリマス、此事件ガ總選舉後ノ議會ノ大問題トナリ、各黨各派ノ聯合ニ依テ當面ノ責任者デアッタ所ノ鈴木内閣ノ引責處決ヲ迫ルト云フ決議案ガ衆議院ニ提案ヲセラレテ、其決議案ガ多數ヲ以テ衆議院ヲ通過スルノ勢ヲ示シタノデアリマス、政府ハ決議案ヲ通過ヲ妨ゲンガ爲ニ停會ニ次グニ停會ヲ以テシ、其他有ユル手段ヲ盡シタケレドモ、議會ノ大勢ヲ如何トモスルコトヲ得ズ、遂ニ議會ノ情勢之ヲ否トモスルト云フ理由ヲ以テ、決議案ノ通過ニ先立テ鈴木内閣ヲ辭職セシムルノ已ムナキニ至ツタノデアリマス、此事柄ハ取りモ直サズ現内閣ガ選舉干渉ノ責任ヲ認メタルガ爲デアリマス、既ニ選舉干渉ノ責任ヲ認メタル以上、其責任ハ素ヨリ鈴木君一人ニ止ラズ、内閣全體ガ責任ヲ引イテ總辭職ヲ爲サラナケレバナラヌト云フコトハ、連帶責任ノ大義ニ於テ理ノ當然デアリマス(拍手)然ルニ當時天下ノ輿論ガ囂々トシテ内閣總辭職ノ實行ヲ迫ラタニモ拘ラズ、田中總理大臣以下内閣ノ諸公ハ、今日ニ至ルマデ恬然トシテ其職ニ在ルト云フニ至テハ、現内閣ハ單リ普選冒瀆ノ罪ヲ免レザルノミナラズ、更ニ進んで責任政治ノ大義ヲ沒却シ、政治道德ヲ

蹂躪スルモノデアルト言ハナケレバナラヌデアリマス(拍手)鈴木内閣辭職ノ結果、補充スベキ所ノ大臣ノ人選ニ關シ、或ハ内閣ノ問題ニ於テ、或ハ與黨ノ内部ニ於テ、種種ノ議論ガ行ハレ、内輪ノ議論ガ悉ク世間ニ傳ヘラレテ、遺憾ナク内閣ノ不統一ヲ暴露シタノデアリマスガ、當時水野文部大臣ハ此問題ニ付テ總理大臣ト意見ヲ異ニシ、遂ニ辭表ヲ捧呈スルニ至ツタノデアリマス、是ニ於テ所謂優待問題ナルモノガ起ツタノデアリマス、本件ニ關シ新聞紙上ニ發表サレタル所ノ田中總理側ノ聲明ト、水野氏ノ聲明トノ間ニハ大ナル相違ガアリマシテ、其何レガ真相デアルカ否ヤハ分リマセヌケレドモ、假令何レカ事實デアルト致シマシテモ、田中總理大臣ハ關係ノ進退ニ關シ、内閣ヲ統一スルコト能ハズ、遂ニ聖慮ヲ煩シ奉リタルノ滿天下ノ非難ヲ受ケ、而モ遂ニ此非難ヲ拭ヒ去ルコトガ出來ナカッタコトハ、是ハ爭ヒ難イ所ノ事實デアリマス(拍手)現ニ此議會ニ於テモ田中總理ハ議員ノ質問ニ對シテ殆ド答辯ヲスルコトガ出來ナイデハナイカ、斯ノ如クニシテ如何ニシテ輔弼ノ責任ヲ完ウシタリト云フコトガ出來ルカ、補弼ノ責任ヲ盡サズシテ國務大臣ノ職ニ留マルト云フコトハ、憲政ノ大義ニ於テ斷ジテ許スベカラザルコトデアリマス(拍手)茲ニ本問題ニ附加ヘテ申上ゲテ置クコトハ、此問題ニ引續イテ相當重大ナル事柄ガ田中總理大臣ノ身邊ヲ繞ラタリシテ發生シタルニ拘ラズ、總理大臣ハ之ニ對シテ一言ノ辯明ヲ爲スコト能ハズ、吾々モ亦事柄ノ性質ニ鑑ミ敢テ深ク之ヲ論議スルコトヲ憚リ、殊更ニ沈黙ヲ守シテ居ルト云フコトヲ總理大臣ノ御承知デアルカ、凡ソ此事柄ニ限ラズ、新聞記事ハ政府ノ都合ヲ以テ之ヲ差止メルコトガ出來ルデアリマセウ、演說會ノ言論ハ警察ノ力ニ依テ之ヲ壓迫スルコトガ出來ルデアリマセウ、議會ノ質問ニ對シテ政府ハ默シテ語ラナイデ濟ムト思ウテ居ルカモ知レマセウ、併ナガラ新聞ニ現レズ、國民ガ沈黙ヲ守リ、又議員ガ深ク追窮シナイニ依テ天下泰平デアリ、民心ノ和

解ヲ得テ居ルト考ヘルナラバ、是ハ大ナル誤リデアリマス(拍手)私ハ茲ニ古人ノ句ヲ引クコトヲ御許シテ願ヒタイ、或古人ノ句ニ「天下ノ人ヲシテ敢テ言ハズシテ敢テ怒ラシム」ト云フコトガアツタコトヲ私ハ確ニ記憶シテ居ル、國民ノ無言ノ憤リコソ眞ニ恐ルベキモノデアリマス(ヒヤ)「拍手」内閣諸公ハ宜シク人心ノ機微ヲ察シ、國家ノ爲ニ時ヲ誤ラズ、速ニ進退ヲ決スベキデアリマス(拍手起ル)政府ハ總選舉ニ干渉シテ國民ノ總意ガ有リノ儘ニ議會ニ反映スルヲ妨グルニ全力ヲ盡シタノデアリマスルガ、選舉ガ終了シテカク特別議會ノ前後ヲ通ジ、最近ニ至ルマデ、政府及與黨一部ノ人々ハ、更ニ選舉ノ結果ヲ變造シテ議會ノ分野ヲ政府ニ有利ニ導ビカンガ爲ニ、議員ノ身邊ニ向テ盛ニ背德陋劣ノ手段ヲ試ミ、金權ノ魔力ヲ以テ政治家ノ節操ヲ蹂躪セシコトヲ努メテ居ルノデアリマス(拍手)殊ニ驚クベキハ國務大臣ノ中ニ、此種ノ運動ニ關係シテ居ル者ガアルト云フコトヲ承ルノデアリマス、此種ノ運動ノ固ヨリ暮夜隱密ノ裡ニ行ハル、コトデアリマスルニ依テ、裁判所ニ持出スヤウナ正確ナル證據ヲ握ル譯ニハ參リマスマイケレドモ、議員ノ買収トカ、或ハ切崩トカ云フ不愉快千萬ナル言葉ハ、不幸ニ致シマシテ今ヤ我政界ノ常套語トナリ、何人モ公然之ヲロシシテ憚ラズ、又政府部内ノ如何ナル種類ノ人ガ此種ノ運動ニ關係シテ居ルカト云フコトニ付テハ、所謂十目ノ視ル所、十指ノ指ス所、世間自ラ定評ガアリマス(拍手)政界腐敗墮落ノ源泉ガ、政府部内モ其最高ノ所ニ在ルト云フコトガ、今日ニ於テハ最早疑ノ範圍ヲ超越シテ、天下悉ク之ヲ信ズルニ至ラタリ云フコトハ、國家憲政ノ爲メ洵ニ慨歎ニ堪ヘザル所デアリマス(拍手)然レニ田中總理大臣ハ憲法政治ノ名譽ノ爲ニ、政界腐敗ノ病根ヲ除キ、墮落ヲ救フコトニ努力ヲシナイノミナラズ、少ナクモ總理大臣自ラ之ヲ默認スル態度ヲ執ッテ居ルト云フコトハ、洵ニ我國憲政ノ大ナル汚辱デアルト謂ハナケレバナラス(拍手)

○議長(元田肇君) 靜肅ニ
○濱口雄幸君(續) 諸君、近頃ニ於ケル國民思想ノ傾向ニ付テハ、御互洵ニ憂慮ニ堪ヘザル所デアリマス、昨年ノ春ニ於ケル共產黨事件ハ、洵ニ聖代ノ不祥事件デアリマシテ、政府ハ之ニ對シテ國法ノ威力ヲ以テ嚴重ニ彈壓ヲ加ヘタト云フコトハ、固ヨリ當然ノ措置デアリマス、併ナガラ單ニ表面ニ現レタル犯罪ノ事實ニ對シテ彈壓ヲ加ヘルコトニ依テ、國民思想ノ善導ヲ爲シ得ベシト考フル者ガアツタナラバ、ソレハ大ナル誤リデアリマス(拍手)政治家ガ思想問題ニ對スルヤ、深ク其原因ヲ察シ、遠ク其由來スル所ヲ究メ、問題ノ根本ニ向テ適切ナル對策ヲ講ゼンケレバナラヌト思フデアリマス(拍手)是ガ對策トシテハ、或ハ教育ノ刷新、振興、或ハ各種ノ社會政策ノ實行ニ依ル所ノ現代社會組織ノ缺陷ノ補正、或ハ適當ナル經濟政策ヲ以テ居ル所ノ國民生活ノ安定ト云ヒ、何レモ國民思想ノ善導ニ有效デアアルコトハ疑ヲ容レナイ所デアリマスルガ、凡ソ是等ノ施設ガ果シテ其效ヲ奏スルヤ否ヤ云フコトニ付テハ、一國ノ政治ガ極メテ公明正大ニ行ハレ、天下ノ儀表タルベキ所ノ國務大臣其人ガ、能ク其輔弼ノ責任ヲ盡シ、政治道德ヲ尊重スルト云フコトガ、總テノ問題ヲ解決スベキ所ノ先決問題デアリマス(拍手)苟モ政治ノ基調ガ公明正大ナラズ、天皇輔弼ノ重責ニ任ズベキ所ノ國務大臣ガ、自ラ政治道德ヲ無視シテ憚ラザルガ如キコトガアルナラバ、國民思想ノ善導ニ關スル政府百般ノ施設ト雖モ、決シテ其目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマス(拍手)田中總理大臣ヲ初メ内閣ノ諸公ハ、口ヲ開ケバ國民思想ノ善導ヲ唱ヘ、國民精神ノ作興ヲ説イテ居ルノデアリマスルガ、其自ラ行フ所ハ悉ク之ニ背イテ居ルデハナイカ(拍手)即チ綱紀、風教ノ上ニ至大ノ害毒ヲ流シテ居ル所ノ人事行政ノ失態ハドウデアアルカ(拍手)選舉干涉ニ因ル所ノ普通選舉ノ冒瀆ハドウデアアルカ(拍手)連帶責任ノ大義ヲ無視シ、恬トシテ臺

閣ニ連シテ居ル所ノ、其心理狀態ト云ヒ、或ハ閣臣ノ進退ニ關シテ、煩ヲ皇室ニ及シ奉リタリト天下ノ非難ヲ受クルニ至ラタル、其不謹慎ナル態度ト云ヒ、或ハ金錢ノ魔力ヲ以テ政治家ノ節操ヲ蹂躪シ、政界ノ腐敗墮落ヲ招ク所ノ唾棄スベキ背德ノ行爲ト云ヒ、一ツトシテ政治ノ公明ヲ害シ、政治道德ヲ破壞スル所以ニアラザルハナイノデアリマス(拍手)諸君、憲法布カレバハナイノ政治、日本國民ハ未ダ會テ今日ノ如ク暗黒ニシテ不愉快ナル政治ノ下ニ生活シタコトハナイノデアリマス(ヒヤ)「拍手」斯ノ如キ狀態ノ下ニ於テ國民思想ノ善導、國民精神ノ振作、ソレハ到底望ミ得ベカラザル所デアリマス(拍手)吾々ハ總テノ先決問題トシテ、速ニ現内閣ノ處決ヲ促シ、然レ後公明正大ナル政治ヲ基調トシテ、之ニ適中スル所ノ諸般ノ政策ヲ實行シ、以テ思想ノ善導、精神ノ作興ヲ圖ラナケレバナラヌト信ズル者デアリマス(拍手)以上述べタル所ハ、政策ヲ超越シタル根本ノ問題ニ付テ、輔弼ノ責任ヲ盡サザル現内閣ノ責任ヲ糾彈シテ、其處決ヲ促ス所以デアッテ、吾々ガ現内閣ヲ信任スル能ハザル理由ノ第三デアリマス(拍手)本決議案提出ノ理由ハ大體中上ダタ通りデアリマスルガ、假ニ其中ノ一ツヲ取ツテ見マシテモ、内閣ノ不信任ニ値スルノデアリマス(拍手)況ヤ現内閣ハ右申ス通り、内外ノ重要政策ヲ始メ、政策以外ノ根本問題ニ付キ、失政累積、是ガ存續ハ最早吾々國民ノ耐ヘ忍ブ能ハザル所デアリマス(拍手)諸君ノ贊成ヲ得テ本案ガ速ニ議會ヲ通過センコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)向ホ私ハ此機會ニ於テ、此說明ニ關聯シテ、一言ノ希望ヲ申シテ置キマス、私ハ大體ナガラ不信任ノ理由ニ付キ、相當事實ニ基イテ詳細ニ申述べタリデアリマス、之ニ對シ田中總理大臣ハ、討論終結ニ入ラザル適當ノ機會ニ於テ、本員ガ述べタル所ノ各種ノ事項ニ對シ、一々詳細明瞭ナル所ノ辯明ヲサレンコトヲ希望致シマス、又田中總理大臣ハ、此場合必ズヤ其態度ニ出デラレルコトヲ本員ハ確信ヲ

致シマス(拍手)
○議長(元田肇君) 質疑ガアリマスルカラ、此通告者ニ許シマス田淵豐吉君
○田淵豐吉君(登壇)
○議長(元田肇君) 諸君、今日此嚴肅ナル……
○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス
○田淵豐吉君(續) 問題ノ前ニ、私ハ私ノ立場カラシテ、議員ノ數ニ關係ハント欲スル所ヲ諸君ニ披露シテ置クト云フコトハ、所謂立法議院ノ一人トシテ、職責ヲ完全ニ果サントスル意思ニ外ナラヌト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思フノデゴザイマス、私ハ老軀ヲ提テ此壇上ニ獅子吼スル我ガ濱口雄幸君ノ爲メ、又民政黨ノ憲政ノ爲ニ奮闘セラレタル所ノ努力ニ對シテハ、多大ノ敬意ヲ表スル者デゴザイマス(拍手)併ナガラ是ト共ニ其言ヲ所、其爲ス所、其後來内閣ヲ取ツテ行ハントスル所ノ政治ニ、其言ヲ忠實ニシテ、其意ヲ誠デアアルト云フコトガ、若シ缺ケテ居ラナラバ、吾々ハ之ヲ正シテ、サウシテ國民トシテ、其善キヲ採リ、惡シキヲ去ツテ行クト云フコトデナケレバ、イカスト云フコトヲ、國民ノ一人トシテ痛切ニ感ズル者デゴザイマス、故ニ其言ヲ所ハハナルカ、非ナルカ、正ナルカ、偽ナルカ、之ヲ檢覈スルト云フコトモ、此機會ニ於テ、今日ニ於テ最モ適切肝要ナル時デアルト信ズルガ爲ニ、私ハ此嚴肅ナル問題、此緊張シタル所ノ議院ニ立ッテ、私ノ衷心ヲ披露スルコトハ、聊カ恥ヅル所デゴザイマス(笑聲)是レ國民ト共ニ已ムヲ得ザル所デアル、唯單ニ此案ガ通過スルカセヌカト云フ問題ヲ以テノミ、此憲政ノ進展ヲ期スルコトハ出來ナイ、故ニ私ハ諸君ニ此重大ナル時間ニ於テ之ヲ聽イテ戴キ、又今ノ提案者ニ對シ私ハ間キタイノデゴザイマス
○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス
○田淵豐吉君(續) 第一ハ時間ノ問題デアリマス、前後ノ問題デアリマス、或人曰ク、

此議會ノ勢頭ニ何ガ故ニ不信任案ヲ提出セザルヤト云フ人モアリマシタ、私ハ濱口君ニ聞キタイノデゴザイマス、濱口君ハ此軍内閣ノ閣員ニ果シテ支那ニ於テ此一年、一年半ノ間ニ、多事ナル所ノ支那及日本ノ關係、列強トノ關係ニ於テ、此内閣ガ果シテ支那トノ外交ヲ整理スルニ適當ナリト信ジテ居タカ、居ラナカッタカト云フコトヲ聞キタイ、或ハ緊急勅令カ何カヲ出シテ、サウシテ徒ニ民ノ心ヲ壓迫スル内閣デアルト云フコトヲ知ラナカッタノデアルカ、ソレヲ私ハ聞キタイ、政治家トシテ國民ニ先立テ能ク調査シ研究シテ、此内閣ガ惡クレバ、劈頭ニ於テ之ニ不信任案ヲ突付ケルコトガ、最も必要ナコトデハナカッタカ、然ルニモ拘ラズ、其先見ノ明ナクシテ、單獨ノ不信任案ヲ以テ内閣ヲ傷ケ、其一角ヲ崩シテ内閣ヲ轉覆セシメントシ、又床次君ヲ取入レントスル所ノ野心ガ、遂ニ現代ノ失敗ヲ來シテ居ルノデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜ニ願ヒマス

○田淵豐吉君(續) 默テ聽キ給ヘ、ソレヲ聞キタイ、詰リ床次一派ヲ逃サヌヤウニ、對外交ニ於テ幾分ノ反對アル所ノ床次一派ヲ逃サヌニ、左翼ノ労働團體其他ノ小團體ヲ取入レンガ爲ニ、サウシテ是等ノ授合ヲ圖ランガ爲ニ、自ラ爲スコトヲ知ラズシテ、單獨ノ責任ヲ執ラシメタト云フコトハ、是ハ尾崎君一派ニ釣込マレタ所ノ結果デハナカラウト思フ、故ニ私ガ政友會ヲ或ル程度マデ救ウテ居タト言ウタノハ其爲デゴザイマス、此内閣ガ對外交ニ於テ失敗シ、或ハ又緊急勅令カ何カヲ出シテ、却テ過激思想ヲ助長スルト云フヤウナ内閣デアルト云フコトガ、何故一年前ニ分ラナカッタノデアルカ、サウシテ今言フヤウナコトハ、此内閣ノヤリサウナコトデアアルコトハ分リ切テ居ルノデハナイカ、私ハ難キヲ求メルノデハナイ、ソレハ自ラ進ンデ、小タリト雖モ國民ノ爲ニ意見ヲ吐キ、政治ヲ唱道シテ、サウシテ内閣ニ突貫シテ、憲政ヲ正當ニヤラウトスル精神ガ必要デハナ

イカト思フノデゴザイマス

○議長(元田肇君) 田淵君

○田淵豐吉君(續) 此意味ニ於テ、單獨ノ責任ノミヲ責メテ、サウシテ尾崎君等ニ釣ラレテ、遂ニ此總括的不信任案ヲヤウ出シ得ナカッタト云フコトガ、現内閣ヲシテ益民政黨ノ謂フ所ノ惡事ヲ爲サシメタ所以デハナカッタカ、其責任モ民政黨アリノ者ガ負ハナケレバナラヌモノデハナイカト思フ、是ハ後來ノ關係モゴザイマスカラ、大ニ調ベテ置ク必要ガアルト思フ、然ルニ田淵ガ總括的不信任案ノ出タ時ニ、政友會アリカラ二十萬圓賣タト云フ説ヲ爲ス者ガアル、僕ヲ國賊ノ如ク罵タ連中ガアルガ、今日ニ於テ此事柄ハ始メテ明瞭ニナルノデゴザイマセウ、如何ニ吾々ノ方ガ諸君等ヨリモ言フコトガ嚴正デアアルカト云フコトハ、國民ガ知ッテ居ルノデアル、ソレカラ第二ニ私ガ聞キタイノハ

○議長(元田肇君) 田淵君、質問ノ要領ヲ御述ベナサイ

○田淵豐吉君(續) 質問デゴザイマス、第二ニ濱口君ニ聞キタイ所ハ、某重大問題ト云

ウテ、是モ民政黨員ガ——衆議院議員ガ是モ重大ナル事柄デアアルヤウニ述ベラレテ居ル、然ルニ濱口君ガ此壇上ニ上リテ言フ所ハ、問題ハ輕微デアアルカラ、唯言譯スレバ宜カッタト云フヤウナコトデアアル、詰リ辻褄ガ合ハスト思フ、即チ演說スル所ノ人、或ハ草稿ヲ書イタ人ト、諸君ノ現在議院ニ於テヤンテ居ルコト、ハ相違シテ居ル所ガアルガ、如何デアアルカト云フコトヲ私ハ聞キタイ、是ハ非常重大問題デハナカラウト思フノデゴザイマス、第三ニハ、私ハ滿蒙ノ重大問題ナレバ、何ガ故ニ商租權ノ問題ヲ張作霖ノ時ニ解決シナカッタノデアアルカ、彼自身ハ自ラ商租權ノ問題ヲ解決スルコト能ハズシテ、難キヲ巴田中首相ニ責メテ居ル、俺ハ商租權問題ヲヤルコトガ出來ナカッタガ、才前ハヤレト云フヤウナコトデハ、憲政ガ進展シナイト思フ、サウ云フヤウナ問題ガ例ヲ引ケバ澤山アルト思ヒマス

○議長(元田肇君) 田淵君

○田淵豐吉君(續) 私ハ濱口君ノ只今言フコトニ付テハ反對ハナイノデアアル、諸君ハ心ヲ安ンゼヨ

○議長(元田肇君) 田淵君、此問題ニ關聯シテ質問ノ要點ヲ御述ベナサイ

○田淵豐吉君(續) 併ナガラ斯ウ云フヤウナ分ラヌ所ガアリマスカラ、私ハソレヲ國民ノ前ニ質問サウトスル者デゴザイマス

○議長(元田肇君) 簡單ニ質問ヲシテ戴キタイ

○田淵豐吉君(續) 質問デゴザイマス、ソレカラ私ハ總理大臣ニ聞キタイ、總理大臣ハ對外交ニ於テ武力主義ヲ以テ臨ミ、今日撤兵スルコトガ出來ナイデ居ル、彼ハ拳ヲ上ゲテ支那ヲ叩カントシタガ、遂ニ其拳ノ下シ所ガナカッタト云フ狀態デハナイカ、是即チ一ツノ大ナル現内閣ノ失態デアッタト思フ、之ヲ如何ニシテ償ハントスルカ、是ハ或ハ列強ニ、或ハ支那ニ於テ、私ハ間違タ所ノ方針ヲ執ッテ爲デアラウト思フノデゴザイマス、ソレカラ又内政ニ於テ、内閣ヲ維持スル爲ニ、床次君ヲ取入レテ置カナケレバイカスト云フノデ、急ニ變轉シテ床次説ヲ容レテ、對外交ノ軟弱ヲ暴露シタノハ、是レ内政ニ於テ失敗デハナカラウトカト思フノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ工合デ、内相彈劾案ヲ出シ、又全體ノ不信任案ヲ出シテ、政友會ヲシテ之ヲ阻止セシメ、遂ニ審議未了ニ終ラシメタト云フコトハ、主トシテ濱口君ノ責任ノ一端デアリ、又今床次君ノ爲ニ操ラレテ、對外交ノ變外ニ於テ失敗シ、此床次君ノ船ニ乗ラウトシタト云フコトハ、又内政上ニ於テ政權ヲ維持センガ爲メノ現内閣ノ方便デハナカラウトカト思フノデゴザイマス、私ハ床次君ヲ惡イ人ト言フノデハナイ、ケレドモ斯ウ云フヤウナ内政上ノ政權維持ノ問題ガ、遂ニ現代ノヤウナ政治ヲ來シテ居ルノデハナイカト思フノデゴザイマス、ソレカラ第二ニ私ハ聞キタイ、ソレハ緊急勅令ノ問題デアアル、斯ウ云フヤウナ法令ヲ出サナクテモ十分デアアル所ノ日本國民ニ、何ガ故ニ支那ニ於テ行タ如ク、日本國內ニ於テテ斷斷的

政治ヲ執ッタルデアアルカト云フコトデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ付テノ問題ハ、私ハ非常ニ重要デアアルト思フノデゴザイマス、ソレカラ分權……

○議長(元田肇君) 田淵君……

○田淵豐吉君(續) 地租委讓ノ問題、營業稅ノ問題

○議長(元田肇君) 田淵君、此問題ニ關係アルコトヲ質問ナサイ、矢鱈ニ喋ッテハイケマセヌ

〔此時發言スル者アリ〕

○田淵豐吉君(續) マア聽キ給ヘ、是ハ關係ノアル問題デアアル、此議租案ト云フモノハ分權カラ來タト云フテ居ラレタガ、貴族院デ若槻君ノ質問ニ釣込マレテ、社會政策デアルト直シテ居ル、斯ノ如ク支離滅裂ナル言動ヲ以テ國民ヲ率ユルコトハ私ハ出來ナイト思フ、斯ウ云フヤウナ工合デ、此民政黨ノ不信任案提案者モ、其爲ス所ト其言ハント欲スル所トハ間違テ居ルト思フ、私ハ此不信任案ニ付テハ贊成デアアル、贊成デアアルケレドモ、斯ウ云フヤウナコトハ、後デ吾ガ聽カレタ時ニ非常ニ困ルカラ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜ニ願ヒマス——田淵君、簡單ニ質問ノ要點ヲ仰シヤッテ下サイ、此問題ニ密接ナ事ニ付テ質問ヲ願ヒマス(此時發言スル者多シ)——靜ニナサイ

○田淵豐吉君(續) 諸君ハ政黨ノ首領ノ言デアアルカラト云フテ之ヲ重シ、田淵ノ言デアアルカラト云フテ輕シズルノデアアルガ、六千萬國民ハ既ニ之ヲ聽カントシテ居ルノデアアル、故ニ此問題ハ小サイ問題デハナイ、政治上ノ重大問題デゴザイマス、此問題ヲ討議スルニ方ッテ、吾々ハ之ニ贊成デアアルケレドモ、斯ウ云フ事ヲ聞質シテ、サウシテ後來ノ爲ニ國政ノ進展ヲ圖ラントスルノデアアル、此案ハ重大デアアル、決シテ小サイ問題デハナイ、故ニ諸君ハ心ヲ慮ウシテ吾輩ノ言ニ聽キ、吾輩モ諸君ト共ニ又此内閣ニ突撃セントスル者デアリマス(發言スル者アリ)田中千代松君ノ如ク、人ノ心ヲ知ラズシテ人ヲ罵ルコト勿レ

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○田淵豐吉君(續) 私ハ此内閣ニ向ッテ突撃セントスル一人デアリマスガ、是ハ後來ニ關係スル問題デゴザイマスカラ、内閣モ亦斯ウ云フ問題ハ慎重ニ取扱ッテ、誠心誠意討論ヲ續ケ、賛成又ハ反對サレンコトヲ、私ハ願フノデゴザイマス、若シ濱口君ガ雅量アルナラバ、私ノ質問ニ對シテ御答辯アラセラレテ、サウシテ吾々國民ノ前ニ其疑義ヲ解キ、此内閣ヲ眞ニ攻撃シテ、之ヲ倒シ、憲政有終ノ美ヲ完ウスルト云フコトハ、濱口君ノ素懷デアラウト思フノデアリマス、憲政ハ單ニ數ノ問題デアハナイ、思想ノ問題デアリ、實ノ問題デアル、低キ自由カヲ高キ自由ヘノ突貫デアル、諸君ガ如何ニ騷イデモ、諸君ハ直ニ倒レテシマフヤウナ運命ニ遭遇セントモ限ラナイ、故ニ吾々ハ將來ヲ良クスル爲ニ完全ニ此議案ヲ取扱ヒ、サウシテ惡イ内閣ハ葬ランガ爲ニ、私ハ此壇上ニ立ッタイナ次第デアリマス、諸君ニ對シテ非常ニ失禮ナ言葉モアッタデゴザイマセウケレドモ、意ノ在所ヲ酌マレテ、徒ニ罵倒セラレザランコトヲ願フ次第デアリマス

○議長(元田肇君) 只今ノハ議長ノ見ル所ニ依リマスレバ、濱口君並ニ内閣ノ方カラモ御答辯ハナイヤウデアリマス、故ニ是ヨリ直ニ討論ニ入リマス

○田淵豐吉君 議長……

○議長(元田肇君) 討論ニ入ルト云フ宣告ヲ致シマシタ——其宣告後ニハ如何トモスルコトハ出來マセヌ——奏助君

〔奏助君登壇〕

○奏助君 私ハ此日程ニ上ッテ居リマスル内閣不信任案ニ對シテ反對スル者デアリマス、只今濱口君ノ御演説ヲ謹聴致シテ居リマシタ、其要旨ハ外交ト財政、並ニ人事行政其他三點ニ分ッテ御論述ニナッタ次第デアル、私ハ此三點ニ付キマシテ、聊カ反駁ヲ試ミタイト思フノデアリマス、第一ニ對外交ニ關シマシテ、濱口君ノ述ベラレル所ヲ伺ヒマス、之ヲ要スルニ、或ハ事件

ノ解決ガ延ビタ々ニナッテ居リテ寔ニ遲イデハナイカト言ハレル、前内閣ノ時ニ惹起致シマシタ南京事件、漢口事件ノ解決ガ未ダ出來テ居ラナイデハナイカ、或ハ滿蒙問題ニ付テハ商租權ノ問題ガ未ダ解決ガ出來テ居ラナイデハナイカ、サウ云フ風ナ問題ノ解決ガ未ダ出來テ居ラヌ、洵ニ遲イノデアルカラ、現内閣ハ失敗シテ居ルト云フノガ一ツノ要領デアル、又モウ一ツノ要領ハ何デアルカト云フト、未ダ發表セラレザル事柄ニ付テ、之ヲ新聞記事其他ヲ想像シテ、其想像ニ基イテ議論ヲセラレタ點ガ多イノデアル(拍手)此二ツノ要點ヲ出デ、居ル所ノ御議論ハ、拜聴スルコトガ出來ナカッタデアル、此南京事件、漢口事件、或ハ商租權ノ解決ガ未ダ延ビタ々ニナッテ居ルト云フコトニ付テハ、私ハ茲ニ多ク言フ必要ハナイト思フ、其責任ハ前内閣ニ在ッテ、支那ヲ相手ト致シマシテ、是ガ未ダ解決出來ナイカラト言ウテ、現内閣ノ責ニ歸スルコトハ、間違ッテ居ルト私ハ思フ(拍手)又滿蒙ニ於テ最モ重大ナル問題デアル商租權、此商租權ノコトハ太隈内閣ノ時ニ、彼ノ所謂二十一箇條ノ條約、之ニ依ッテ此商租權モ此中ニ含マレタノデアリマスガ、此商租權ハ現内閣以テ交渉ヲ始メテ、未ダ解決ハ出來ヌガ、熱心ニヤッテ居ル、之ヲ結ンダ所ノ加藤外務大臣、其人デスラ此細目協定ニ向ッテハ交渉ヲ始メナカッタノデアル、前内閣ハ此商租權ノ重大ナル問題ニ付テ細目協定ノ交渉ヲスルコトスラモ恐レル程ノ軟弱デアッタト申スノデアリマス(拍手)而シテ現内閣ハ奮然トシテ此問題ヲ解決シナケレバナラヌトシテ、交渉ヲ始メテ居ルノニ、其解決ガ遲イカラト云フテ之ヲ非難スルノハ、非常ニ間違ッテ居ルト思フノデアリマス(拍手)又先達決タト云フ所ノ關稅定率ノ協定ニ付テモサウデアルハ、之ガ解決ハ段段進クナッテ意ニ付イタガ、支那ノ壓迫ニ依ッテ斯ノ如ク讓歩シタト云フ風ニ御論ジニナタ、支那ノ壓迫ヲ受ケタト云フノハ、何ニ依ッテ之ヲ證明サレムデアルカ(拍手)外交ノ事ハ極メテ重大デ、内政ノ事トハ全ク

違ヒマシテ、苟モ事外交ニ關スルナラバ、政治家ハ十分ニ其言論ヲ慎重ニシナケレバナラヌト私ハ覺悟致シテ居ル(拍手)苟モ我が日本ニ於ケル大政黨ノ總裁タル濱口ノ君ノ口カラ、未ダ發表セラレザル事ヲ、想像ニ依ッテ支那ノ壓迫ヲ受ケタガ爲ニ讓歩シタノデアルトカ、或ハ之ニ關スル所ノ特殊條件ガ未ダ發表モサレテ居ラナイノニ、甚ダ不利益デアルト云フヤウナ論斷ヲ、獨斷のニサレテ居ルト云フコトハ、實ニ國家ヲ誤ルノ甚シキモノデアルト私ハ考ヘルノデアル(拍手)實ニ濱口君ハ民政黨ノ總裁トシテ、國家ノ重キヲ擔フ所ノ人物ト考ヘテ、私ハ謹聴致シマシタガ、今申シタル通り、最モ慎重ヲ要スベキ所ノ外交上ノ言論ガ、斯ノ如ク安リガマシイノ實ニ驚入ラザルヲ得ナイノデアル、又濟南出兵ニ付テモ、保護ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイトカ、或ハ禍根ヲ貽シタト云フコトデ、種々御非難ニナッテ居リマスガ、此濟南ノ出兵ニ依ッテ保護ノ目的ヲ達シタコトハ明デアル、又禍根ヲ貽シタト云フコトハ、是ハ今後問題ノ結果ニ依ッテ見ナケレバ分ラヌ事デアッテ、今日之ヲ言フコトハ出來ナイト考ヘル(拍手)又濟南出兵ニ付テハ、其遠キ原因ト致シマシテハ、前内閣ノ軟弱ナル外交方針ガ其遠因ヲ爲シテ居ルト吾々ハ考ヘル(拍手)而シテ前議會ニ於キマシテハ、此出兵ノ費用ニ付テハ、民政黨ノ諸君モ滿場一贊ニ贊成サレタノデアルカラシテ、此出兵ノ問題ニ付テハ、諸君ハ餘リ多ク言フコトハ出來ナイ答デアル、諸君、斯ノ如ク外交上ニ關スル重大ナル事件、之ニ付テノ御議論ガ洵ニ私ハ聽クニ堪ヘナイ、又某重大事件ニ關シテ言ハレル所ヲ聽キマスルト、是非非常ニ輕微ナル事件デアル、此輕微ナル事件ガ九箇月モ掛ッテモ調査ガ出來ナイコトハ、何タルコトデアルト云フテ居ル、重大ナル事件デアルカ、輕微ナル事件デアルカ、濱口君ハ何レナルカヲ確ニ御明言セラレナケレバナラヌ答デアル(拍手)斯ノ如キ重大問題デアレバコソ調査ニ日ガ掛ッテ、サウシテ是ガ爲ニ政府ハ未ダ其結果ヲ公表スルコトガ出來

ナイト申シテ居ルノデアル、而モ此事柄ハ濱口君ハ茲ニ問フベキコトデアハナイ、先達院議ニ於テ何ト決メタカ、院議ニ於テハ即チ此重大事件ニ關スル結果ノ報告ト云フモノハ出來ナイトシテ、爲スベキモノニ非ズト云フコトヲ、院議ガ之ヲ決メテ居ルデヤナイカ、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、實ニ曖昧ナル所ノ言辭ヲ弄シテ、此爲ニ國家國民ノ疑惑ヲ招カシムルヤウナ言辭ヲ弄セラレタト云フコトハ、洵ニ私ハ惜ミテモ餘リアルコトデアルト思フノデアル(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○奏助君(續) 成程先達ノ豫算委員總會ニ於テ、此所謂重大事件ヲ以テ、虎ノ門事件ニ比較スル所ノ民政黨ノ議員アルコトヲ想ヘバ、其觀念ニ於テ吾々ト違フノデアリマス(拍手)諸君、外交ノコトハ洵ニ重ネ重ネ申シマスルガ極メテ重大デアル、ソレ故ニ其日本ニ於ケル所ノ政治家ノ言論ハ、我が國民ニ影響スルハ勿論、其相手國ノ心理狀態ニ影響スルハ勿論デアル、吾々ハ濱口總裁ノ言フヤウニ、或ハ事實ニ基カズシテ想像ニ依ッテ之ヲ判斷シテ、支那外交失敗デアル、支那外交失敗デアルト云フ所ノ所謂自己暗示的セルフ、サゼツションヲ長クヤッテ居ルト云フト、日本國民ガ世界ニ對シテ非常ニ恐ル、所ノ地位ニ立ツコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、又支那國民ト云フモノモ、日本ノ政治家ガ口ヲ極メテ外交失敗デアルト唱ヘタル以上ハ、此支那ノ外交ハ成功シテ居ルニ相違ナイト云フ反對解釋ヲシテ、彼等ハ益々驕ブルニ至ルデアラウト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト吾々ハ思フノデアル、諸君、此外外交ノ問題ニ付キマシテハ、此點以テ止メマスルガ、尙ホ詳細ハ此途ニ詳シイ中村君ガ、十分ニ論駁セラル、デアラウカラ、御靜聴ヲ願ハナケレバナラヌ、次ニ財政計畫等ニ付テノ御非難デアル、濱口總裁ノ言ハレマシタコトニ依リマスルト云フト、公債政策、是ガ第一點デアッタ、此公債政策ニ付テ濱口君ノ言ハレタコトハ實ニ驚クベキコトデアル、

ナイト申シテ居ルノデアル、而モ此事柄ハ濱口君ハ茲ニ問フベキコトデアハナイ、先達院議ニ於テ何ト決メタカ、院議ニ於テハ即チ此重大事件ニ關スル結果ノ報告ト云フモノハ出來ナイトシテ、爲スベキモノニ非ズト云フコトヲ、院議ガ之ヲ決メテ居ルデヤナイカ、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、實ニ曖昧ナル所ノ言辭ヲ弄シテ、此爲ニ國家國民ノ疑惑ヲ招カシムルヤウナ言辭ヲ弄セラレタト云フコトハ、洵ニ私ハ惜ミテモ餘リアルコトデアルト思フノデアル(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○奏助君(續) 成程先達ノ豫算委員總會ニ於テ、此所謂重大事件ヲ以テ、虎ノ門事件ニ比較スル所ノ民政黨ノ議員アルコトヲ想ヘバ、其觀念ニ於テ吾々ト違フノデアリマス(拍手)諸君、外交ノコトハ洵ニ重ネ重ネ申シマスルガ極メテ重大デアル、ソレ故ニ其日本ニ於ケル所ノ政治家ノ言論ハ、我が國民ニ影響スルハ勿論、其相手國ノ心理狀態ニ影響スルハ勿論デアル、吾々ハ濱口總裁ノ言フヤウニ、或ハ事實ニ基カズシテ想像ニ依ッテ之ヲ判斷シテ、支那外交失敗デアル、支那外交失敗デアルト云フ所ノ所謂自己暗示的セルフ、サゼツションヲ長クヤッテ居ルト云フト、日本國民ガ世界ニ對シテ非常ニ恐ル、所ノ地位ニ立ツコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、又支那國民ト云フモノモ、日本ノ政治家ガ口ヲ極メテ外交失敗デアルト唱ヘタル以上ハ、此支那ノ外交ハ成功シテ居ルニ相違ナイト云フ反對解釋ヲシテ、彼等ハ益々驕ブルニ至ルデアラウト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト吾々ハ思フノデアル、諸君、此外外交ノ問題ニ付キマシテハ、此點以テ止メマスルガ、尙ホ詳細ハ此途ニ詳シイ中村君ガ、十分ニ論駁セラル、デアラウカラ、御靜聴ヲ願ハナケレバナラヌ、次ニ財政計畫等ニ付テノ御非難デアル、濱口總裁ノ言ハレマシタコトニ依リマスルト云フト、公債政策、是ガ第一點デアッタ、此公債政策ニ付テ濱口君ノ言ハレタコトハ實ニ驚クベキコトデアル、

ナイト申シテ居ルノデアル、而モ此事柄ハ濱口君ハ茲ニ問フベキコトデアハナイ、先達院議ニ於テ何ト決メタカ、院議ニ於テハ即チ此重大事件ニ關スル結果ノ報告ト云フモノハ出來ナイトシテ、爲スベキモノニ非ズト云フコトヲ、院議ガ之ヲ決メテ居ルデヤナイカ、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、實ニ曖昧ナル所ノ言辭ヲ弄シテ、此爲ニ國家國民ノ疑惑ヲ招カシムルヤウナ言辭ヲ弄セラレタト云フコトハ、洵ニ私ハ惜ミテモ餘リアルコトデアルト思フノデアル(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○奏助君(續) 成程先達ノ豫算委員總會ニ於テ、此所謂重大事件ヲ以テ、虎ノ門事件ニ比較スル所ノ民政黨ノ議員アルコトヲ想ヘバ、其觀念ニ於テ吾々ト違フノデアリマス(拍手)諸君、外交ノコトハ洵ニ重ネ重ネ申シマスルガ極メテ重大デアル、ソレ故ニ其日本ニ於ケル所ノ政治家ノ言論ハ、我が國民ニ影響スルハ勿論、其相手國ノ心理狀態ニ影響スルハ勿論デアル、吾々ハ濱口總裁ノ言フヤウニ、或ハ事實ニ基カズシテ想像ニ依ッテ之ヲ判斷シテ、支那外交失敗デアル、支那外交失敗デアルト云フ所ノ所謂自己暗示的セルフ、サゼツションヲ長クヤッテ居ルト云フト、日本國民ガ世界ニ對シテ非常ニ恐ル、所ノ地位ニ立ツコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、又支那國民ト云フモノモ、日本ノ政治家ガ口ヲ極メテ外交失敗デアルト唱ヘタル以上ハ、此支那ノ外交ハ成功シテ居ルニ相違ナイト云フ反對解釋ヲシテ、彼等ハ益々驕ブルニ至ルデアラウト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト吾々ハ思フノデアル、諸君、此外外交ノ問題ニ付キマシテハ、此點以テ止メマスルガ、尙ホ詳細ハ此途ニ詳シイ中村君ガ、十分ニ論駁セラル、デアラウカラ、御靜聴ヲ願ハナケレバナラヌ、次ニ財政計畫等ニ付テノ御非難デアル、濱口總裁ノ言ハレマシタコトニ依リマスルト云フト、公債政策、是ガ第一點デアッタ、此公債政策ニ付テ濱口君ノ言ハレタコトハ實ニ驚クベキコトデアル、

ナイト申シテ居ルノデアル、而モ此事柄ハ濱口君ハ茲ニ問フベキコトデアハナイ、先達院議ニ於テ何ト決メタカ、院議ニ於テハ即チ此重大事件ニ關スル結果ノ報告ト云フモノハ出來ナイトシテ、爲スベキモノニ非ズト云フコトヲ、院議ガ之ヲ決メテ居ルデヤナイカ、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、實ニ曖昧ナル所ノ言辭ヲ弄シテ、此爲ニ國家國民ノ疑惑ヲ招カシムルヤウナ言辭ヲ弄セラレタト云フコトハ、洵ニ私ハ惜ミテモ餘リアルコトデアルト思フノデアル(拍手)

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○奏助君(續) 成程先達ノ豫算委員總會ニ於テ、此所謂重大事件ヲ以テ、虎ノ門事件ニ比較スル所ノ民政黨ノ議員アルコトヲ想ヘバ、其觀念ニ於テ吾々ト違フノデアリマス(拍手)諸君、外交ノコトハ洵ニ重ネ重ネ申シマスルガ極メテ重大デアル、ソレ故ニ其日本ニ於ケル所ノ政治家ノ言論ハ、我が國民ニ影響スルハ勿論、其相手國ノ心理狀態ニ影響スルハ勿論デアル、吾々ハ濱口總裁ノ言フヤウニ、或ハ事實ニ基カズシテ想像ニ依ッテ之ヲ判斷シテ、支那外交失敗デアル、支那外交失敗デアルト云フ所ノ所謂自己暗示的セルフ、サゼツションヲ長クヤッテ居ルト云フト、日本國民ガ世界ニ對シテ非常ニ恐ル、所ノ地位ニ立ツコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、又支那國民ト云フモノモ、日本ノ政治家ガ口ヲ極メテ外交失敗デアルト唱ヘタル以上ハ、此支那ノ外交ハ成功シテ居ルニ相違ナイト云フ反對解釋ヲシテ、彼等ハ益々驕ブルニ至ルデアラウト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト吾々ハ思フノデアル、諸君、此外外交ノ問題ニ付キマシテハ、此點以テ止メマスルガ、尙ホ詳細ハ此途ニ詳シイ中村君ガ、十分ニ論駁セラル、デアラウカラ、御靜聴ヲ願ハナケレバナラヌ、次ニ財政計畫等ニ付テノ御非難デアル、濱口總裁ノ言ハレマシタコトニ依リマスルト云フト、公債政策、是ガ第一點デアッタ、此公債政策ニ付テ濱口君ノ言ハレタコトハ實ニ驚クベキコトデアル、

餘リニ此議員ヲ愚ニスルノ甚シキモノデア
ル、何トナレバ震災復興費、並ニ電話事業
公債、鐵道公債、是ガ大變ニ當リ、斯ウ云
フモノヲヤルコトハ公債ヲ濫發スルノデア
ルト云フヤウナ御言葉デアッタ、諸君、此震
災復興費ト云フモノハ何デア、震災復興
費ハ帝都復興費ト並ビマシテ、即チ此震災
ノ影響ニ因リマシテ蒙タル所ノ損害、建物
等ノ復興デア、是ハ此議會ガ協賛ヲ與ヘ
タ法律ニ依テ公債ヲ募ルコトニナッテ居ル、
唯濱口君ナシカ、局ニ當テヤッタ時ハ剩餘
金ガ澤山アツタカラシテ、此公債ニ依ラズ
シテ當分ハ即チ剩餘金デ以テ支辨シテ居
タノデア、併ナガラ其性質ハ勿論臨時事
件タル震災ニ基クモノデア、又法律ガ既
ニ之ヲ認メテ居ルノデアカラシテ、若シ
モ濱口君ガ論ゼラル、ガ如ク、震災復興費
ハ帝都復興費ト違フ、違フカラシテ之ヲ公
債ヲ出シテハナラヌト云フ御論デア、ナラ
バ、貴方ガ局ニ當テ時ニ何故ニ此法律ノ
改正ヲ爲サナカッタノデア、斯ウ云
フ考デアレバ、其時ノ公債ニ關スル所ノ法
律、起債法ノ改正ヲ議會ニ出サレノガ私
ハ當然ダト思フ、又電話事業公債ニ付テハ、
濱口君ハ此度ノ政府ガ出シタ電話事業公債
ノ性質ヲ全ク御存知ナイヤウデア

債ヲ發行致シマシタ所ガ、之ニ依テ公債政策
ニ變化ヲ生ズルトカ、國民ノ負擔ニ關係ヲ
生ズルナド、云フヤウナコトハ毛頭ナイト
云フコトヲ御存知ナイモノデア、私ハ思
フ、又鐵道公債ニ付テ言及セラレマシタ、
鐵道公債ガ八千萬圓殖エタ、是ガ多イト云
フ御言葉デア、併ナガラ此鐵道公債ニ付
キマシテハ御承知ノ通り、鐵道ノ建設ニ必
要ガアルト同時ニ、諸君、此鐵道ニ付キマ
シテハ、彼ノ特別會計ト同ジヤウニ減債基
金ニ繰入レルト云フコトニ今日ナッテ居ル
ノデア、從來ハ此鐵道ノ公債ハ利子ダケ
ハ鐵道ノ方ノ收入カラ出シテ居リマシタ
ガ、元金ノ償還、即チ減債基金ノ方ニ依ル
所ノ万分ノ十六ヲ拂フト云フコトニ付キマ
シテハ、是ハヤンテ居ラナカッタ、ソレハ原
則ニ背クコトデア、又ソレデハ鐵道公債
ヲ抑制スルコトガ出來ナイカラシテ、現大
藏大臣ニナリマシテ鐵道大臣ト協議ノ上、
閣議ヲ經テ、特別會計カラ元金利子ヲ拂ハ
ナケレバナラヌ、即チ鐵道ハ千八百萬圓ヲ
元利支拂ニ充テナケレバナラヌト云フコト
ニナッテ居ルデア、サウ云フ譯デア、カラ
シテ此鐵道公債ニ付キマシテモ、濱口君ノ
公債濫發ト云フ論ハ當ラナイト私ハ考ヘ
ル、又兩稅委員ニ依リマシテ此財政ノ基礎
ヲ薄弱ナラシメルト云フコトヲ斷言セラレ
テ居ル、此兩稅委員ト云フコトニ付キマシ
テハ、非常ニ民政黨ノ諸君ハ神經ヲ惱マサレ
テ居ル、濱口君ノ言ハレタ所ニ依リマシテ
了マウト云フコトハ、實ニ是ハ惜シイコト
デア、實ニ財政上ノ基礎ヲ非常ニ薄弱ニ
スルト云フ御論デア、アツタノデア、是ハ如
何ニモ自分等ノ手カラ放スノガ惜シイヤウ
ニ考ヘラレテ居ルノデア、併ナガラ此兩
稅委員ニ付キマシテハ、十分ナル計畫ガ立
テ、昭和六年度カラ之ヲ委譲スルニ方ッテ、
之ニ代ルベキ所ノ一億三千万圓ノ金ト云
フモノハ、所得稅法改正ノ結果ノ四千八百
萬圓、其他自然増收、或ハ其他ノ收入ヲ以
チマシテ、明ニ之ヲ補填スルコトガ出來ル
ヤウニナッテ居ルノデアカラシテ、サウ云

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス
○泰豐助君(續) 從來ハ此電話事業公債ト
云フモノハ起シテゴザイマシタガ、其電話
事業ヲヤリマシタ所ノ利益、是ガ一般會計ノ
下ニ繰入ラレテアル、繰入ラレテアルガ、
其年ハ元利ヲ拂テ有リ餘テ居ル、其有リ
餘テ分ハ一般會計ノ他ノ方デ以テ使フヤ
ウニシテ居ラノデア、何百萬圓、或ハ千
萬圓以上越シタコトモアル、然ルニ此度ノ
通信大臣ガ之ヲ變ヘタ、即チ電話事業ニ使
フ所ノ公債ハ特別會計デハナイ、一般會計
デア、一般會計デア、實際ノ性質ハ
特別會計ト同ジヤウニ電話カラ出ル所ノ收
入ヲ以テ、電話事業公債ノ元金利子ヲ償還
スルニ充テルト云フコトニ定メタノハ、即
チ新シク定メタノデア、ソレ故ニ電話公

フヤウナ御心配ハ無用デア、私ハ思フ
(拍手) 唯簡單ニ、代リ財源ガ貧弱デア、
斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレマシテモ、何
人モ之ヲ信ズル者ハナイ、此問題ニ付キマ
シテハ世間ニモ往々誤解ガアルヤウデア、
カラシテ、私ハ茲ニ申シテ見ヤウ、即チ此
所得稅改正ニ依ル所ノ増收ガ約四千七百九
十萬圓アル、地租ノ徵稅額ノ減少ガ四百四
十萬圓、歳入歳出ノ差額ガ二千三百九十萬
圓、特別會計減債基金負擔ガ千八百六十萬
圓、同恩給負擔ガ六百萬圓、賠償金繰入ガ
七百三十萬圓、木材關稅ノ増加ガ百八十萬
圓、預金部繰入ノ増加ガ百八十萬圓、自然
増收ガ千六百九十萬圓、其他合計一億三千
三百四十萬圓ト云フモノハ、昭和六年度ニ於
テ新ニ出來ルノデア、是ハ固ヨリ兩稅
ノ委員ノ代リト云フ意味デハナイガ、サウ
云フ風ニ一方ニ減ルト一方ニ殖エルモノモ
アルカラ、御心配ハ要ラナイト思フ次第
アル(拍手) 又之ニ依テ一億三千万圓ノ確定
收入ヲ失フカラ、將來増稅ヲシナケレバナ
ラヌ、又公債ヲ増發シナケレバナラヌ所ノ
破目ニ陥ルト云フヤウナコトヲ獨斷セラレ
マシタガ、是ハ全ク獨斷デア、私ハ思フカ
ラ、御返事申スコトハナイ、又昭和六年度
カラ華盛頓會議ノ結果、主力艦ヲ改造シナ
ケレバナラヌ、此軍艦製造ノ費用ガナイ、
今日ノヤウニヤンテ居ラナラバ、兩稅ヲ委
讓シタナラバ、其費用ガナイト云フコトヲ
仰シヤッタ、諸君、此點ニ付テハ私ハ特ニ
若槻内閣ノ時ニ質問ヲ致シタノデア、若
槻内閣ノ時ニハドウ云フコトヲ致サレタ
カ、海軍ハ補助艦艇ヲ製造スル爲ニ、約三
億萬圓ノ金ヲ要スル、ソレダケノモノガナ
ケレバ、補助艦艇ノ現有勢力ヲ維持スルコ
トハ出來ナカッタ、然ルニ内閣ハドウ云フコ
トヲシタカ、僅ニ二千五百萬圓ヲ驅逐艦ヲ
四隻造ル案ヲ出シタデハナイカ(拍手) 驅逐
艦四隻ト云フモノハ、何等ノ聯絡アル所ノ
計畫ト云フコトハ認メルコトガ出來ナイ
(拍手) 之ニ件ヲ更ニ潜水艦或ハ巡洋艦、
斯ウ云フモノガ二億五千万圓モ此上ニ加
テ、始メテ一定ノ計畫ガ立ッノデア、之ヲ

二千五百萬圓ヲ切テ出シタカラシテ、
私ハ大ニ質問ヲ致シマシタ、其時ニ若槻君
ハ答辯シテ言フニハ、此主力艦隊ノ問題ニ
付テ財源ヲ保留シテ居ルカラ、御安心ヲ願
フト云フコトヲ言フテ居ル、然ラバ其財源
ハドウ云フ風ニ、ドノ位保留シテアルカト
云フコトニ付テハ、何等明答ヲ與ヘルコ
トガ出來ナイ、ソレハ此十箇年ノ財政概
計表ノ中ニハ載セテアルト云フ、是ダ
ケノ御返答ダッタ、今日ニ於キマシテ
モ、今日大藏大臣ノ言明ニ依リマスレバ、
即チ此若槻内閣ニ於テ昭和六年度ヨリ施行
スル所ノ一若手スル所ノ此主力艦ノ建造
ノ費用ニ付テハ、ソレダケノモノハ保留
シテ居ルト云フコトヲ言明シテ居ル以上
ハ、諸君ハソレニ御安心ニナルノガ當然
デアラウト私ハ思フ(拍手) 又兩稅委員ニ依
テ、財政經濟上ノ危險ヲ冒シテ迄之ヲ委讓
スルノ必要ハナイト云フコトヲ仰シヤッ
ノデア、諸君、此兩稅ヲ委讓シテ地方
稅、即チ此營業收益稅ト地租ヲ地方稅ト致
シマシテ、サウシテ財政上及經濟上ノ大ナ
ル危險ガアルト云フノガ濱口君ノ議論デア
ル、吾々ハ先程申シタ通り、何等ノ危險ガ
ナクシテ之ヲ實行シ得ルト云フコトヲ證明
スルノデア(拍手) 斯ノ如キ唯事實ニ基カ
ズシテ、何トカ一億三千万圓モ取レル金ヲ
捨テ、シマウト、後ハ危ブナカラウト云フ
風ナ神經質ノ考デ、此處ニ議論ヲサレルコ
トハ御斷リ申シタイト思フテ居リマス、(拍
手) 又兩稅委員ノ結果ハ地方稅ガ段々増シ
テ來ルデアラウ、必ズ是ハ免レナイト云フ
コトガ、是モ一ツハ獨斷デア、又獨斷デ
ナイト致シマシテモ、地方稅ノ増加スルコ
トハ、地租ヲ委讓シ、營業收益稅ヲ委讓シ
ナクテモ、必要ナル事業ガ起ッタナラバ、
是ハ増加スルコトハ免レナイノデア(「ヒ
ヤ」) (拍手) 地方ノ發展ヲ圖ルト云フコ
トハ、我が政友會傳統ノ精神デア、(拍
手) 又此地方分權ノ地方分權ト云フコト
ニ付テ、ドウモ其意味ガ不明瞭デ色々質問
シテ見タケレドモ、答辯ガ區々ニ厚シテ居ル
ト色々仰シヤル、ケレドモ此地方分權ノコ

二千五百萬圓ヲ切テ出シタカラシテ、
私ハ大ニ質問ヲ致シマシタ、其時ニ若槻君
ハ答辯シテ言フニハ、此主力艦隊ノ問題ニ
付テ財源ヲ保留シテ居ルカラ、御安心ヲ願
フト云フコトヲ言フテ居ル、然ラバ其財源
ハドウ云フ風ニ、ドノ位保留シテアルカト
云フコトニ付テハ、何等明答ヲ與ヘルコ
トガ出來ナイ、ソレハ此十箇年ノ財政概
計表ノ中ニハ載セテアルト云フ、是ダ
ケノ御返答ダッタ、今日ニ於キマシテ
モ、今日大藏大臣ノ言明ニ依リマスレバ、
即チ此若槻内閣ニ於テ昭和六年度ヨリ施行
スル所ノ一若手スル所ノ此主力艦ノ建造
ノ費用ニ付テハ、ソレダケノモノハ保留
シテ居ルト云フコトヲ言明シテ居ル以上
ハ、諸君ハソレニ御安心ニナルノガ當然
デアラウト私ハ思フ(拍手) 又兩稅委員ニ依
テ、財政經濟上ノ危險ヲ冒シテ迄之ヲ委讓
スルノ必要ハナイト云フコトヲ仰シヤッ
ノデア、諸君、此兩稅ヲ委讓シテ地方
稅、即チ此營業收益稅ト地租ヲ地方稅ト致
シマシテ、サウシテ財政上及經濟上ノ大ナ
ル危險ガアルト云フノガ濱口君ノ議論デア
ル、吾々ハ先程申シタ通り、何等ノ危險ガ
ナクシテ之ヲ實行シ得ルト云フコトヲ證明
スルノデア(拍手) 斯ノ如キ唯事實ニ基カ
ズシテ、何トカ一億三千万圓モ取レル金ヲ
捨テ、シマウト、後ハ危ブナカラウト云フ
風ナ神經質ノ考デ、此處ニ議論ヲサレルコ
トハ御斷リ申シタイト思フテ居リマス、(拍
手) 又兩稅委員ノ結果ハ地方稅ガ段々増シ
テ來ルデアラウ、必ズ是ハ免レナイト云フ
コトガ、是モ一ツハ獨斷デア、又獨斷デ
ナイト致シマシテモ、地方稅ノ増加スルコ
トハ、地租ヲ委讓シ、營業收益稅ヲ委讓シ
ナクテモ、必要ナル事業ガ起ッタナラバ、
是ハ増加スルコトハ免レナイノデア(「ヒ
ヤ」) (拍手) 地方ノ發展ヲ圖ルト云フコ
トハ、我が政友會傳統ノ精神デア、(拍
手) 又此地方分權ノ地方分權ト云フコト
ニ付テ、ドウモ其意味ガ不明瞭デ色々質問
シテ見タケレドモ、答辯ガ區々ニ厚シテ居ル
ト色々仰シヤル、ケレドモ此地方分權ノコ

トハ、是ハ民政黨ノ諸君ニハ御分リニナラヌノガ當リ前デアルト考ヘルノデアアル、寧ろ分ッたらソレハ可笑シイデアアル

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○泰豐助君(續) 何トナレバ吾々ハ地方分權ノ精神——吾々ハ政友會ト致シマシテハ大ナル精神ヲ持ッテ居ル、大ナル強キ信念ヲ持ッテ居ル、即チ昭和維新ノ大業ヲ成就スルノニハ、産業立國ト此地方分權ノ二ツニ依ラナケレバナラヌト云フコトヲ信ジテ居ル(拍手) 其強キ深キ信念ガアッテ、此地方分權ノ精神ヲ以テ、始メテ地方ヲ固メテ、守ッテ、中央ニ如何ナルコトガ起ッテモ、日本ノ國ガ搖ガナイト云フコトニシヤウト云フ大精神デアアル、又此大精神、大企畫ヲ持ッタノガ政友會デアッテ、民政黨ニハ此企畫モナケレバ精神モナイカラ分ラナイノハ當リ前デアアル(拍手) サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、實ニ此論ゼラル、所ハ薄弱デアアル、又金解禁ニ付テモ、政府ハ自ラ之ヲ妨ゲテ居ルト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル、豫算ハ膨脹シタル豫算デアアルカラ、ソレデハ駄目デアアル、整理緊縮ノ認ムベキモノガナイト言ッテ居ルガ、濱口君御自身ノ作ッテ豫算ハドウダ、大正十四年ニ初メテ整理緊縮ヲ名トシテ作ッテ居ッテ、而モ其時ハ關東大震災ノ後ヲ受ケテ、經濟上ノ狀態ガ今日ヨリモマダヒドカッタ狀態デアアル、其時ニ濱口君ガ整理緊縮ヲ名トシテ、初メテ大藏大臣トシテ作ラレタ豫算ハ十五億三千万圓ニ達シテ居ルデハナイカ、即チ其前ノ市來大藏大臣ガ、大正十二年度豫算トシテ作ッテ十三億二千万圓ニ比ベレバ、二億萬圓近クモ大ナル増加ヲ致シテ居ルデハナイカ(拍手) 若シモ此濱口君ノ作ッテ所ノ十四年度ノ豫算、又片岡君ガ作ッテ所ノ昭和二年度ノ豫算、此昭和二年度ノ豫算ハ、實ニ十七億二千万圓ノ多キニ達シテ居ル、此十七億二千万圓ノ多キニ達シテ居ル所ノ豫算、之ヲ作ッテ所ノ片岡君デアアル、此片岡君ノ作ッテ所ノ豫算、濱口君ノ十四年ニ作ッテ所ノ豫算、アノ有様デ以テ年々一割三分ノ増加ヲ示シテ居

ルノデアアルガ、此一割三分ノ増加ヲ示シテ居ルモノガ續イテ參ルモノト考ヘタナラバ、彼ノ憲政會内閣ガ續イテ居ッタナラバ、昭和四年度ノ豫算ハ十九億萬圓以上ニナル所ノ勘定ニナル譯ノモノデアアル(拍手) ソレガ唯僅ニ二千万圓——片岡君ノ作ッテ昭和二年度ノ豫算ト比ベマシテ、僅ニ二千万圓シカ殖エテ居ラナイ、此現内閣ノ豫算ハ龐大ナル豫算デアッテ、ソレガ爲ニ金解禁ヲ妨グルナドト云フコトハ、實ニ可笑シイ話デアアル(拍手) 金解禁ノコトニ付キマシテモ、頻ニ現内閣ヲ咎メラレルケレドモ、金解禁ニ對スル準備ハ、今申シタル通り豫算ニ付テハ其通りデアアル、前内閣ハ何ヲ準備ヲ致シテ居ルノデアアルカ、金解禁ニ付テノ準備ガ無い、然ルニ自分ガ野ニ立ッテ、サウシテ此政府ヲ非難スルキニハ、準備ヲ致シテ居ラヌ、準備ヲ致シテ居ラヌト云フガ、サウ云フ風ニ金解禁ニ御熱心ナル諸君ナレバ何故ニ局ニ當ッテ居ッタ時ニ準備ヲシナカッタカ、何等準備ノ見ルベキモノナクシテ、徒ニ他ヲ責メルニ急ニシテ自ラ咎メルコトハ極メテ寛デアアル、諸君、次ニ此第三ノ點デアアル、第三ノ點ハ色々ナコトヲ混ゼラレテ、洵ニドウモ其細カキ事マデ仰シヤッテ、苟モ一黨ノ總裁ガ言ハレコトデナイヤウナコトヲ言ハレタ(拍手) 第一ニ何ト云ハレタカ、人事行政ハ昨年来失敗シテ居ル、人事行政ノ失敗ト云フコトヲ言ハレタ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ……

○泰豐助君(續) 諸君、民政黨ノ諸君ハ之ヲ口癖ニ言フコトデアアル、然ルニ此人事行政ノ失敗トシテ目指サレテ居ル所ノ人々、或ハ朝鮮總督デアルトカ、或ハ關東廳長官デアルトカ、其他ノ人々ガ、此任ニ就テ以來、國家ノ爲ニ盡シヨスレ、何等之ニ依テ弊害ヲ生ジタコトハ、諸君モ御聽キニナラナイデアアラウ(拍手) 即チ口ニハ唯非難セシガ爲ニ人事行政ノ失敗ヲ唱ヘテ居ルケレドモ、其實際ニ於テ、此長イ間勤メテ居ッテ、何等失敗ノナイ、成功シテ居ルコトヲ見レバ、人事行政モ失敗デハナイト云フコ

トヲ證明シテ居ル、又手形債證券タデ以テ、暗ニ通信大臣ヲ指シテ、國家ニ莫大ノ損害ヲ與ヘタト仰シヤッテ、濱口君モ財政家トシテ此震災手形ノ事ニ御關係ニナッテ居ルケレドモ、是ハ國家ニ直接ナ損害ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ貴方ハ斷言スル勇氣ガアリマスカ(拍手) 法律ガ——此手形ハ銀行ニ入ッテ、其銀行家ガ即チ之ヲ持ッテ行ッテ、日本銀行カラ割引ヲ受ケテ融通ヲシテ居ル、是ガ法律ノ精神デアアル、アナタ方ガ作ッテ所ノ法律デアアル(拍手) ソレ故ニ此債務者ガ、即チ直ニ國家ニ損害ヲ與ヘタト云フコトヲ斷定スルト云フコトハ、決シテ出來ナイコト、私ハ考ヘルノデアアル(拍手) 又昨年ノ議會ニ於テ既ニ濟シマシタ所ノ問題、或ハ總選舉ノ事柄デアルトカ、或ハ選舉ニ干渉ヲシタカ、地方官憲ガ云々トカ言ハレマシタガ、ソレ等ノ事ハ大正四年ノ大隈内閣ノ大干渉ヲ見タラ、マルデ話ニナラヌデアアル(拍手) 諸君ハ斯ウ云フヤウナコトヲ言フ程ノ殆ド權利モ無イト私ハ申シテ宜イ、又水野文部大臣ノコトニ付テ聖慮ヲ煩シ奉タ云々ト申サレマシタガ、此留任ニ付テ優待云々ト云フヤウナコトハナイト云フコトヲ内閣總理大臣ガ言明シテ居ル、何等之ニ付テハ輔弼ノ責任ニ付テノ問題ニハナラヌコトハ明瞭デアアルト私ハ思フデアアリマス、徒ニ斯ウ云フ風ナコトヲ言ウテ、官中ニ關スルコトヲ色々述ベテ、サウシテ政治上ノ問題、政爭ノ具ニ供スルコトハ慎シデ貴ヒタイノデアアル(拍手) 又國民ノ選舉ヲ致シタ其選舉ノ結果ヲ變造シ云々ト云フコトヲ言ッテ居ル、此言葉ハ私ハ苟モ大政黨ノ總裁ノ言フベキコトデハナイト私ハ考ヘルノデアアル、選舉ノ結果ヲ變造シ云々、ソレニ金權ノ魔力ヲ以テ政治家ノ節操ヲ買收シ云々ト云フコトヲ言ハレタ、是ハ其意味ヲ具體的ニハ申サレナカッタケレドモ

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜カニ

○泰豐助君(續) ソレハ民政黨ノ代議士ガ、先般來約五十名以上脱黨サレタコトニ付テ、憤慨サレタコトヲ申スノデアアラウ、

然ルニ此脱黨サレタ諸君ノ中デ政友會ニ來ラレタ人ハ數名デス、其他ノ人ハ新黨俱樂部ニ加入シテ居ル、然ルニ之ヲ濱口君ハ政治家ノ節操ヲ云々、買收シ云々ト言ハレテ居ル所ヲ見ルト、苟モ民政黨ヲ脱黨シタ代議士ハ、總テ其節操ヲ買收セラレタモノト認メラレルノデアアルカ、實ニ驚クベキ認定デアアル、諸君、此民政黨ノ總裁ガ斯ノ如キ政治家ニ對シテ試フベカラザル所ノ汚點ヲ印スルガ如キ言辭ヲ弄セラレタコトニ付キマシテハ、私ハ洵ニ慨歎ニ堪ヘナイ次第デアリマス、民政黨總裁其人ハ自ラ内ニ省ル必要ガアラウト思ヒマス(拍手) 何トナレバ多年同志會、憲政會カラ續イテ居ッタ森田小六郎君ハ何ト云ッテ居ルカ、噴火山ノ民政黨ト云フ「パンフレット」ヲ出シテ、永年交々所ノ同志ニ對シテ、斯ノ如キ噴火山ノ民政黨ト云フヤウナ「パンフレット」ヲ出シテ惡罵ヲ試ミテ、「兎ニ三好或ハ三好一兎ト云ッテ、兎デアアル好デアアルトカ言フ惡罵ヲ浴セルニ至ッテハ、私ハ驚入ッタノデアアル、政黨ノ離合集散ハ固ヨリ常ナキモノデアッテ、政黨ヲ脱黨スルコトモ其人ノ自由意思デアアル、然ルニ脱黨シタ者ヲ捉ヘテ、節操ヲ買收セラレタコト云フ所ノ、此惡イ毒瓦斯ヲ總裁カラ吹掛ケルト云フコトハ、實ニ此議會ヲ侮辱スルモノデアルト信ズル、又共產黨事件ニ付キマシテハ、唯彈壓スルダケデアイケナイ、或ハ社會政策其他ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト仰シヤッテ居ル、是ハ固ヨリ吾々モ考フ持ッテ居リ、政府モヤッテ居ルノデアアル、此問題ニ付キマシテハ、今日程暗黒ニシテ不愉快ナルモノハナイ、或ハ國民ノ無言ノ憤リハ恐シト、古ノ諺ヲ引カレマシテ、國民ノ無言ノ怒リハ洵ニ恐ルベキモノデアアル、一人ノ憤激スル者ハ無イカト云フヤウニ、暗ニ煽動スルガ如キ口調ヲ以テ言ハレルコトハ、最モ私ハ痛嘆ニ堪ヘナイ(拍手) 諸君、此諺ハ昔、昔ノ專制時代ノコトデアアル、專制政治時代ノ言葉デアアル、即チ不平ガアッテモ、反對意見ガアッテモ、申スベキ所ガナイ時ノ諺デアアル、今日ノヤ

ウニ言論ニハ議會ガアリ、又地方議會ガアリ、又演說ヲスルコトモ出來ル、又新聞ト云フ所ノ文章ニ依リテヤリ得ル機關モアル、苟モ其人ノ希望ナリ意見ハ、ドンナ意見デモ希望デモ漏スコトガ出來、合法的ニ何デモ出來ル時ニ、此專制時代ノ抑壓時代ノ昔ノ諺ヲ引イテ、暗ニ人ヲ煽動スルガ如キコトハ、一黨ノ總裁トシテハ慎マナケレバナラヌ(拍手)諸君、公平正大ナル政治ノ基調ノ下ニ、吾々ガ進ンデ行キタイト云フコトハ、濱口君ト御同感デアル、併ナガラ口ニ公明正大ナル政治ヲ基調トスル申サレテ居テ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ

○泰豐助君(續) 殆ド其言論其他行動ガ之ニ反比例スルコトデハ、到底吾々ハ之ニ贊成スルコトガ出來ナイノデアル、此内閣不信任案ト云フガ如キモノハ、極メテ重大ナル所ノ問題デアル、併ナガラ是ガ昨年ノ特別議會デモヤリ、今年モヤリ、年中行事ニナツテ、兎ガ念佛ヲ唱ヘルヤウニナツテハ、最早値打ガナイ、デアリマスカラシテ、私ハ本案ニ對シテハ絕對ニ反對ノ意志ヲ表明スル者デアル(拍手)

〔松田源治君登壇〕

○松田源治君 私人不信任案ニ贊成スル者デアリマス、贊成スル第一ノ理由ハ、現内閣ハ對支外交ヲ誤リ、國威ヲ失墜シタト云フコトガ第一ノ彈劾理由デアリマス、對支外交ノ失敗ニ付キマシテハ、我黨ノ提案者ヨリ詳細ニ述べタノデアリマス、私ガ之ニ補足スル必要ハアリマセウケレドモ、現内閣ガ對支外交ニ付テ一定ノ方針ガナク、無定見デアル、此點ヲ一言述べテ見タイノデアル(拍手)例へバ滿蒙ノ交渉ニ於テ、初メハ積極強硬ナル外交ヲ唱へ、後ニハ軟弱方針ニナリ、又南北非妥協ノ勸告ニ付テモ、何等成功シナカ、タ爲メ、是亦後ニハ軟弱ニナリ、又條約ノ破壞問題ニ付テモ、條約ノ破壞ヲ取消サケレバ交渉ニハ應ジナイト云フテ居、タガ、是モ何時ヤラカ軟弱ニナツテシマフ、又濟南事件ノ解決ノ如キモ、無

定見、無方針デアル、昨年ノ七月十九日ノ濟南事件ニ付テハ、強硬ナル意見ヲ發表シ、強硬ナル條件ヲ發表シテ居リナガラ、今ハ軟弱ニナツテ解決セントシ、此責任問題ニ付テ日支兩國ハ遺憾ノ意ヲ表スルト云フコトニナツタガ、輿論ノ攻撃ヲ受ケ、國家ノ名譽ヲ傷ケルト云フ狀態ニナツテ、又方針ヲ變更シテ、少シ強硬ニ行カウトシテ、今日ハ決裂ノ狀態ニナツテ居ルノデアル(拍手)濟南事件ノ解決ニ付テ、是ハ無能、無定見、無方針ナリト云ハナケレバナラヌ(拍手)又濟南出兵ガ失敗デアルト云フコトハ、海ニ明デアル、現地保護ヲスルコトガ出來ズシテ、我ガ居留民ノ十數名ハ虐殺サレ、居留民ノ三分ノ一ノ財貨ハ掠奪サレ、而シテ今ヤ大部分ハ濟南カラ引揚ゲルト云フ狀態ニ立至、タコトハ、是ハ濟南事件ノ失敗デアルト云ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)今泰君ハ何故ニ吾々ハ濟南出兵ノ費用ヲ協賛シタカト云フガ、其時分ハ既ニ兵ガ動イテ居ル、此費用ヲ協賛シナケレバ國家ノ面目ヲ如何トモスルコトノ出來ナイノハ自明ノ理デアアル、即チ吾々ハ今迄ノ對支外交ニ付テ現内閣ガ一定ノ方針ガナイ、初メハ強硬ト云フカト思フト軟弱、貴族院ニ於テ前外務大臣ノ幣原君ノ追撃ニ遭ツテ、對支強硬外交、積極政策ヲ取消サケレバナラヌト云フニ至ツテハ、其無能、無定見ニハ驚入タルコト、言ハナケレバナラヌ、即チ幣原君ノ追撃ニ依テ現内閣ノ積極外交、強硬外交ハ全ク看板ヲ卸サケレバナラヌト云フ狀態ニ至ルトハ、何等ノ醜態デアアル、斯ル内閣ハ對支外交ヲ擔任スルノ能力ガ無い、寧ろ國威ヲ失墜スルモノデアルト考ヘルノデアリマス(拍手)又私ハ所謂滿洲ノ某重大事件、即チ張作霖ノ爆死問題ニ付テ政府ノ責任ヲ問ハントスルノデアリマス、本問題ニ付テハ、隣國ノ大元帥ガ、我國ノ領土ニ等シキ、絕對的ニ排他的ノ行政權ヲ握テ居ル箇所ニ於テ、アノ事件ガ起、起、起、八箇月、其犯人ヲ逮捕スルコトガ出來ヌト云フコトハ何等ノ失態デアルカト云フコト

ヲ論ズルノデアル(拍手)諸君、此爲ニ世界各國カラ我國ハ疑惑ヲ受ケ、支那カラモ誤解ヲ受ケ、今ハ群衆ノ中心ニナツテ居ル、何故政府ハ此議論、中傷、疑惑ヲ雪ガントスル所ノ態度ヲ執ラヌノデアルカ、隣國ノ大元帥ガ爆死サレテカラ八箇月モ經、サウシテ世界列強ノ疑惑ノ中心ニナツテ居リナガラ、其疑惑ヲ解カントモセズ、今ハ調査中デアルト云フテ其責ヲ逃レントシテ居ル、斯ノ如キハ實ニ立憲政治ノ原則ニ反スルモノナリト斷言スルノデアリマス(拍手)先程モ申シタ如ク此ノ處ハ我國ガ絕對的、排他的ノ行政權、警備權ヲ握テ居ルノデアル、此絕對的排他的ノ行政權ヲ握テ居ル處ニ、斯ル問題ガ生ジタト云フコトニナレバ、現政府ノ責任ハ尙ホ以上重大ナリト云ハナケレバナラヌノデアル(拍手)而シテ私ハ此責任問題ニ付テ法制上ノ根據ヲ示サントスルノデアリマス、即チ此滿洲ノ鐵道線路ハ、誰ガ警備ノ事務ヲ取扱、テ居ルカト云フト、是ハ關東廳ノ官制ニ依レバ關東長官デアアル、關東長官ハ内閣總理大臣ガ監督シテ居ル、又警備上ノ責任ノアル所ノ關東州ノ司令官、是ハ關東州ノ軍司令官條例ニ依リマス、即チ鐵道ノ線路ノ警備ニ任ズル、之ニ付テハ陸軍大臣ガ副署シテ居ル、即チ監督シテ居ルノデアアル、關東州ノ軍司令官條例ニ依リマス、即チ行政人事ニ付テハ陸軍大臣ガ監督者デアアル、作戰及ビ動員計畫ニ付テハ參謀總長ガ監督者デアアル、而シテ絕對的、排他的ノ滿洲ニ於テ警備權ヲ行フト云フコトハ、是ハ作戰ニモアラズ、又ハ動員計畫ニモアラズ、軍ノ行政ナリト云ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)即チ作戰計畫、動員計畫ニアラザル軍ノ行政ニ付テハ、陸軍大臣ガ監督權ヲ有シテ居ル、故ニ張作霖ノ爆死問題ハ、法規上カラ申シマシテモ、總理大臣ノ責任デアアル、外務大臣ノ責任デアアル、陸軍大臣ノ責任デアアル、言ハナケレバナラヌノデアアル(拍手)又昨年五月ノ十八日滿洲ノ治安ヲ維持スルコト云フ所ノ聲明ヲ出シタ、此責任ハドウスル、滿洲ノ治安ヲ維持スルコトガ出來ヌデハアリマセウケ(拍

手)大元帥ガ爆死サレテ、我國ノ滿洲ニ於ケル權益ニ最も重要ナル滿鐵ノ橋梁ハ破壞サレテ居ル、是デドウシテ滿洲ノ治安維持ガ出來タト申スノデアルカ、即チ滿洲ノ治安維持ト云フ所ノ聲明ヲ發シテ、滿洲ノ治安維持ガ出來ナイト云フコトニナレバ、是ハ實ニ重大ナル責任ナリト云ハナケレバナラヌノデアアル、吾々ハ此滿洲ノ某重大事件ニ付テハ、法制上ノ上カラモ、政治ノ上カラモ、現内閣全體ニ責任アリト論ジテ少シモ差支ハナイト思フノデアリマス(拍手)是レ私ガ現内閣ヲ彈劾スル所以ノ第一デアリマス、第二ハ、現内閣ハ補弼ノ重責ヲ誤リ、累ヲ皇室ニ及ボスガ如キ行動ガアルノデアリマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ、優詔問題デアリマス、優詔問題ノ起リハ、世間ニ人格ニ付テ疑惑ノ中心人物、群衆ノ中心人物ノ久原君ヲ國務大臣ニ採用セントシテ、内閣ノ中ニ異論ガ起、先ツ三士忠造君ガ反對シ、文部大臣ノ水野鍊太郎君ガ反對シ、總理大臣ハ之ヲ統一スルコトガ出來ナイ、陛下ノ御威光ヲ藉リテ統一セントシテ、累ヲ皇室ニ及シタル所ノ重大ナル問題デア(拍手)而シテ此問題ニ付キマシテハ、五月ノ二十日ニ水野文部大臣ガ辭表ヲ出シテ、五月ノ二十二日ニ總理大臣ガ慰留シタケレドモ聞入レナイ、即チ辭意ヲ翻サヌ、之ニ付テハ政府ノ聲明書ト、水野君ノ聲明書ト違ヒマス、水野君ハ、陛下ニ捧呈シタル辭表デアルカラ、是非御執奏ヲ乞フト言ハレタ、御執奏ヲ乞フト言ハレタト云フコトハ、政府ノ聲明書ニモ書イテアル、辭表ヲ執奏スルト云フコトハ、是ハ辭表ノ性質ヲ失ツタル辭表ヲ執奏スル譯ハナイ、政府ノ聲明書ニ依テモ、水野君ガ五月ノ二十二日ニ辭意ヲ翻シテ居ラヌト云フコトハ明ナコトデアラウト私ハ考ヘル、若モ辭意ヲ翻シテ居、辭表ノ性質ヲ失ヒ、反古同様ノ辭表ヲ上奏シタト云フコトデアラナラバ、是レ至尊ニ對シ奉リテ恐懼ノ至リデハナイカト云フコトヲ斷言致シマス、諸君、水野君ノ聲明書ニ依リマス(此時發言スル者多シ)

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○松田源治君(續) 水野君ノ聲明書ニ依リマス(此時發言スル者多シ)——是ハ即チ國務デアリマス、皇至ノ事デアリマセヌ、國務デアリマス、諸君、水野君ノ聲明書ニ依リマス云フト、五月ノ二十二日ハ辭意ヲ辭シテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル、ハ辭表ハ貴方ニ出シタノデハナイ、天皇陛下ニ差出シタノデアルカラ是非御執奏ヲ願フトアル、即チ辭表ノ性質ハ失ハヌノデアアル、其辭表ヲ天聽ニ達シテ裁斷ヲ受ケルニ當テ、總理大臣ハ如何ナル上奏ヲシタカ、教育ハ目下重大ナル國務ナルニ依リ、文部大臣水野錬太郎ヲシテ留任スルコトニ致シマシタ、斯ウ云フ決定ノ言葉ヲ以テ言上シテ居ル、我國ニ於テ國務大臣ノ辭表ヲ裁可遊バス所ノ權力アル御方ハ、陛下御一人シカナイノデアアル、總理大臣ニハ其權限ハ無イノデアリマス、然ルニ總理大臣ハ、教育ハ目下重大ナル國務ナルニ依リ、文部大臣水野錬太郎ヲシテ留任セシムルコトニ致シマシタト、是ハ此問題ニ付テ、陛下下同一ノ地位ニ立テ、天皇ノ大權ヲ擅行スル所ノ、臣節ヲ誤タ行動ト斷ジナケレバナラヌノデアアル(拍手)

(此時發言スル者多シ)

○議長(元田肇君) 靜肅ニ……

○松田源治君(續) 斯ノ如クシテ皇室ノ尊嚴ガ維持サレマスカ、寔ニ此問題ニ付テハ、總理大臣ハ臣節ヲ誤リ、輔弼ノ重責ヲ空シクセルモノナリト斷言セザルヲ得ヌノデアリマス(拍手)又水野文部大臣ハ、皇室ニ累ヲ及スノ嫌アリトシテ、政治上ノ責任ヲ負ウテ辭表ヲ提出シタノデアアル、水野文部大臣ハ皇室ニ累ヲ及ス所ノ嫌アリト云フ物議ヲ或ハ招イタカモ知レヌガ、總理大臣ハ、ソレ以上ノ物議ヲ招イテ居ルノデハナイカ、水野文部大臣以上ニ皇室ニ累ヲ及ス嫌アリト云フ非難ヲ招イテ居ルデハナイカ、天下ノ輿論ハ器々トシテ起テ、總理大臣ノ閣臣ノ進退ニ關スル行動ハ累ヲ大權ニ

及スモノナリト斷定シテ居ルデハナイカ、又貴族院ハ各黨各派、閉會中ニモ拘ラズ會ヲ開イテ、全會一致ヲ以テ田中總理大臣ノ閣臣ノ進退ニ關スル行動ハ輕率不謹慎デアリテ、職務ニ缺クル所アリト認メテ居ルデハナイカ(拍手)又憲法學者ガ大勢集テ、即チ大權ヲ擅行シテ居ルモノデアルト論ジテ居ルデハナイカ、累ヲ皇室ニ及スノ嫌アリタルモノハ、水野文部大臣ニアラズシテ、田中總理大臣デアルト斷言シナケレバナラヌ(拍手)然ルニ累ヲ皇室ニ及ス嫌アリトシテ、水野君ハ辭表ヲ捧呈シタ、其辭表ガドウシテ、陛下ニ對シテ總理大臣ハ執奏ガ出來マスカ、總理大臣ハ水野文部大臣ノ辭表ヲ執奏スル前ニ、自ラ責任ヲ負ウテ、累ヲ皇室ニ及ボシタリトシテ辭職ヲスルコトガ、是ガ臣ノ本分デハナイカト云フコトヲ斷言スルノデアアル(拍手)即チ此點ニ於テモ、田中總理大臣ハ輔弼ノ重責ヲ誤シテ、累ヲ皇室ニ及シ、臣節ヲ誤タル所ノ言動ヲシテ居ルノデアリマス(拍手)又此問題ガ終了シマシテ、陛下ニ田中總理大臣ガ拜謁シテ、恐懼ノ至リニ堪ヘズト言テ、御託カ思ヘテ居ルコトハ、責任政治ノ原則ヲ無視スルモノト斷言セナケレバナラヌノデアアル(拍手) 天皇陛下ハ神聖ニシテ侵スベカラザルモノデアアル、國務大臣ハ國務ニ付テハ全責任ヲ負フノデアアル、我國ノ憲法ノ二大原則ハ何デアアルカ、天皇陛下ノ神聖ト、國務大臣輔弼ノ重責デアアル、即チ國務大臣ハ國務ニ付テハ全責任ヲ負ヒ、陛下ハ責任ヲ負フ御方デアリテ神聖デアアル、神聖デアアル責任ノナイ御方ニ累ヲ及シテ、自ラ責任ヲ逃レテ、責任ガ無イト云フコトハ、地位ノ顛倒モ亦甚シイモノト斷言セザルヲ得ナイ、是ハ實ニ私ハ田中總理大臣ガ臣節ヲ誤リ、輔弼ノ重責ヲ曠シウシテ居ル、其罪ハ斷ジテ許スベカラザルモノナリト考ヘルノデアリマス(拍手)又輔弼ノ重責ヲ誤タル點ト致シマシテ、久原逋信大臣ハ先程申シタヤウニ、震災手形ニ付テモ國家ニ損害ヲ及シテ居ル、阿片事件其他ニ付テモ疑惑ノ中心人物

デアアル、斯ル人物ヲ、陛下ニ國務大臣トシテ奏請シテ、輔弼ノ重責ガ貴方ハ勤マルト思フノデアリマスカ(拍手)又久原逋信大臣ハ斯ル疑惑ノ中心人物デアリナガラ、陛下ニ咫尺シテ國務大臣ノ職責ガ勤マルト思フノデアリマスカ、貴方ハ良心ニ恥ヅル所ハナイノデアリマスカ(拍手)私ハ現内閣ヲ彈劾セントスルコトハ、輔弼ノ重責ヲ誤リ、累ヲ皇室ニ及ボシテ、臣節ヲ誤タルコトヲ點デアル、現内閣ハ議會政治ヲ否認シ、憲法政治ヲ無視スルコトヲ點デアリマセヌ、憲法リマス(拍手)議會政治ヲ否認ノ聲明書ヲ發シタノハ前鈴木内相ノミデハアリマセヌ、現内閣全部ガ議會否認、憲法無視ノ思想ガ實ニ濃厚デアルト私ハ考ヘルノデアリマス

(拍手起リ發言スル者多シ)

○議長(元田肇君) 靜肅ニ

○松田源治君(續) 其第一ノ事例トシテハ、治安維持法ヲ緊急勅令ヲ以テ改正シタノデアリマス、治安維持法ハ五十五議會ニ提出サレテ、吾々ハ之ヲ審議セントシタケレドモ、停會ヲ除ケバ僅カ三日シカナイ、三日デ以テ、陛下ノ赤子ヲ死刑ニ處スルト云フヤウナ、重大ナル法案ガ貴衆兩院ヲ通ル譯ハナイノデアアル、即チ是ハ審議未了ニナツタ、審議未了ニナルコトハ當然デアアル、僅カ三日位デ此重大法案ガドウシテ通ルハ、政府ガ緊急ノ必要アリト云フナラバ、何故ニ憲法政治ヲ重ンジテ議會ノ延長ヲ奏請シナカツタノデアアル(拍手)議會延長ヲ奏請セズ、又緊急事件ナリトシテ吾々ノ協賛ヲ求メタガ、議會ニ於テ審議未了ニナツタ爲ニ、閉會後直ニ緊急ノ必要ガアル、何ノ緊急ノ必要ガ起タノデアアルカ、其緊急ノ必要ナルモノハ何デアアルカト申シマスレバ、十年ノ懲役デハ共產黨ガ勃興シテ、臨時議會ヲ開ク違ガナイノニ國體ノ變革ヲスル虞ガアル、死刑、無期刑デ威嚇スレバ、ソナナ事ハ起ラヌト云フ緊急事態デアアル、現内閣ハ議會閉會後直ニ緊急ノ必要アリト稱ヘ、三十日モ四十日モ緊急ト言テ居ル、三十日四十日モ違ノアル緊急ガ何處ノ國ニアルノデアアル、實ニ滑稽千萬デアリマス(拍手)又此問題ハ與黨ノ中ニモ政府部内ニモ反對ガアル、其意見ヲ總メル爲メ、又ハ東京府會議員選舉、神奈川県縣會議員ノ選舉ガアル、其選舉ガ終ルマデ、ドウカ樞密院ニ諮詢スルコトヲ待テ吳レナイカ、斯ル緊急狀態ガアツタ時分ニハ憲法ハ泣クデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)憲法ノ第八條ニハ緊急勅令ガ許シテアリマス、併シ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會開會ノ場合ニ於テ勅令ヲ發スルト、斯ウナリテ居ル、然ルニ先達ノ司法大臣ノ説明ハ、全ク緊急ノ必要ト云フコトヲ取テ居ル、公共ノ安全ヲ保持シ、其災厄ヲ避クル爲ニ帝國議會開會ノ場合ニ於テ勅令ヲ發スルト云フコトニナツテ居ル、緊急ノ必要ト云フコトガアレバ、臨時議會ヲ開ク違ガナイト云フコトハ、其精神ヨリ見ルモ當然ナリト論ゼザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)政府ハ憲法ノ七十條ト、憲法ノ八條ハ違フト云フケレドモ、精神ニ於テハ一向違ハヌノデアアル、緊急狀態ト云フモノハ、臨時議會ヲ開ク違ガナイノニ、共產黨ガ勃興シテ、日本ノ國體ヲ變革スルト云フ事態ガナケレバナラヌ、然ルニ其事態ガ、樞密院ニ諮詢スルマデニ三十日モ四十日掛テ居ルノヲ見レバ、緊急ノ事態ガナイト云フコトハ明デアリマセヌカ、斯ルコトデ樞密顧問官ガ二十四人、國務大臣ガ十二人寄テ、其多數デ以テ緊急ノ事態ナキニ拘ラズ陛下ノ赤子ヲ死刑ニ處スルト云フコトニナツタナラバ、舊幕時代ノ斬捨御免ヲ再現シタモノナリト私ハ斷言セザルヲ得ナイノデアリマス

(此時拍手起リ發言スル者多シ)

○議長(元田肇君) 靜肅ニ

○松田源治君(續) 此責任ハ現内閣ノ重大ナル責任デアルト言ハナケレバナラヌ、是ハ司法大臣ノミデハナイ、内閣全體ノ責任デアリマス、又政府ガ濟南ニ出兵ヲ爲スニ當テ、責任支出ヲ三千二百萬圓シテ居ル、吾々ハ責任支出ハ憲法ノ認メザル行爲デアルト信ズルケレドモ、又違反行爲トモ認メ

テ居ラナイ、然ルニ此濟南ニ出兵ヲ爲スニ當テ、五月六日ニ議會ガ開會シ、五月七日ハ開院式、動員令ガ發シタルハ五月九日デアル、五月九日ニ動員シテ居レバ、五月六日ノ開會ノ當時ハ政府ニハ分テ居ル、若モ動員ノ必要ガアレバ、斯ル重大問題ニ付テ動員ノ必要ヲ力説シテ、經費ノ協賛ヲ議會ニ求メルト云フコトハ、議會ヲ重シムル所以デハナイカト云フコトヲ私ハ思フ、然ルニ倉皇トシテ議會ヲ開會シテ、其後ニモ臨時議會ヲ開ク邊ガアリシニ拘ラズ、議會ヲ恐レ、議會ヲ回避シテ、三千二百萬圓ノ責任支出ヲ爲スト云フコトハ、議會ヲ無視シ憲法政治ヲ破壞スル行動ナリト唱ヘナケレバナラヌノデアリマス(拍手)又今期ノ議會ヲ見マス、總理大臣其他ノ國務大臣ハ、國務ニ付テ重要ナル質問ヲ爲シモ答ヘナイ、要所ニ行ケバ答ヘナイ、此議員ノ重大ナル質問ニ付テ答ヘナイト云フコトハ、是レ議會否認ノ思想ナリト申サナケレバナラヌノデアリ(拍手)又海軍大臣ノ如キハ、貴族院ニ於テ海軍ノ計畫ト兩院協議ニ付テ問ハレタ時分ニ、私ハ財政ニ付テハ素人デアアルカラ大藏大臣ヲ信ズルデアル、斯ルコトデハ海軍大臣ハ、海軍大將トシテハ勤マルガ、國務大臣トシテハ一日モ勤マラナイ、國務大臣ノ資格ナシト論ゼナケレバナラヌノデアリ(拍手)私ハ政府ガ議員ノ重要ナル質問ニ付テ、其答辯ヲ回避シ、答辯ヲシナイト云フコトハ、議會ヲ侮辱シ、憲法政治ヲ否認スル思想ナリト論ゼザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)即チ私ハ現内閣ガ議會政治ヲ否認シ、憲法政治ヲ無視シ、憲法破壞ノ行爲ガアルト云フコトガ、之ガ現内閣ヲ彈劾スル所ノ第三デアアルデアリマス(拍手)第四ハ何デアアルカト申シマス、現内閣程綱紀ノ官紀ノ紊亂、政治道德ノ破壞ヲ爲シタモノハアリマセヌ、現内閣ニ綱紀紊亂、官紀紊亂ガ起ル最大ノ原因ハ何デアアルカ、是ハ官吏ノ任免方法ガ惡イ、政務官ト事務官トノ區別ヲシテ居ル、此政務官ト事務官トノ區別ヲ蹂躪シテ、政友會ニ利益ナル官吏ハ無能ナ官吏

デモ之ヲ重用スル、又民間カラ採用スル、嚴正公平デ有能ナル者デモ、政友會ノ邪魔ニナル者ハ之ヲ免職スルデアアル、斯ルコトガ中央地方ニ行ハレルモノデアアルカラ、今ヤ 陛下ノ官吏、國家ノ官吏ハ、政友會ノ使用人ニ變ジツ、アルト云フコトハ、行政組織ノ破壞ナリト論ゼザルヲ得ナイノデアリマス、之ガ原因ニナリマシテ、日本全國各府縣ニ於テ綱紀紊亂ノ事實ガ起ルデハナイカ、先ヅ宮崎縣ニ於テ暴動事件ガ起タルハ何デアアルカ、是ハ知事ガ政黨ニ偏倚スル行動ヲシタカラ起タルデアリナイカ、又犀川事件ノ暴動モドウデアアルカ、是ハ地方官ガ政黨ニ偏倚スル行動ヲ執ツタカラ起タルデアリナイカ、其他全國ニ於ケル不祥事件、縣會ニ於テ騷動ヲ起スコトハ、皆官吏ノ任免方法ガ惡イ、即チ今ノ官吏ハ政黨ノ使用人ニ變ジテ居ルカラ、斯ル綱紀ノ官紀ノ紊亂ガ起ルデアルト論ゼナケレバナラヌノデアリマス(拍手)又帝都治安ノ維持ガ出來ナイノハ何デアアルカ、警察ノ首腦部、警視廳ノ官吏ハドウデアアルカ、是ハ政務官デハナイ、事務官デアアル、事務官ハ政黨ニ關係スルコトガ出來ナイ、政治運動ハスルコトハ出來ナイノデアアル、然ルニ警視廳ノ首腦部ガ、貴族院議員ノ諒解運動ヲ爲シ、政治運動ヲ爲シ、政治警察ニ没頭シテ、治安警察ヲ閑却スルカラ、帝都ノ治安ト云フモノハ維持サレヌデアアル(拍手)是ハ皆官吏ノ任免方法ガ惡イ、人事行政ガ惡イ、今ヤ二大政黨對抗シテ交、朝ニ在リ、野ニ在リ、政黨政治ノ信用ヲ發揮シヤタナラバ、政黨政治ノ威信ハ失墜スルモノナリト論ゼナケレバナラヌノデアリマス(拍手)吾々ハ政黨政治ヲ擁護スル爲ニモ、現内閣ヲ彈劾シナケレバナラヌノデアリマス(拍手)又現内閣ハ政治道德ノ破壞行爲ガアルデアアル、先程提案者ガ述べタルヤウニ、金力權力ヲ濫用シテ議員ヲ誘拐スルデアリナイカ、斯ルコトハ憲法政治ノ逆行行爲デハナイカ(拍手)憲法政治ノ破壞行爲デハナイカ、即チ權力、金力ヲ濫用シテ議員ヲ誘拐スルト云フコト

ハ、今ヤ證明ヲ要セザル顯著ナル事實デハナイカ(拍手)此責任ハ總理大臣始メ閣僚ハ如何ナル責任ヲ持ツデアリマス、スルコトヲシテ思想ノ善導ガ出來マス、思想ハ惡化スルノミデアアル、現内閣ハ口ヲ開ケバ精神作興、思想善導ト申シマス、レドモ思想ヲ善導シ、國民精神ノ作興ヲ圖ラント欲セバ、政府ハ正シキ政治ヲシナケレバナラヌ、國民思想ト云フモノハ善導サレヌデアリマセヌ(拍手)即チ選舉ニ干渉シテ憲政ノ逆行行爲ヲ爲シ、優待問題ヲ起シテ累ヲ皇室ニ及シ、憲政ノ破壞行爲ヲ爲シ、又綱紀ヲ紊シ、官紀ヲ亂シ、人事行政ニ於テ有ルダケノ亂暴ヲヤツテ、サウシテドウシテ國民精神ヲ作興シ、國民思想ガ善導サレヌデアリマス、(拍手)又議員政治ヲ破壞スルヤウニ議員誘拐ノ事實ヲヤツテ、ドウシテ國民精神及國民思想ガ善導サレヌデアリマス、(拍手)現内閣ガ國民精神作興、國民精神ノ善導ヲヤラントスルコトハ、木ニ縁テ魚ヲ求ムルノ類デアツテ、曲線ヲ立テ、直映ヲ求ムルト違ヒハナイト云フコトヲ斷言スルデアリマス(拍手)吾々ガ現内閣ヲ彈劾スル所アリマス、(拍手)我ガ國威ヲ内外ニ發揚センガ爲デアリマス、憲法政治ヲ擁護センガ爲デアリマス、國民道德ノ大本ヲ確保センガ爲デアリマス、國家憲政ノ前途ニ向テ深憂ヲ懷ケル諸君ハ、吾々ノ決議案ニ賛成シマシテ、國家ノ害デアアル現内閣ヲ直ニ倒壞シマシテ、引責處決セシメテ、國家ヲ泰山ノ安キニ置カレンコトヲ切望シテ此壇ヲ降ルデアリマス(拍手)

○議長(元田肇君) 中村巍君

(中村巍君登壇)

○中村巍君 諸君、私ハ今茲ニ議題トセラレテ居ル政府不信任ノ關スル決議案ニ對シテ徹頭徹尾反對スル者デアリマス、本案提出ノ理由トセラレテ居ルモノ、中デ、内政ニ關スル諸問題ニ付キマシテハ、我黨閣僚泰君ヨリ既ニ意見ヲ申述ベマシタシ、又追テ他ノ同僚ヨリモ意見ヲ述べルコト、ナシテ居リマス、私ハ茲ニ專ラ對支外交問題

題ノミニ付テ反對ノ所見ヲ申述ベルコト、致シマス(拍手)初メ一言附加ヘテ置キタイコトハ、先程濱口總裁ノ御演說ヲ拜聴致シマシタガ、併シ之ヲ拜聴致シマシタ爲ニ、私ガ茲ニ拵ヘテ來タ演說ト趣旨ヲ少シモ變更スル必要ノナイコトヲ甚ダ遺憾トスルモノデアリマス(拍手)此不信任案提出ノ理由書ニ依リマス「現内閣ノ對支外交ハ全ク失敗ニ歸シ彼我ノ關係者シク惡化シ帝國ノ威信ヲ失墜スルコト今日ヨリ甚シキハナシ」

○議長(元田肇君) 靜カニ

○中村巍君(續) スウアルノデアリマスガ、斯ウ云フ斷定ヲ下サレタ根據ハ、本日ノ濱口總裁ノ演說並ニ其他色々ノ場所デヤラレタ演說、並ニ昨年ノ六、七、八月頃ニ三回二分テ發表セラレマシタ對支問題ニ關スル聲明ナドニ求ムルヨリ外ナイト思フノデアリマス、而シテ是等ノ根據トスル所ノモノニ依テ政黨ノ所論ヲ調べ見マス、總テ皆政黨爭奪本位デ(拍手)一トシテ攻撃センガ爲ノ攻撃ナラザルハナク、現内閣ノ對支外交ヲ全ク失敗ニ歸シタルモノトシタ其斷定ハ、畢竟スルニ政黨爭奪ノ念ニ捉ハレタ妄斷デアリマシテ、之ニ依テ對支問題ヲ政黨ノ具ニ供シマシテ、アルト云フ、民政黨ノ正體ヲ暴露シタニ過ギナイノデアリマス(拍手)一體人ト云フモノハ、如何ニ立派ナ人デモ、私心私慾ニ捉ハレテ居ッテハ、事ニ當テ公正ノ判斷ハ出來ルモノデナイ(拍手)ソレト同ジコトデ、政黨ガ政權慾ニ捉ハレテ居ル以上ハ、國政ヲ論ズルニ當テ公正ナル判斷力ヲ失フデアリマス、(拍手)多士濟々タル民政黨モ、惜ムラクハ今日政權慾ナルモノニ捉ハレテ居ル爲メ、事毎ニ正鴻ナル判斷ヲ失シテ、對支外交問題ニ付キマシテモ、總テ大外レノ見當違ノ判斷ノミヲ敢テシテ、而シテ現ニ此議會ニ於テ、貴衆兩院ニ於テセラレタル質問演說ヲ見マシテモ、之ヲ國家的ノ見地ヨリ致シマス、唯、一ツノ除外サヘモナシニ、總テ皆有害無益ナル議論ヲ免レナイモノ、ミデ

アタノデアリマス(拍手)斯ウ云フ次第デアリマスカラ、民政黨ノ現内閣ノ對外交ニ對スル攻撃ノ論旨ナルモノハ、總テ皆薄弱ナルハ勿論、矛盾著ク極メ、殊ニ甚シキニ至リテハ、攻撃ニ執中スル爲ニ、遂ニ或ハ國民ヲ欺キ、或ハ國家ノ對外的信用ヲ損傷シ、帝國外交ノ「インテグリティ」ヲ破壞スルガ如キ言議ヲ弄シテ顧ミザルヤウナ始末デ、我國ニ於ケル二大政黨ノ一タル在野黨トシテノ面目、果シテ何レニアリヤト言ハザルヲ得ナイデアリマス(拍手)民政黨ニ於テ對支問題ヲ政爭ノ具ニ供シテ、政府攻撃ノ材料トシテ居ル問題ハ、山東出兵、日支交渉ノ停頓、此交渉停頓ノ中ニハ、先刻濱口總裁ノ御話ニナリマシタ満蒙諸問題ノ解決ノ遲延トカ、或ハ關稅問題ノ協定ト云フヤウナコトモ皆入レテ居ル積リデアリマス、ソレカラ濟南事件、張學良勸告、是位ノモノデアラウト思ヒマスガ、其中ノ攻撃ニ最モ力ヲ入レテ居ルノハ出兵問題デアルト思フデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(元田肇君) 靜ニ

○中村鐵君(續) 然ルニ此出兵問題ニ付キマシテハ、民政黨トシテハ攻撃スル資格ガナイト思フ、資格ガナイノミナラズ、此出兵ニ對シテハ一半ノ責任ヲ負ハナケレバナラナイ地位ニ陥ッテ居ルモノデアリマス(拍手)ソコデ民政黨ハ此出兵問題ニ付テ、今迄ドナ態度ヲ執ッテ來タコト云フコトヲ調ベテ見タイノデアリマス、第一次出兵ニ對シテハ斯ウ云フ態度ヲ執リマシタ、出兵ヲスル時ニハ全然之ヲ默過シ、袖手傍觀シテ居タノデアリマス、而シテ此出兵事件ガ完了致シマシテ、首尾能ク片付イタ後ニ於テ、猛然トシテ攻撃ヲ始メタノデアリマス、而モ其攻撃ヲスルニ當テハ、其攻撃ノ事由ナルモノハ、全然自己ノ想像ヲ根據トシテ、事實ニ非ザルコトヲ事實トシテ、少シ強イ言葉デアリマスガ、國民ヲ瞞著シタヤウナコトヲ敢テ言觸ラシタノデアリマス(拍手)ドウ云フコトヲ言タカト申シマス、此第一次出兵ヲシタ爲ニ外國ノ疑惑ヲ

招イテ、國家ノ將來ニ不利ヲ來スト斯ウ言フ、第一次出兵ノ場合ニ、何處ノ國ガ疑惑ヲ懷キマシタカ、民政黨ノ所謂疑惑ナルモノハ、外國ノ一二ノ新聞ニ、事ノ真相ヲモ解セザル無責任ナル論評ヲ加ヘタモノヲ見テ、之ヲ外國ノ疑惑ト取違ヘテ、此攻撃ノ材料トシタニ過ギナイデアリマス(拍手)殊ニ昨年ノ六月中ニ民政黨カラ發表致シマシタ第一次聲明ヲ見マスルト、日本ノ政府ノ出兵シタコトハ、何等公法又ハ條約ノ違反ヲ以テ目セラルベキ理由ナシトアル、ソコデ假ニ外國ニ於テ疑惑ガ存在シテ居ルトシテモ、若シ出兵ノ行動ガ條約上、公法上正當ナルモノデアル以上ハ、吾々日本國民タリ日本ノ政黨タルモノハ、此疑惑ヲ解決コトガ當然デアアル、然ルニ其行動ノ正當ナルヲ認メナガラ、何レニモ疑惑ナルモノガ存在セザルニ拘ラズ、外國ノ疑惑ヲ招キ國家ノ將來ニ不利ヲ來スヤウナ、荒唐無稽ノ口實ヲ設ケテ、出兵ニ對シテ攻撃ヲ加ヘタノデアリマス(ヒヤ)〔拍手〕第一次出兵ニ付テハ、餘リ多クノ議論モアリマセスカラ、第二次出兵ニ對シテ民政黨ハ如何ナル態度ヲ執ツタカ、第一次出兵ノ場合ニハ、民政黨ハ此出兵問題ニ付テ、何等ノ意見ヲ事前ニ於テ表明シテ居ナカッタ、故ニ事前ニ於テ反對シナカッタノハ國家ノ爲ダト説明シテ居ル、又事件ガ結了シテ、猛然ト立テ是ノ攻撃ヲ始メテ、サウシテ其攻撃ヲシタノモ國家ノ爲デアルト言ハウト、一應ソレデモ申譯ガ立ツカモ知レマセヌ、併ナガラ第二次出兵ノ場合ニハ、サウ簡單ニ片付ケルコトガ出來ナイノデアリマス、何トナレバ第二次出兵ノ場合ニハ、事前ニ於テ出兵ハ内外ノ疑惑ヲ招キ、國家ノ將來ニ不利ヲ來スト云フ意見ヲ既ニ表明シテ居ルノデアアル、而モ之ヲ事由トシテ内閣ヲ倒サンコトヲ圖タノデアアル、故ニ出兵ハ内閣ヲ倒サナケレバナラナイ程、國家ニ大害ヲ及スモノデアルト云フ意見ヲ、既ニ發表シテ居ルノデアリマス、出兵ガ斯ノ如ク國家ニ大害ヲ及スモノデアラナラバ、政府ガ第二次出兵ヲ爲ス時ニ、何故民政黨ハ之ニ反

對シナカッタノデアリマスカ、而シテ在野黨トシテスル場合ニ有效ニ出兵ナドノコトヲ阻止セント欲セバ、議會開會中ノ場合ヲ措イテ他ニナイノデアアル、所デアノ場合ニ帝國政府ガ出兵ノ決意ヲ發表シタノハ四月二十日デアアル、軍隊ガ青島邊リニ著シタノハ四月二十四日頃デアアル、總選舉ニ於ケル特別議會ハ四月二十四日ニ開會セラレテ居ル、即チ此出兵ガ民政黨自ラ稱スル程ニ國家ニ大害ヲ與ヘルモノナラバ、此在野黨ニ取ツテ唯一無ニナル特別議會ニ於テ、之ヲ阻止スルノ手段ヲ何故ニ執ラナカッタノデアリマスカ、往年英吉利デ勞働黨内閣ノ時代ニ、露西亞トノ間ニ經濟的協約ヲ結ンダコトガアル、其時ニ在野黨タル保守黨ハ、ソレガ國家ノ爲デナイトシテ、敢然トシテ立ッテ之ニ反對シ、議會ノ解散ヲ餘儀ナクシ、總選舉ノ結果保守黨ノ勝利トナリ、保守黨内閣ノ成立スルヤ、間モナク此英露協約ヲ廢棄シテシマッタノデアリマス、流石立憲政治ノ本家本元デケアッテ、吾々トシテハ、特ニ今日ノ民政黨ニ對シテハ模範トスベキ立憲的行動デアルト思フノデアリマス、即チ民政黨ハ丁度特別議會開會ノ際ニ於テ、現政府ガ國家ニ大害アリト民政黨自ラ稱スル出兵ヲ再ビシタノデアアルカラ、當テモ、此出兵ノ中止又ハ引揚ニ關スル費用ハ是ノ支出ヲ承認スベキモ、其他ノ費用ハ一錢一厘タリトモ支出シナイト云フ態度ヲ執ルベキデアッタノデアリマス(拍手)而シテ若シ民政黨ニ於テ此態度ヲ執ラレルナラバ、縱令議會ニ於テ敗北ヲ致シマシテモ、在野黨トシテノ國民ニ對スル責任ヲ盡スト云フ上カラ云フト、民政黨ノ潑潑タル責任觀念ヲ國民ニ表示スルコトニナルノデアリマシテ、表決ノ上デハ負ケテモ、ソレガ我が國民精神ノ作興ニ資スル所ガ、決シテ少ナカッタデアラウト思フノデアリマス、此時民政黨ハ何ヲシテ居リマシタカ、無產政黨所屬議員諸君ト聯盟ヲシテ、出兵問題等ハソツチ除ケデ、唯政權爭奪ノ事ノミニ没頭シテ居ッタノデアリマス、單リ是ノ

ミナラズ、此出兵ニ反對セザルノミカ、其豫算ニ對シテ協賛ヲ與ヘタノデアアル、而シテ此協賛ニ對スル申譯トシテ濱口民政黨總裁ハ、ソレガ國家ノ爲デアアルカラ協賛シタノデアルト、斯ウ説明サレテ居ル、所ガ濱口總裁ハ第一次出兵ノ場合ニ默シテ居タノデアアルガ、之ニ對スル説明トシテ、事件進行中デアアルカラ國家ノ爲メ默シテ居タノデアルト斯ウ言フ、ソレカラ一次出兵ガ完了シテ攻撃ヲ始メマス、攻撃スルノガ國家ノ爲ダト言フ、今度第二次出兵ノ場合ニ攻撃シタモノニ贊成ヲシテ、豫算ヲ承認シテ、ソレガ國家ノ爲ダト言フ(拍手)國家ノ爲ノ標準ガ何處ニアルカ分ラナイ(拍手)但シ國家ノ爲ナル美名ノ下ニ隠レテ、自己ノ言行ノ不一致ヤ、自己ノ所言ノ矛盾著ク蔽ハントシテモ、ソレハ到底出來ナイコトデアリマス(拍手)即チ民政黨ニ於テ第二次出兵費ニ對シテ協賛ヲ與ヘタルコトニ依テ、重大ナル責任ガ民政黨ノ雙肩ニ落シテ來テ居ルノデアリマス、ソレハ此協賛ニ依テ出兵ニ對シ、功罪共ニ一半ノ責任ヲ民政黨ニ於テ負ハナケレバナラスト云フコトデアリマス(拍手)ソコデ民政黨ノ諸君ガ出兵問題ヲ攻撃スルナラバ、半分自分ヲ攻撃スルコトト同ジ事ニナルノデアアル(拍手)ソコデ濟南事件ニ付テ一言致シテ見タイト思ヒマスガ、一體此濟南事件ノ責任、私ノ濟南事件ト云フノハ、虐殺問題デアリマスカ、此虐殺問題ニ付テ、民政黨ハ昨年ノ六月ノ聲明ニ於テ、政府ノ對内的——國內の責任ヲ論ゼラレテ居ルノデアアル、即チ政府ハ軍隊ヲ派遣シテ置キナガラ斯ル事件ヲ起シタノハ、居留民保護ノ目的ニ適ハナイノデアアル、故ニ此虐殺事件ニ對シ國內のニ其責ヲ負ハナケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、私ハ議論トシテハ之ニ贊成出來ナイ、贊成出來マセヌガ、今一步ヲ譲テ、對内的——國內のノ責任論ハ爲スダケノ餘地ガアッタシテモ、時モアラウニ、帝國政府ガ此事件ヲ南京政府ト解決セント焦慮シツ、アル場合ニ、斯ル國內の責任論ヲ、聲

明書ヲ以テ發表スルトハ何事デアリマスカ
(拍手)ソレナクモ支那政府ハ色モノ口
實ノ下ニ責任ヲ回避シヤウトシテヤッテ居
ル場合ニ、日本ニ於ケル二大政黨ノ一タル
民政黨ガ、此處殺事件ニ付テ、國內の二帝
國政府ガ其責任ニ任ゼラレナクテナラヌト
云フヤウナ議論ヲ、聲明書ヲ以テ發表スル
ニ至、テハ、其結果ハ帝國政府ヲシテ南京
政府トノ交渉上、立場ヲ困難ナラシムルニ
過ギナイノデアアル(拍手)殊ニアノ當時新聞
紙ノ報道スル所ニ依リマス、南京政府ニ
於テハ、アノ虐殺事件ハ日本政府ガ出兵ヲ
シタカラ起リタモノデアルト云フ態度ヲ執
テ、虐殺事件ノ責任ヲ日本政府ニ嫁セント
シシ、アルト云フコトヲ報道セラレテ居
タノデアリマス、是ニ由テ之ヲ觀レバ實
際ハ兎ニ角、外觀上民政黨ト支那政府ガ互
ニ相通謀シテ、(此時發言スル者多シ)而
シテ此處殺事件ノ責任ヲ日本政府ニ轉嫁セ
ンガ爲ニ、内外相應ジテ協力シテ居ルト云
フヤウナ狀態ヲ呈シテ居、タノデアリマス
(拍手)是ガ果シテ日本人タリ、日本ノ政黨ナ
ルモノ、爲スベキコトデアリマスカ(拍手)
私ハ政黨政治ノ健全ナル發達ノ上カウ言
テモ、在野黨ガ斯ル無責任ナル言行ヲ敢テ
スルコトハ、國家ノ爲メ甚ダ遺憾トスル所
デアリマス(拍手)ソレカラ濟南事件ノ解決
ニ付テ、議會ニ於ケル質問ノ狀態等ヲ見マ
スルト、始メニハエライ勢デ色々ナ條件ヲ
出シタガ、其發表シタル條件ガ充當セラレ
テ居ナイデヤナイカト云フヤウナコトヲ言
テ、又此問題ヲ政爭ノ具ニ供シテ、政府ヲ攻撃
スルノ材料トセントシツ、アルヤウニ見エ
テ居ルノデアリマスガ、濟南事件ノ解決ヲ
困難ナラシメタニ付テハ、民政黨モ確ニ一
半ノ責任ヲ負ハナケレバナラナイと思フノ
デアリマス(拍手)何トナレバ政府ハ此問題
ノ解決ニ焦慮シツ、アル最中ニ、張學良ノ
問題ヲ捉ヘテハ、外務大臣ハ此勸告問題ヲ
一時ノ措置デアルト言明シテ居ルニ拘ラ
ズ、恰モ南北統一ニ反對スルガ如キ解釋ヲ
シテ、サウシテ支那政府及國民ノ反感ヲ増
發スルヤウナ言議ヲ弄シタリ(拍手)又責任

問題ニ付テモ、斯ル場合ニ國內の責任論
ヲ持出シタリシテ、而シテ南京政府ノ態度
ヲ徒ニ硬化セシメ、我が政府ノ立場ヲ困難
ナラシメルヤウナ事ヲ敢テシタノデアリマ
スカラ(拍手)若シ此問題解決ノ結果ヲ見
テ、國民ニ於テ期待ニ副ハナイヤウナ事ガ
アツタシテモ、斯ル事由ニ依リテ民政黨ニ
於テ、當然其一半ノ責任ヲ負ハナケレバ
ラヌト考ヘルノデアリマス(拍手)ソコデ交
渉停頓ノ問題ニ付テ一言致シタイノデアリ
マス、日支交渉ノ停頓ヲ以テ、現内閣ノ對
支外交ノ大失敗デアルトシテ、民政黨ガ攻
撃ヲ始メマシタノハ一昨年ノ十一月、即チ
現内閣成立後僅ニ六箇月經テ後デアアル、先
刻濱口君ノ御演說中ニ、政府ハ成立シテ既
ニ二年ニモナルト云フコトヲ言フテ居ラレ
マシタガ、二年ニナルコトハナリマスガ、
其間ニ支那ニ於テハ政變ガアツテ、北京政府
ガ倒レテ南京政府ノ實現トナリ、南京政府
ガ成立シテ僅ニ半年デアアル、僅ニ半年位デ
アルニ拘ラズ、又問題ノ解決ガ何モシナイ
トシテ攻撃ヲ始メテ居ルノデアアル(拍手)是
ハ大冒瀆デアリマス、一體支那ヲ相手トシ
テ交渉スル場合ニハ、誰ガ政府ノ局ニ當
テモ交渉ガ長引イタリ、ソレガ一時の
停頓ヲ來スノハ有り勝テノ事デアアル、現
ニ、(此時發言スル者アリ)

○議長(元田肇君) 靜カニ
○中村龍君(續) 民政黨ノ前身タル憲政
會内閣ノ當時ニ、三年間政府ノ衝ニ當リナ
ガラ、何モ問題ノ解決ヲ示スコトガ出來ナ
カッタノデアアル(拍手)支那トノ交渉ハ急イ
デハ駄目デアリマス、殊ニ在野黨ニ於テ之
ヲ政爭ノ題目トシテ無用ノ攻撃ヲ加ヘルコ
トハ、問題ノ解決ヲ促進スルヨリモ、寧ロ
其促進ヲ妨礙スルノ結果ヲ招來スルノデア
リマス、ソレカラ先刻ノ御演說中ニモアリ
マシタガ、交渉ノ停頓ヲ來シタノハ、初メ
東邦會議ヲ開クトカ、誇張的ノ宣傳ヲシタ
爲ニ、排日運動ヲ起シ、ソレガ爲ニ交渉ガ
停頓スルニ至リ、ソレガ對支外交ノ大失
敗デアルト斯ウ言フテ居ル、一體東邦會議ヲ

開クトカ、或ハ誇張的ノ宣傳ヲヤツタ爲ニ、
ソレガ對支外交ノ大失敗デアルト云フ理窟
ガドウシテ出テ來ルカ私ニ分ラナイ、全體
排日問題ガ起リタリ、北京交渉ノ停頓ヲシ
タリスルコトハ、何人ガ政府ノ局ニ當テモ
ヤラナケレバナラナイ滿蒙問題ノ解決促進
ヲ圖ルコトニ依リテ生ズルノデアリマス、此
問題ノ解決ニ若手シテ而シテ其促進ヲ圖レ
バ、必ズ排日運動モ交渉停頓モ起ルニ決
テ居リマス、之ヲ防グニハ我が日本ニ於テ
舉國一致ノ態度ヲ以テ當ルヨリ外ニナイ、
サウ云フ次第デアリマスカラ、若シ排日運
動ガ起リテ交渉ガ停頓シタノ云フコトヲ以
テ、對支外交ノ大失敗トシテ、之ヲ政府政
撃ノ事由トスルナラバ、我が日本ニ於テハ
半年カ一年毎ニ、ソレガ爲ニ内閣ノ更迭ヲ
行ハナケレバナラナイコトニナルノデアリ
マス、ソコデ私が思フニ民政黨ノ諸君ハ餘
リニ自ラヲ輕シ過ギルト思フ、今日ハ政
黨政治ノ基礎モ定マリ、政友會内閣退ケバ
民政黨内閣ガ其後ヲ取ルノデアアル、故ニ今
斯ル無責任ナルコトヲ言フテ居ルト云フコ
トハ、自分ノ首ヲ縊ルベキ繩ヲ縋ヒツ、ア
ルト云フコトニナルノデアリマス(拍手)ソ
レカラ先刻關稅問題ニ付テ、濱口總裁ノ御
演說中ニ少シ間違ヘラレタコトヲ言フテ居
ルノデアリマス、通商條約ノ廢棄ト今度ノ
關稅新協定、ソレト何カ關係ノアルヤウナ
コトヲ申述ベラレテ居リマシタガ、全ク何
等ノ關係ハ無イノデアリマス、故ニ通商條
約ノ廢棄ニ付テ、支那政府ニ於テアノ取消
ノ宣言ヲ撤回シナイカラト云フテ、此問題
ニ著手出來ナイト云フヤウナ事由ガ少シモ
無イノデアリマス、即チ現在ノ日支通商條約
ニ依テモ、華府關稅條約ニ依テモ、支那ニ
對シテ附加稅ヲ増徴シテ居ルコトヲ許シテ
居ルノデアリマス、序ナガラ濱口君ノ御說
ノ御訂正ヲ致シテ置キマス、ソレカラ今度
ノ關稅新協定ハ、憲政會内閣當時ニ北京關
稅會議ノ際ニ拵ヘタ其協約ト比較スルト、
大分讓歩シテ居ルト云フコトヲ言ハレテ居
ル、是ハ攻撃ノ積リデ言ハレテ居ラル、カ
モ知レマセヌガ、若シ其積リデアアルナラバ

私ハ當ラナイト思ヒマス、一體北京關稅會
議ノ時ニ、アノ協定ハ何故ニ成立セシムル
コトガ出來ナカッタノデアリマスカ、政府ノ
相手ガ今日變テ居ルノデアリマス、時代
ガ變テ居ルノデアリマス、比較ノ問題ニ
ハナラナイノデアリマス、若シ之ヲ比較論
ヲ以テスルナラバ、アノ場合ニアノ協定ヲ
成立セシメ、之ヲ有效ナラシムルコトガ出
來ナカッタノハ、失敗デアッタカラデアルト
言ハザルヲ得ナイノデアリマス、ソレカラ
張學良問題ノコトデアリマスガ、私ハ此問
題ト、第一次出兵ノ場合ニ、民政黨ガアノ
當時帝國政府ノ發表シタル聲明ニ對シ疑感
ノ念ヲ強イテ挾シタゴト、共ニ許スベカラ
ザル罪過ヲ犯シタモノデアルト思フテ居ル
モノデアリマス、何トナレバ第一次出兵ノ
場合ニ、此出兵ハ居留民保護ノ目的デア
レ、何等他意アルモノデハナイ、動亂ガ平
定スレバ直ニ撤兵スルモノデアルト云フコ
トヲ、帝國政府ノ名ニ於テ聲明ヲ致シテ居
ルノデアアル、此聲明ハ政友會内閣ノ下ニ發
セラレタモノデアリマスガ、世界ニ對シ
テ帝國政府ノ名ヲ以テ發表セラレタル以上
ハ、民政黨ノ諸君ヲモ包含シタル我が七
千萬國民ノ帝國政府デアリマス、而モ第一
次出兵ニ付キマシテハ、政府ハ其精神ニ於
テモ、其行動ニ於テモ、聲明ノ文字通
リニ之ヲ實行シタノデアアル、然ルニ拘
ラズ之ニ對シ外國ノ疑感ヲ招クトカ、或ハ
駐兵三箇月ノ久シキニ互ニ出兵ノ事由ヲ
明ニスルコトモ能ハズ、輿論ノ攻撃ニ堪ヘ
ズシテ空シク撤兵ヲシタ濱口君ガ言ハレ
テ居ル、斯ノ如キコトハ帝國政府ノ對外的
聲明ヲ強イテ疑フコトデアッテ、日本人タル
日本ノ政黨タルモノハ斷ジテ爲スベキ事デ
ナイノデアリマス(拍手)張學良問題ニシテ
モ同ジデアアル、張學良ニ對スル林總領事ノ
勸告ハ、一時の臨機應變ノ措置デアッテ、政
府ガ南北統一ニ反對スルモノデナイト云フ
コトハ、外務大臣ニ於テ言明シテ居ルノデ
アル、然ルニ此言明ヲ信用セザルノミカ、
其精神ヲ曲解シテ、恰モ南北統一ニ反對シ
テ居ルカノ如キ言辭ヲ弄シテ、徒ニ支那政

府ヤ國民ノ反感ヲ挑發スルヤウナ事ヲ爲スニ至テハ何トシタルコトデアリマス、若シ今日ノ民政黨ノ如ク、帝國政府ノ名ヲ以テ發表シタル聲明ニ疑ヲ挾ンダリ、帝國ノ外務大臣トシテ言明シタルコトヲ信用セザルノミカ、之ヲ曲解スルヤウナ事ガアツテハ、遂ニ外國ヲシテ日本ノ政府ヤ、日本ノ外務大臣ノ言フ事ガ當テニナラナイヤウナ感ヲ起サセタルコトニアリマス、(拍手)私ハ在野黨ナルモノガ斯ル事ヲ繰返スニ於テハ、世界ニ於ケル我ガ國際的地位ヲ全然失墜スルヤウナコトニアリマス、破壤スルコトニナルノデアリマス(拍手)如何ニ政權ヲ驅ラレタカト申シナガラ、斯ル破壤の言行ヲ敢テスルニ至テハ、其結果國民思想ノ上ニ及ボス惡影響ガ頗ル甚大ナルベキコトヲ懸念スルノデアリマス(拍手)大體只今申上ダマシタル所ノモノニ依テ、今日マデニ至ル民政黨ノ所論ハ、總テ政權ヲ奪本位デアリマシテ、何等ノ根據ヲ有セザルモノデアリコトガ明ニナッタと思フデアリマス(拍手)隨テ斯ル何等正當ノ根據ナクシテ、現内閣ノ對支外交ヲ失敗デアルト妄斷シテ、之ヲ前提トシテ提出シタル此不信任案ノ如キモノハ、此際民政黨ニ於テ潔ク撤回スルコトガ、民政黨ノ面目ヲ維持スル所以デアルト思フデアリマス(拍手)

○議長(元田肇君) 野田文一郎君ヨリ議事進行ニ關スル件ニ付テ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス

〔野田文一郎君登壇〕

○野田文一郎君 此場合、議事進行ニ付テ發言ヲ求メタルデアリマス、只今議論セラレテ居リマス問題ハ、所謂對支外交デアリマス、外交ニ關スル問題ノ取扱方ニ付テハ、政黨ノ所屬如何ニ拘ラズ、最も慎重ニ致サナケレバナラヌト云フコトハ、何人モ承知致シ居リマス(拍手)然ルニ近頃動モスレバ對支外交ヲ政爭ノ具ニ供スルト云フコトヲ宣傳フシテ、徒ニ理解ナキ人ヲ惑ハサントスル傾向ガアルノデアリマス

ガ、去リナガラ殊更ニ政爭ノ具ニ供スベカラザルモノハ單リ外交問題バカリデハナイ、如何ナル問題ト雖モ政爭ノ具ニ殊更ニ供スルト云フコトノ宜シクナイト云フコトハ申スマデモナイ(拍手)故ニ吾々ハ常ニ對支外交ノ問題ニ付テモ深甚ナル態度ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、只今中村君ノ此演壇ニ於ケル演説ノ中ニ於テ、濟南事件ヲ論ズルニ方ツテ、民政黨ハ南京政府ト通謀ヲシテ居ルモノデアルト云フコトヲ斷言ヲセラレ、或ハ中村君ノ原稿ニ書イテアルデアラウト思ヒマスカラ、恐ラク中村君ノ記憶ニモ、ハッキリ致シテ居ルニ相違ナイ、且ツ議長ト雖モ此發言ハ確ニ記憶ニ存シテ居ルコトデアラウト思フ、斯ノ如キ問題ハ吾々ハ之ヲ聽捨ニスルコトハ出来マセヌカラ、議長ハ宜シク此發言ヲ取消サレタルコトヲ私ハ要求ヲ致スノデアル、又先程我黨ノ松田源治君ノ演説ノ中ニ、優待問題ニ付テ議論セラレテ居タルデアリマス、事優待問題デアリマスナルカラ荷モ國務大臣タル者ハ、最も慎重ナル態度ヲ以テ、謹嚴ナル態度ヲ以テ、臨マナケレバナラヌト云フコトハ當然デアル(拍手)然ルニ田中總理大臣ハ此問題ヲ聽クニ方ツテ、上ヲ向イテ笑テ居タルデアル、海ニ其不謹慎ナル態度ハ、荷モ優待問題ヲ論ズルニ方ツテ斯ノ如キ態度ヲ執ル人デアルカラ、優待問題ノ如キコトヲ起スノデアル(拍手)若シ田中首相ニシテ皇室ニ對シテ、今少シ敬虔ノ思想ガアツタナラバ、斯様ナル態度ハ出来ナイノデアル、吾々議長ニ對シテ議場ヲ侮辱スルノミナラズ、皇室ニ對シテモ恐ラク相濟マヌト云フ觀念ガナケレバナラヌ、私ハ此場合田中首相ハ議場ニ向テ其態度ヲ陳謝スルト云フコトヲ要求スル者デアル、此二ツノ要求ヲ容レズンバ、吾々ハ圓滿ニ議事ヲ進行ヲスルコトハ出来マセヌカラ、此機會ニ於テ此事ヲ警告ヲシ、注意ヲ致シ要求ヲ致スノデアリマス

○議長(元田肇君) 中村君ニ御尋致シマスガ、只今ノ事ニ付テ何カ御述ベニナルコトガアルノデスカ、ナイノデスカ、中村

君ガ何等ノ意見モナイト云フコトデアリマスレバ、議長ハ速記録ヲ取調ベタ上デ、適當ノ處置ヲ執ルコトニ致シマス、次ハ山崎傳之助君——總理大臣ガ演説中ニ笑ハレタコト云フコトデアリマスガ、私ハ總理大臣ノ方ヲ向イテ居リマセヌカラ、ドウ云フ有様デ笑ツタノカ、是ハ私ニハ分リマセヌ、是ハ速記録ヲ調ベタ所ガ書イテアリマセヌ、ソレ故ニ果シテ不都合ナコトヲ……

〔議場騷然聽取シ難シ〕議長ニ於テ何等ノ……

〔總理大臣ヲ呼ベト呼ビ、其他發言スル者多ク議場騷然〕

○議長(元田肇君) 總理大臣ノ出席ハ請求中デス——山崎傳之助君ヨリ議事ヲ進行ニ關スル件ニ付發言ヲ求メラレテ居リマス、ソレ故ニ、山崎傳之助君ニ發言ヲ許シマス

〔議場騷然〕——山崎君ハ御見エニナリマセヌカラ後廻シニ致シマス

〔總理大臣ヲ呼ベト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 總理大臣ハ請求中デス

〔議場騷然〕靜肅ニ願ヒマス

〔總理大臣ガ出ナケレバ議事ヲ進行ハ出来ナイト呼ビ議場騷然〕

○議長(元田肇君) 總理大臣ハ出ラレマシタ

○野田文一郎君 議事ヲ進行ニ付テ發言ヲ求メマス

○議長(元田肇君) 野田君御登壇ナサイ

〔野田文一郎君登壇〕

○野田文一郎君 先刻議事ヲ進行ニ付テ私ノ申シマシタルハ、田中總理ガ優待問題ノ議論ニ當テテ向イテ笑テ態度、如何ニモ冷笑的態度ヲセラレタコトハ、問題ノ性質ガ事、皇室ニ關スル問題デアツテ、優待問題ノ如キコトヲ惹起シテ、補弼ノ責任ヲ誤ラテ居ルト云フコトノ問題デアリマスカラ、田中總理タルモノハ議場ニ對シテモ、皇室ニ對シテモ、最も謹慎ナル所ノ態度ヲ以テ居ラナケレバナラヌ、左様ナ不都合ナ態度ヲスルコトハイカナイデハナイカ、故ニ此點ニ付テ、宜シク此議場ニ陳謝ヲナサ

イ、然ラズンバ吾々ハ議事ヲ圓滿ニ進行スルコトハ出来ナイト云フコトヲ申上ダタ、勿論斯様ナルコトハ速記録ニアル筈ハナイカラ、議長ガ見タカ見ナイカ知リマセヌガ、滿場悉ク見テ居ルノデアツテ明デアリマスカラ、此事ヲ要求致シマス

○議長(元田肇君) 首相ハ答辯ガアリマセヌ——西尾末廣君ノ發言ヲ許シマス

〔西尾末廣君登壇〕

〔議場騷然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス、西尾末廣君ノ演説中デアリマス

○西尾末廣君 吾々無產黨議員ハ民政黨總裁濱口雄幸氏ノ御提案ニナリマシタ不信任案ニ對シテ、贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ此不信任案ヲ提出致シマシタル所ノ濱口雄幸氏ノ其提案理由ニ於キマシテハ、吾々多クノ一致點及類似點ガアリマスケレドモ、又一面ニハ根本的差異アル點モアルノデアリマス、故ニ吾々ハ吾々無產黨獨自ノ立場カラ何ガ故ニ此提案ニ贊成スルカト云フ理由ヲ述ベテ、此案ニ贊成投票ヲ致シタイト思フノデアリマス、濱口氏及松田氏ニ依テ述べラレマシタル所ノ現内閣ノ批政ノ糾弾ハ、吾々多ク同感スル所デアリマスケレドモ、ソレハ多ク表面的ナ皮相ナ見解デアリマシテ、此田中内閣ガ今日ニ於テ諸政ニ於テ失敗致シマシタル其根本的原因ガ、奈邊ニ在ルカト云フ點ニ付キマシテ、一言モ言及シ得ナカッタコトハ、民政黨自身ノ政治的立場ガ然ラシメルモノカ、或ハ社會的認識ノ不足カラ來ルノカ、ソレハ今此處デ問フ必要ハナイノデアリマスガ、吾々ハ此根本的立場カラ現内閣ノ施政ヲ批判シテ見タイト思フノデアリマス、今日ノ世界ハ其國際關係ガ極メテ複雑ニナツテ居リマシテ、或ル一國ニ起リマシタ出來事ハ、大ナリ小ナリ其他ノ國々ニ影響ヲ與ヘルモノデアリマス、ソレ故ニ日本ノ國ノ政治ヲ論ズルニ於キマシテモ、此日本ノ政治形態ハ世界資本主義形態ノ中ノ一部分デアルト云フ觀點カラ見ナケレバ、其真相ヲ理解スルコトガ出来ナイト吾々ハ信ズル者

デアリマス、抑、今日ノ世界ノ大勢ヲ見マ
スルト、ソレハ何レノ進歩の國ニ於キマシ
テモ資本主義が發達スル、資本主義ノ發達
スル所デハ、其當然ノ結果トシテ資本主義
ノ害毒ニ悩マサレル所ノ無産階級ノ發達ガ
アル、其處ニ無産階級ノ反抗運動ト資本主
義ノ彈壓ノ行爲トガ、常ニ其處ニ對立闘争
ノ形ヲ現ハシテ居ル、即チ斯様ニ致シマシ
テ、今日ノ資本主義國ノ何レノ國ニ於キマ
シテモ、其處ノ民衆ハ支配階級カ被支配階
級カ、有産階級カ無産階級カノ二ツニ分レ
テ居ルデアリマス

〔元田議長議長席ヲ退キ清瀬副議長代
リ著席〕

更ニ之ヲ國際の二見マスルナラバ、先進資
本主義ノ國ニ於キマシテハ、隣國ノ弱小民
族ニ對シマシテ搾取ヲスルニアラザレバ、
自己ノ優越の地位ガ保タレナイト云フ結果
カラ致シマシテ、弱小民族ニ對シマシテ搾
取關係ガ生ジテ來ル、又ソレニ對シテ弱小
民族ハ漸次世界ノ大勢ニ影響サレマシテ自
覺ガ起テ來ル、其處ニ資本主義、帝國主義
の國家ト弱小民族トノ間ノ對立闘争ガ起
テ來ル、斯ウ云フヤウナ、内ニハ有産階級
ト無産階級ノ對立、外ニハ帝國主義ト弱小
民族トノ對立、此二ツノ對立ガ織リ成シテ
今日世界ニ漲テ居ル所ノ、經濟的ニモ、政
治的ニモ、思想的ニモ、色々不安動搖ガ
漲テ居ルデアリマス、サウ云フ中ニ存在
スル日本デアリマスガ故ニ、日本ニ於
キマシテモ是ト同様ナ状態ニ置カレテ居
ルデアリマス、而シテ此不安動搖ノ中
ニ階級ト階級トノ對立闘争ノ中カラ、
漸次無産階級ハ勝利ヲ占メ、漸次無産
階級ハ擡頭シツ、アルデアアル、今マ
デ傲然ト構ヘテ居タ所ノ非常ニ多ク
ノ特權ヲ持テ居タ者ハ、其特權ヲ一ツ一

ツ離シツ、アルト云フコトモ是レ世界ノ大
勢デアアル、ソコデ此不安動搖ノ此重大ナル
政治的轉換期ニ於キマシテ、ソレトノ國
ノ政治家ガ最も根本的のニシテ、最も重大ナル
問題トシテ考慮シナケレバナラヌ點ハ、此
世界の大勢ヲ押進メテ行クト云フ違方ト、
此世界の大勢ヲ通觀シ、之ニ漸次已ムヲ得
ズ順應シテ行クト云フ方法ト、此世界の大
勢ニ逆行シテ、飽迄モ舊來ノ——以前ノヤ
ウナ優越の地位ヲ頑強ニ把持シヤウトスル
所ノ、此三ツノ形態ガアルデアリマス、斯
様ニ論ジ來リマシテ——斯様ニ前提致シマ
シテ、然ラバ政友會内閣ハ、此三ツノ形ノ
何レニ屬スベキモノデアアルカ、前述致シマ
シタヤウニ、今日ハ有産階級ト無産階級ト
ノ間ニハ、經濟的ニモ、感情的ニモ分裂ガ
生ジテ居ル、ソレ故ニ何レノ政黨モ有産階
級ニモ無産階級ニモ——言換ヘマスルナラ
バ、國民全體ノ利害ヲ代表スルト云フコト
ハ、最早今日ニ於テハ不可能ニナツテ居ル
デアリマス、ソレ故ニコソ吾々無産黨ニ
於キマシテハ、決シテ寸毫タリトモ有産階
級ノ利害ヲ代表シテ居ルモノデハナイノデ
アリマス、吾々ハ勤勞階級ノ利害ヲノミ代
表シテ、此議會ニ臨ンデ居ルデアリマ
ス、ソレ故ニ或ル政黨ハ無産階級ノ利害ヲ
代表スルカ、有産階級ノ利害ヲ代表スルカ
ト云フモノデナクテハナラヌデアリマス
ガ、此點ヲ糊塗シ曖昧ニ致シマシテ、現政
友會内閣ニ於キマシテハ、常ニ全民衆ノ爲
ニ、全國民ノ爲ニト云フコトヲ彼等ハ口ニ
致シテ居ルデアリマス、併シ是ハ明ナ欺瞞
デアリマシテ、吾々ノ信ズル所ニ依リマス
ルナラバ、現内閣及ソレヲ支持シテ居リマ
スル所ノ政友會ト云フモノ、正體ハ、日本
ニ於ケル大資本家、大地主、官僚、軍閥、
貴族、是等ノ利害ヲ代表シテ居ルモノデア

テ、決シテ吾々無産階級ノ利害ヲ代表シテ
居ルモノデナイト吾々ハ斷定スルデアリ
マス(拍手)斯様ナ立場ニ居リマスルガ故
ニ、其一ツ——ノ施設ハ、隨テ私ガ前ニ舉
ゲマシタ三ツノ中ノ、此世界ノ大勢ヲ押進
メル方法モ執ラナケレバ、又之ニ已ムヲ得
ズ從テ行クト云フ方法モ執ラズ、勇敢ニ大
膽ニ露骨ニ無産階級ニ向テ彈壓ヲ加ヘ、以
テ是等ノ自分等ヲ代表シテ居ル所ノ階級ノ
人々ノ利害ヲ、最も忠實ニ勇敢ニ代表セン
トシテ居ルモノデアリマス、茲ニ吾々ガ現
内閣ヲ目シテ反動内閣デアルト云フ理論的
根據ガアルデアリマス、私共ハ斯様ナ觀
點カラ田中内閣ノ施政ヲ批判シテ見タイト
思フデアリマス、例ヘバ社會運動ニ對ス
ル彈壓、或ハ社會運動ヲ合法的ニ進展セシ
ムル所ノ社會立法ニ對スル怯懦、是ハ質問
演説ノ機會ニ於キマシテ、吾々ノ同志淺原
君、鈴木氏、山本君ノ質問演説ニ依ッテ大
體盡サレテ居リマスルカラ略致シマスル
ガ、斯様ナ社會運動ニ對スル彈壓、社會立
法ニ對スル怯懦ハ、本質的ニ有産階級ノ
利害ヲノミ代表シテ居ルモノデアルト云フ
コトヲ思フトキ、吾々ハ理解スルコトガ出
來ルデアリマス、更ニ財政政策ニ付テ見
マスルナラバ、今度ノ新規事業ヲ除キマシ
タ既定歳出ノ點カラ申シマシテモ、今迄ハ
無産階級ガ政治的ニ進出シテ居ナカッタノ
デアリマスルカラ、此既定歳出ト云フモノ
ハ、三年モ五年モ十年モ以前ニ組立テラレ
タ態樣デアアルデアリマス、茲ニ何等ノ新
味ヲ現ハス事ガ出來ナイ、更ニ新規事業デ
見マスルナラバ、新規事業ノ中ニ——新規
事業費ガ一億三千万圓アル、其中デ無産階
級ニ對スル施設ト見ラレルモノガ六百万圓
シカナ、而モ其中デ兵卒及通信從業員ノ
待遇改善費、是ハ先日鈴木氏が申シマシタ

ヤウニ、社會政策費ト目スルコトガ出來ナ
イデアリマスルガ、斯ウ云フモノヲ除イ
タ所謂純社會政策費ト目サレルモノガ、僅
ニ二百万圓ニシカ當ラナイデアリマス、
是ハ新規事業費ノ中デ率ヲ採リマスルナラ
バ、僅カニ六十分ノ一デアアル、更ニ豫算總額
中ニ於キマシテ、無産階級ノ爲ノ施設ト考ヘ
ラレルモノハ、僅ニ二百分ノ一ニシカ過ギ
ナイデアリマス、之ヲ以テシマシテモ飽
迄モ此財政方針ト云フモノハ——此豫算ト
云フモノハ「ブルジョア」本位ノ豫算デア
ルト云フコトヲ斷定スルコトガ出來ルデア
リマス、更ニ稅制整理ニ於キマシテ、兩稅委
讓ニ付テ、此原案ノ説明ニ當リマシテ、政
府及政友會諸君ノ言フ所ニ依リマス、此
兩稅委讓ハ地方分權ノ爲デアルトカ、財源
ヲ地方ニ委讓スルデアルト云フコト思フ
ト、一面ニ又是ハ減稅デアルト云フデア
リマス、少クモ社會政策の意味ヲ含メタ所
ノ中産階級以下ノ減稅デアルト云フテ居ル
デアリマス、併ナガラ茲ニ注意シナケレ
バナラヌコトハ、中産階級以下ノ者ノ減稅
ヲ行フト云フコトハ、ソレトハ反射的ニ、
ソレトハ對立的のニ、有産階級ノ増稅ヲシナ
ケレバ意味ヲ成サナイデアリマス、有産
階級ノ増稅ヲ爲サズシテ無産階級ノ減稅ヲ
スルト云フコトハ、ソレハ恰モ木ニ縁テ
魚ヲ求メルガ如キ、荒唐無稽ノコトデア
ルト吾々ハ斷定セザルヲ得ナイデア
リマス、例ヘバ吾々ハ兩稅ヲ委讓シ、
サウシテ中産階級以下ノ者ノ負擔ヲ輕減
スル爲ニハ、財產稅ノ累進高率賦課、例
ヘバ相續稅デアルトカ、或ハ營業稅デア
ルトカ、資本利子稅ト云フヤウナモノヲ
高率累進課稅シナケレバ、此減稅ガ行ハレ
ルモノデハナイ、更ニ又現内閣ハ常ニ社
會政策ヲ口ニ致シマスガ、社會政策ヲ實行

スル爲ニハ莫大ナル財源ガ必要ニナリテ來ル、其財源ハ矢張有産階級ノ、即チ擔稅能力ノアル所ノ「ブルジョア」階級ニ重稅ヲ課スルノデナケレバ、斯ウ云フコトハ實現出來ナイノデアリマス、即チ此點ハ吾々無産黨ノ「スローガン」デアリマス所ノ、勤勞階級ニハ減稅ヲシテ、有産階級ニハ重稅ヲ課セヨト云フ、此「スローガン」ニ依ルニ非ラザレバ、勤勞階級ノ減稅及社會政策ハ斷ジテ行フコトが出来ナイノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、此點ニ何等言及スル所ナク、此點ニ一指モ觸ル、コトナクシテ、ロニ社會政策ヲ唱へ、或ハ兩稅ノ委讓ハ減稅デアルト云フ所ニ、現内閣ガ澎湃トシテ起リツツアル所ノ民衆ノ輿望ニ迎合シ、之ヲ胡麻化サントシツ、モ、尙ホ自分等ノ主人公デアリ所ノ「ブルジョア」階級ノ「ボケツ」カラ一錢モ出スコトヲモ彼等ハ爲シ得ナイ所ノ、「ブルジョア」階級ノ正體ヲ此點ニ於テモ暴露シテ居ルノデアリマス、之ヲ對外交ニ見マシテモ、近世ノ優越國家ノ外交方針ハ領土ノ侵略主義、植民政策的或ハ經濟的進出、若クハ經濟的榨取、斯ウ云フ風ニ推移變遷シツ、アルノデアリマスガ、ソレト對立シテ先刻申シマシタヤウナ弱小民族ノ自覺、是ノ對抗的運動、斯ウ云フモノガ起リマシテ、其處ニ優越國家ト弱小民族國家トノ間ノ對立ガ行ハレテ居ルノデアリマス、此點ヲ見マシテ、現内閣ノ此對外交ノ狀態ヲ見マシテ、今や隣國中國ノ民衆ハ長イ間ノ軍閥ノ榨取ノ下ニ沈淪シテ居ッタノガ、澎湃トシテ押寄セテ來タ所ノ世界的、此解放ノ聲光ニ刺戟サレマシテ、奮然起テ上リマシテ、自己ノ運命ヲ開拓スル所ノ所謂國民革命運動ヲ起シテ來タノデアリマス、是ハ世界の大勢デアリ、社會進化ノ法則ニ依テ已ムコトヲ得ザルモノデ

アリマスルガ故ニ、現内閣ガ此狀態ニ同情シ、此狀態ニ理解ヲ持ツト云フ態度ヲ持テ居リマスルナラバ、此必然的ナ傾向ヲ援助シ、支那ノ國家ヲ新シク建設サセルコトニ依テ、支那ト日本トノ間ニ、其處ニ本當ノ意味ノ日支親善ガ形成サレルノデアリマスルガ、之ヲ理解セズ、前述ノヤウナ立場ニ立テ居リマスルガ故ニ、此民衆ノ新國家ヲ形成シヤウトスル所ヲ彈壓シ、以テ自己ノ「バック」ヲ爲ス所ノ日本ノ特權階級ノ御意ニ適フヤウナ政策ヲ執ラントシタ所ノ、即チ時代ノ趨勢ニ逆行スル所ノ對外交ヲ執ッタト云フ所ニ、一切ノ對外交ノ失敗ノ原因ガ潜シテ居ルノデアリマス(拍手)要スルニ依然トシテ舊套ヲ脱シ切レナイ所ノ現地保護主義、即チ何カ事ガアレバ直グ兵隊ヲ繰出シテ、兵隊ノ力ニ依テ現地ニ於テ保護シヤウト云フ、此政策ヲ放棄スルノニアラザレバ、何時ノ日ニカ日支親善、日本ト支那トノ經濟的關係ガ良好ニナルコトハ斷ジテアリ得ナイノデアリマス(拍手)更ニ綱紀問題ニ付テ之ヲ見マスルナラバ、前ニ資本主義ノ發達ハ、其資本主義ガ持ツ所ノ、資本主義ガ内抱スル所ノ、當然ノ矛盾ノ發展ニ依リマシテ、無産階級ノ反抗運動ガ起ルト云フコトヲ述ベマシタガ、此無産階級ノ反抗運動ニ資本家ガ直接對抗スル爲ニハ、餘リニ無産階級ノ力ガ偉大デアル、ソコデ資本家ハ經濟上ニ於ケル無産階級トノ對立闘争ニハモウ勝テナクナッテ來ル、ソコデ資本家階級ハ權力ヲ要求スルコトニナリ、一方近代ノ政權ヲ持テ居リマスルモノハ、金力ガナケレバ政權ガ維持出來ナイト云フ政治家ハ、金力ヲ要求スルヤウニナッテ來テ居ル、資本家ハ金力ヲ持テ居ルモノハ權力ヲ要求シ、權力ヲ持テ居ルモノハ財力ヲ要求スルコト云フ所ニ、此兩方ノ要求ガ

一ツニナッテ、始メテ茲ニ金融寡頭政治ト云フモノガ生レテ來ルノデアリマス、田中總理大臣ハ政友會ノ中ニ多クノ政治的手腕ヲ持ッタ所ノ古強者ガアルニモ拘ラズ、是等ヲ袖ニ致シマシテ、何等政治的經驗ヲ持タナイ所ノ只單ナル一商人ヲ拾上デテ大臣ノ椅子ニ据エルト云フコトハ、吾々ノ以テ理解スルコトノ出來ナイコトデアル、而モ其大臣ノ椅子ニ拾上デラレタ所ノ久原房之助氏ガ大臣ノ椅子ニ坐テ數箇月ナラズシテ、政友會ノ腕利キデアアル所ノ鈴木喜三郎氏ノ勢力ヲ壓倒シテ、久原氏ガ政友會ノ中心勢力ニナルニ至ッタト云フコトハ、何處ニ原因ガアルカト云フコトヲ吾々ハ怪マザルヲ得ナイノデアリマス、元來資本主義ト云フモノハ一切ノモノヲ商品化スル傾向ガアルノデアリマス、例ヘバ勞働者ヲ人格トシテ認メズ、勞働者ヲ單ナル機械、單ナル道具ト考ヘル所カラ、近代の重大問題デアアル所ノ勞働問題ガ發生シテ居ル、資本主義ハ斯ウ云フ特徵ヲ持テ居ルノデアリマスガ、資本主義ノ代表的「チヤンピオン」デアリマス所ノ久原房之助氏ハ、此思想的根據ニ立チマシテ、帝國ノ此議員ヲ道具ニシ、機械ニシ、議員ヲ商品化シテ、之ヲ商品ノ如ク金デ買收シヤウト云フ遺方ニナッテ居ルノデアリマス(拍手)私共ハ此點タケヲ見マシテ、現内閣ガ如何ニ金力ト財力ト結託シテ、即チ金權内閣デアアルト云フコトヲ立證スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、以上ノ論證ニ依リマシテ、吾々ハ現内閣ハ内ニ大多數勤勞階級ノ自治的解放運動ヲ彈壓シ、以テ其幸福ヲ犧牲ヲ供シ、資本家地主ノ利益ヲノミ擁護スルモノデアリ、更ニ隣邦支那ニ對シマシテハ、支那ノ民衆ガ今や世界の潮流ニ掉シテ奮然新國家ヲ建設シヤウトスルニ對シテ之ヲ壓迫防害シ、以テ日本ノ

一部階級ノ爲ニ迎合セントシテ居ル、思フニ此事實ヲ以テ見マスルナラバ、吾々ハ現内閣ハ世界ノ大勢ニ逆行シ、社會進化ノ法則ヲ蹂躪スル所ノ反動内閣デアッテ、今日昭和維新ガ叫バレルヤウナ此政治的重大ナル轉換期ニ於キマシテハ、其使命ヲ全ウスルコトノ出來ナイ所ノ、隨テ一日モ其存在ヲ許スコトノ出來ナイモノデアルト斷言セザルヲ得ナイノデアリマス、依テ吾々ハ茲ニ勤勞無産階級大衆ノ名ニ依テ現田中内閣ヲ彈劾スルモノデアリマス、終リニ一言附加ヘテ置キタイコトハ、吾々無産黨議員ノ投票ハ僅ニ八票デアアル、ケレドモ現内閣ノ選舉干涉ニ依テ惜シクモ敗レタ所ノ、吾々ノ同僚ノ怨ヲモ附加ヘテ吾々ハ投票スルノデアアル、又其選舉干涉ニ依テ自己ノ政治的意見ヲ此議會ニ眞直ニ反映セシムルコトノ出來ナカッタ大多數民衆ノ希望ヲモ添ヘテ、吾々ハ之ニ投票スル者デアアル、更ニ現在民政黨ニ居ラル、方々、又選舉當時政友會ニ居ラレタ方々ヲ除イタ其他ノ人々ニ私ハ一言呈シタイノデアリマス、吾々ハ立憲政治ノ本分ヲ茲ニ想ヒ起シ、吾々ガ選舉ノ當時ニ現内閣ヲ信任スルカ、反對スルカト云フコトニ付テ選舉民ニ約束シタコトヲ想ヒ起シ、其當時ノ選舉民ガ如何ニ田中内閣ノ倒潰ヲ熱望シテ居ッタカト云フコトヲ想ヒ起シ……

(清瀨副議長議長席ヲ退キ元田議長復席)

更ニ選舉當時政友會議員デアッタ人ヲ除イタ全部ノ人ガ、立憲政治ノ本義ニ則ッテ全部田中反動内閣打倒ノ爲ノ不信任案ニ、御賛成アラフコトヲ希望スルモノデアリマス

○工藤鐵男君 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス、通告シテ居リマス

○議長(元田肇君) 工藤鐵男君ヨリ議事進行ニ關スル意見ヲ發言ヲ求メラレマシタ、

議長ハ之ヲ許シマス

〔工藤鐵男君登壇〕

○工藤鐵男君 本日ハ我ガ立憲政治ノ論争ノ上ニ最モ特筆セラル、所ノ、一大記録ヲ作ル日デアリマス、故ニ我ガ黨ハ其主張ノ下ニ其總裁濱口氏ハ自ラ此壇上ニ起テ、反對黨ニ對シ國家ノ爲ニ其經綸ヲ吐イタコトハ諸君モ御承知ノ通りデアリマス、斯ノ如ク我ガ立憲政治ノ發展ノ爲ニ、國策ノ確立ノ爲ニ、何レモ慎重ニ緊張セル態度ヲ以テ私共ハ此議場ニ臨ンデ居ルデアリマセスカ、然ルニ現内閣總理大臣兼外務大臣田中義一君其人ノ本議場ニ對スル所ノ態度ハ、實ニ私共ヲシテ茫然自失セシムルモノガアルト云フコトヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、貴方ハ五十三議會初メテ――

〔此時發言スル者多シ〕

○議長（元田肇君）　靜肅ニ願ヒマス

○工藤鐵男君(續) 帝國議會ノ開院式ヲ行ハセラレマシタ時ニ、最貴ナル玉座ニ對シ奉テ拜禮スルコトヲ忘レ、高橋大藏大臣ヨリ袖ヲ引張ラレテ、初メテ振返テ玉座ニ拜禮シタ一人デハアリマセヌカ(拍手)苟モ陸軍々人トナリ總理大臣トナリ 天皇ニ謁見スル身分ヲ以テシテ玉座ヲ拜スルコトヲ忘ル、ガ如キハ、憲法アツテ以來初メテ見ル所ノ不臣ナル態度デアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)一事ハ萬事デアリマス、此田中總理大臣ニ對シ 皇室ニ敬虔ナル念ヲ以テオヤリナサイト云フコトヲ注文スルノハ無理デアルヤモ知レヌノデアリマス、此前ノ通常議會ニ勅命煥發致シマシテ解散ヲ受ケタ、議長ガ其詔勅ヲ奉讀致シテ居リマス際ニ、是亦隣ノ閣僚ト巫山ケタヤウナ態度デ笑ウテ、而シテ詔勅ヲ吾々ハ拜シタコトヲ、其當時新聞紙上ニモ傳ヘラレタデハアリマセヌカ(拍手)畏クモ詔勅デ

アリマス、如何ナル人デアッテモ、際ヲ正シテ之ヲ拜シ、而シテ茲ニ我ガ國民トシテノ最モ忠節ノ念ヲ表シナケレバナラヌノニ、人モアラウニ總理大臣タルモノガ玉座ヲ拜スルヲ忘レ、詔勅ニ對シテ斯ノ如キ不謹慎ナル態度ハ、實ニ天下民人ヲシテ憤ラシメザルモノハナイデハアリマセヌカ(拍手)

本日ハ先刻申上デマシタ通り、朝野兩黨ニ取ッテハ大切ナル論議ノ日デアル、而モ濱口氏ノ所謂政策ヲ超越シタル我ガ立憲政治ノ根本ニ關スル問題デアルノデアリマス、而シテ其一ツトシテハ言フマデモナク總理大臣御自身ハ、自ラ閣僚ヲ率ユルコトガ出來ズ、之ヲ統御スルコトノ能力ナクシテ

(拍手) 松田源治君ハ此問題ニ論及シテ居リ

マシタ際ニ、或ハ手ヲ組ンデ天井ヲ見テ笑フ
テ見タリ、隣ノ小川鐵道大臣ト私語シテ冷
笑シテ見タリ、議場カラ見タル田中總理大
臣ノ態度ハ、現議員ヲ侮辱シ、併セテ皇室
ニ對シテ敬虔ノ念ヲ缺イテ居ルト云フコト
ヲ見得ルノデアリマス（拍手）果シテ貴方ハ
總理大臣トシテ、陸軍々人トシテ、長イ間
皇室ニ御奉公ナサレタノデアリマス、然レ
ドモ私共ノ親シク聽イタ所ニ依リマスレバ、
宮中ニ於テ陛下ニ御側近ナサレテ居ル所ノ
宮中ノ役人ハ、田中大將ノ宮中ニ於ケル態
度ニハ冷ヤシシテ、何トモ言ハレヌト言ウ
テ居ルノデアリマス（拍手）此事實ヲ知ツテ
居リマス、又臺灣總督上山滿之進君ノ辭表
ニ對シ陛下ハ優渥ナル御詔ヲ賜フテ責任
無シト仰セラレ、此點ニ關シテ豫算委員會
ニ於テ吾々ノ同志ハ、之ヲ追究シタ際ニ、
宮中ノ事ハ言フベカラズトシテ口ヲ嚙ン
ダノデアリマス、ソレ程ノ皇室ニ對シテ畏
多イ念ヲ持ツテ居ルモノナラバ、或

ハ玉座ヲ拜スルコトモ忘レナイ筈デアリマス、或ハ不謹慎ナル態度ヲ此席上ニ於テ重サヌ筈デアリマス、シテ見マスレバ宮中ニ於テノ上山滿之進君ノ辭表問題、一度ハ陛下ノ思召ニ依テ御下ゲニナッタノヲ再ビ辭表ヲ出サシテ問題ニナッテ、上御一人ニ對シテ諄カラザル御配慮ヲ惱シ奉タト云フコトコソハ、實ニ我ガ帝國ニ取ッテ國民道徳ヲ破壊シ、一國ノ師表タルベキ所ノ……（拍手起リ發言スル者多シ）……爲セシ心理ハ、國民ノ代表者ヲ辱シムル所ノ、最モ忌ムベキ政治家デアルト云フコトヲ、私ハ宣言スルニ憚ラヌノデアリマス（拍手）諸君、私共ハ荒唐無稽ナル言ヲ以テ……

○議長（元田肇君）　靜肅ニ願ヒマス

○工藤鐵男君(續) 總理大臣ヲ誣フルモノ

デハナイ、開院式ノ場所ニ於テモ、議會解散ノ詔勅ノ煥發シタ際ニモ、今現ニ本日此席ニ於テ見ルガ如ク、實ニ不謹慎極マル態度デアリマス、果セル哉宮中問題ハ頻發致シ、果セル哉、不親切ナル態度ヲ以テ豫算委員會ニ臨ミ、若クハ本會ニ臨ミ、爲ス所悉ク虚偽ナラザルハナイ、爲ス所悉ク不誠意ナラザルハナク、斯ノ如クニシテ果シテ貴方ハ、上御一人ニ對シテ臣節ヲ完ウシ、國ノ政治ヲ運用シ得ル所ノ能力アリト、自ラ信ジテ居ラレルカ疑ハザルヲ得ナイ……

〔「議長々々」「默レ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス
○工藤鐵男君(續) 私ハ議長ヨリ何等干渉ヲ受クベキ言葉ヲ弄シテ居ラヌカラ、御安心下サイ(拍手) 私ハ斯ノ如ク現實ニ私共ノ見聞シタルコトヲ、貴方ニ申上ゲルノデアリマス、總理大臣ト致シマシテハ、我が國

事ノ多端ナル際、眞劍ニ眞面目ニ緊張シタル態度ヲ以テ、本議場ニ臨マナケレバナラヌ、以上申上ゲタル態度ヲ以テ議場ニ臨ムト云フコトハ、國務ノ審議ヲ圓滿ナラシムル爲ニ、到底不可能ナルコトデアリマスカハラ、先ヅ以テ田中總理大臣ハ、此議場ニ於テ優詭ノ討論中、濫ニ不謹慎ナル態度ヲ以テシタルコトハ、宮中ニ對スル敬虔ノ念ヲ缺イテ居ルノミナラズ、併セテ此議場ニ對シテ輕蔑シテ居ルコトハ、明カデアリマスカラ、田中總理大臣御自身、本院ヲ尊重シ、宮中ニ對スル所ノ敬虔ノ念アリト致シマシタナラバ、須ク率直ニ、本院ニ對シテ陳謝センコトヲ希望致スノデアリマス、若

中義一君ハ、御優詔ニ關スル審議中、不謹

慎ナル態度アリトシテ、皇室ニ對スル敬虔

ノ念ヲ缺キ、本院ヲ侮辱シタルモノナリト
ノ意味デ、速ニ陳謝センコトヲ望ムト云フ
動議ヲ提出致シマシテ、田中總理大臣ノ反
省ヲ促シタイノデアリマス

〔拍手起リ〕「議長タタ」「陳謝スベシ」ト
呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長（元田肇君） 靜ニナサイ——靜ニナ
サイ——靜ニナサイ——靜ニナサイ——靜
ニナサラヌト分リマセヌ——靜ニナサ
イ——靜ニナサイ

〔靜ニシロ〕「陳謝スベシ」ト呼ヒ其他
發言スル者多シ

○議長（元田肇君） 只今ノ工藤君ノ發言セ

ラレマシタコトハ——静ニナサイ——發言
セラレマシタコトハ、動議ヲ提出スルト云
フノデアリマス、動議ト云フコトナラバ、
議場ニ諮ハナケレバナリマセヌ、分リマシ
タカ——議場ニ諮ハナケレバナリマセ
ヌ——原君何デスカ——原惣兵衛君

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 議場ガ混亂致シマスカラ、暫ク休憩致シマス

午後七時十九分休憩

午後十時十分開議

〔發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス、休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 休憩前ニハ原惣兵衛君ガ……

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 御靜ニ願ヒマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——御靜ニ願ヒマス——御靜ニ願ヒマス——休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、休憩前ノ會議ニ於キマシテ工藤鐵男君ハ議事進行ニ關スル發言ヲシテ……

〔議場騒然聽取スル能ハス〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス、尙ホ休憩前ニ於ケル議場内ノ狀況ニ付キマシテハ……

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 休憩前原君ニ發言ヲ許シマシタカラ、原君ノ登壇ヲ求メマス——

〔原惣兵衛君登壇〕

〔此時發言者、離席者多ク議場喧嘩極ム〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

〔議場騒然議長號鈴ヲ鳴ラス〕

○議長(元田肇君) 御靜ニナサイ、——御靜

ニナサイ

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 山崎傳之助君ニ登壇ヲ命ジマス(拍手起ル)

○原惣兵衛君 僕ハ許可ヲ得テ居ルカラ斷ジタイケナイ

○議長(元田肇君) 原君ニ降壇ヲ命ジマス

〔山崎傳之助君登壇〕

○山崎傳之助君 諸君、私ハ御承知ノ通りノ新米議員デアリマス、此議場ノ一切ハ、私ハ甚ダ不明瞭デアリマスガ、唯私ハ發言ヲ求ムルコトニ於キマシテ、殆ド十數日掛シタノデアリマス(此時發言スル者多シ)一寸御靜ニ——然ルニ私ガ今日此議場ニ於キマシテ發言ヲ求メルト云フ所以ハ、議事進行ニ關スル問題デアリマス(拍手)其一事ハ吾

吾ガ此處ニブラ下ダテ居ル所ノ徽章ノ問題デアル、此院内ニ於キマシテ吾々ガ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○山崎傳之助君(續) 此徽章ガアルニアラザレバ、此議場ニ列スルコトガ出來ナイノデアリマス、然ルニ見渡ス所ニ依リマスト云フト、此處ニ居ル原司法大臣、陸海軍兩大臣ガ此徽章ヲ佩用致シテ居ラナイノデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○山崎傳之助君(續) 是ハ陸軍大臣、海軍大臣、或ハ司法大臣ニハ除外例ガアルノカドウカト云フコトガ、私ハ分ラヌノデアリマス、(拍手)唯之ヲ取締ル所ノ守衛諸君ニ依リマシテ、アレハ司法大臣ナリ、アレハ陸海軍ノ大臣ナリト云フコトニ依テ、之ヲ唯甄別ヲ致シマシテ、而シテアノ人ハ司法大臣デアル、アノ人ハ陸軍大臣デアル、アノ人ハ海軍大臣デアルト云フコトニ依テ、サ

ウシテ此徽章ヲ佩用セザルニ拘ラズ、此處ニ登壇ヲセラレタト云フコトハ何ノコトデアリマスガ、私ハ其點ニ付キマシテ甚ダ疑問ヲ生ズルノデアリマス、(此時發言スル者多シ)諸君騒ガズニドウカ御聽キヲ願ヒタイ、ソレカラモウツ御伺ヲ致シタイコトハ、是ハ畏多イコトデアリマスガ、直訴ニ關スル問題デアリマス、直訴ニ關スル問題デアリマス、田中内閣ガ組織ヲ致シマシテ、約二箇年ニ垂ント致シテ居リマスルガ、此間直訴ト云フコトガ、即チ 天皇陛下ニ對スル直接ノ訴ヲスルト云フコトガ、約十二回ニ達シテ居ルノデアリマス、御分リニナリマシタカ、昨年度ニ於キマシテ七回ニ達シテ居ル、即チ昨年ノ一月カラ十二月ニ於キマスル其間、十二箇月ノ間ニ七回致シテ居ル、所ガ七回ニ達シテ居リマスガ、其中

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

○山崎傳之助君(續) 吾輩ハ如何ニ御騒ギニナッテモ、騒ガナクテモ、今晚十二時迄續ケルゾ(拍手)唯、水谷君ノヤウニ、俺ハ此席上ニ頑張ルト云フノデナイ、言論ヲ續ケマスルゾ、何處迄モ言論ヲ續ケルノデアリマス(此時發言スル者多シ)ウント御騒ギナサイ、如何ニ騒イデモ、如何ニ狂ッテモ、吾輩ハ十二時迄此壇上ニ頑張ル(緩クリヤレ)

ト呼フ者アリ(吾輩ハ緩クリヤラウト思ッテ居ル、此演壇ハ吾輩ガ占領シテ居リマス、諸君、其直訴ノ問題ノ中ニ、昨年ノ六月ノ十九日ニ畏多クモ 天皇陛下ガ彼ノ護國寺ニ行幸遊バサレタ時ニ、所謂直訴ガアッタノデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜ニナサイ

○山崎傳之助君(續) 諸君、騒ギ給フナ、

何ガ故ニ騒ギマスルカ、其護國寺ニ御出デニナリマシタ當時ニ直訴ガアッタノデアル、其時ニ其直訴者ガ、殆ド御車ニ手ガ觸タデハナイカ、ソレニ「カメラ」ガ撮ッタノデアル(其通り)ト呼フ者アリ)ソレハ或新聞社ノ「カメラ」デアッタノデアリマス、サウシテ警衛ヲ致シテ居リマスル所ノ刑事ト共ニドタンバタンヲヤッタンデセウ、ドタン、バタンヤッタノデアル、其ドタン、バタンヲヤッタ所ガ、ソレヲデス、警視廳カ誰カ分リマセヌ、其「カメラ」ニ向ッテ或新聞ガ數十萬ノ新聞ヲ印刷致シタノデアル、所ガ是ハ大變デアルト云フノデ、其新聞ヲ抹殺致シタノデアリマス、事實ハドウカ分リマセヌ、私ハ自身ニ調査ヲ致シタノデアリマセヌカラ、其事實ハドウカ分リマセヌガ、併シ抹殺ヲ致シタト云フ噂デアリマス(拍手)諸君私ハ有ユル方面カラ壓迫ヲ蒙リマシテ、發言セント欲スレバ、我輩ヨリ或ハ之ヲ制限サレル、私ハ此演壇ニ立ツト云フト又議長カラ制限ヲサレタ、私ハ洵ニ新米ナルガ故ニ不幸ナ立場ニ在ルノデヌ、唯議事進行ニ關スルコトノミオヤリナサイト云フ、只今ノ議長ノ御命令デゴザイマスノデ、私ハ是以上ニ多クヲ語ルコトハ止メマス、唯アノ寫眞ノ問題ニ付キマシテ、ドウカ田中總理大臣ノ御答辯ヲ戴キマスルナラバ、甚ダ結構デゴザイマス、若シ田中總理大臣ノ御答辯ガゴザイマセヌナラバ、ドウカ望月内務大臣ノ御答辯ガゴザイマセヌレバ、頗ル私ハ是以上ノ満足ハゴザイマセヌ

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——只今山崎傳之助君ヨリ國務大臣ハ何故徽章ヲ附ケヌカト云フ議長ニ御尋デアリマスガ、國務大臣ノ徽章ヲ附ケルト云フ正條ハナイノデアリマスカラ、是ダケ議長ヨリ御返事

ヲ申上ダマス——更ニ申上ダマス——更ニ申上ダマス

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——國務大臣ハ何等ノ答辯ハアリマセヌ——原惣兵衛君ヨリ本案ノ採決ニ至ルマデ通告順ノ討論ノ外議事進行其他一切……

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 一切ノ發言ヲ禁止スルノ動議ガ提出サレマシタ、直ニ原君ニ動議ノ趣旨辯明ヲ求メマス——原惣兵衛君

〔議場騒然〕

〔原惣兵衛君登壇〕

〔議場騒然〕

○原惣兵衛君 只今私ハ議長ノ發言ノ許シヲ得マシテ茲ニ動議ヲ提出致シマス、即チ本案ノ採決ニ至ルマデ通告順ノ討論以外ハ一切、此際議事其他ニ拘ラズ發言ヲ禁止スルノ動議ヲ提出致シマス(拍手)

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス

〔採決〕「採決」ト呼ヒ其他發言者、離席者多ク議場喧囂ヲ極ム

○議長(元田肇君) 靜ニナサイ——降壇ナサイ——降壇ナサイ

〔議場騒然議長號鈴ヲ鳴ラス〕

○議長(元田肇君) 降壇ヲ命ジマス——降壇ヲ命ジマス——降壇ヲ命ジマス

〔議長ノ宣告ガ更ニ分ラヌ〕ト呼ヒ其他發言又ハ離席スル者多ク議場喧囂ヲ極ム

○議長(元田肇君) 議長ノ命令ヲ奉ジナイ人ハ退場ヲ命ジマス、山崎傳之助君退場ヲ命ジマス——山田毅一君退場ヲ命ジマス

〔此時離席者多ク議場喧囂ヲ極ム〕

○議長(元田肇君) 議場混亂ニ依リマシテ……議長ノ命令ヲ奉ジマセヌカラ已ムコ

ト得ズ休憩致シマス

午後十時三十九分休憩

午後十時五十分開議

○議長(元田肇君) 休憩前……

〔總理大臣ノ出席ヲ求メマス〕總理大臣ハドウシタト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(元田肇君) 只今總理大臣ヲ迎ヘニ行ッテ居リマス

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 御靜ニ願ヒマス——御靜ニ願ヒマス——休憩前ニ引續イテ議事ヲ開イタノデゴザイマスガ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 靜ニ御聽ヲ願ヒマス、休憩前ニ原君カラ緊急動議ガ出マシテ、本案ノ採決ニ至ルマデ、通告順ニ依リ討論ノ外、議事進行其他一切ノ發言ヲ許可セズトノ動議ガ出マシタ、成規ノ賛成ガアリマス……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 反對ノ通告ガ武富濟君カラ反對ノ通告ヲ致シテアリマス——武富濟君

〔武富濟君登壇〕

○武富濟君 諸君、本員ハ原惣兵衛君ノ動議ニ反對ノ意見ヲ表明致シマス、原君ノ動議ハ本案ノ採決ニ至ルマデ、通告順ニ依リ討論ノ外、議事進行其他一切ノ發言ヲ許可セズトノ趣意デアリマス、併シ私共ハ絕對ニ反對ノ意思ヲ表明スルモノデアリマス(拍手)言論政治ニ於テ、言論ヲ封ジテ多數ヲ以テ壓迫シテ、吾々ノ論議ヲ十分ニ盡サセナイト云フコトハ、明ニ立憲政治ノ破壊其モノデアアル、能ク議論ヲ盡シテ意見ノ交換ヲ爲シテ……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○武富濟君(續) 殆ド缺クル所ナキニ至テ、初メテ結論ニ到達ヲシナケレバナラヌ、若シ政友會ノ諸君ガ、此私ノ反對ノ意見ヲ妨害センガ爲ニ騷擾ヲ逞シケラル、ナラバ、議場ガ靜穩ニナルマデ、已ムヲ得ズ沈黙シテ此壇上ニ立タナケレバナラヌノアデリマス、若シ時間ヲ尊シデ、早く議事ノ進行ヲ進メントノ御意思ガアルナラバ、頗ル靜肅ニ一言モ間漏スマジト、武富說ヲ御聽キガ願ヒタイノデアリマス、ソコデ今日ノ議場ノ混亂ハ、甚ダ遺憾トスル所デアリマスルケレドモ、併ナガラ其原因ヲ觀察致シマスルノニ、責ハ實ニ田中義一總理大臣ノ態度ニアルノデアリマス(拍手)我同志工藤君ガ、田中首相ノ皇室ニ關スル忠誠ノ念ヲ疑ヒ、不臣不忠ノ態度デハナイカト論詰シテ、即チ五十三議會ニ於テハ、玉座ニ對スル敬禮ヲ忘レ(拍手)五十四議會ニ於テハ、詔勅降下ノ折ニ、吾等ハ總起立ヲシテ謹愼深ク御趣旨ヲ承クノデアリマスケレドモ、田中首相ハ傲然トシテ著席シテ空嘯イテ居ルガ如キ態度ヲ執リ、又當議會ニ於テ久邇宮元帥殿下ニ對スル弔詞ヲ議決致シマシタル場合ニ、總員ハ敬意ヲ表シテ總起立ヲ致シタノデアリマシタガ、獨リ田中首相ハ起立ヲセヌノミナラズ、腕組ヲシテ著席シテ居、事實ガアルノデアリマス、

〔嘘ヲ言ヘ〕「嘘ヲ言フナ」其他發言スル者多シ 事實デアリマス、而シテ又本日ハ頗ル謹嚴ナル態度ニ於テ、我が工藤君ガ……〔彼處ガヤカマシイ〕「アノ邊ガヤカマシイ」退場サセロ」其他發言スル者多シ

○議長(元田肇君) 御靜ニ願ヒマス——靜

肅ニナサイ——靜肅ニナサイ

○武富濟君(續) 言動ヲ慎シデ田中大將ノ陳謝ヲ要求シテ居ル、獨リハ工藤君一個ノ意見デハナイ、吾々民政黨員全體ノ意見デハナイ、實ニ滿天下日本國民ノ意見ヲ以テ、田中首相ニ問詰ヲシテ居ルデアアル、田中首相ハ軍人デアリ、大將デアリ、殊ニ恩寵ヲ恣ニ致シマシテ、皇室ノ藩屏タル榮位ヲモ持ッテ居ル人デアリマス、然ラバ工藤君ノ詰問ニ對シテハ、襟ヲ正シテ其言說ヲ聽カナケレバナラヌ、間イテ若シ……

○議長(元田肇君) 武富サン、武富サン……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 山崎傳之助君、山田毅一君ニハ退場ヲ命ジマシタ、先刻……

〔退場ヲ命ジロ〕ト呼ヒ其他發言者多シ

○議長(元田肇君) 山田毅一君ハ退場ヲ命ジタノデス——退場ヲ命ジタノデス——退場ヲ命ジタノデス

〔此時發言者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜ニナサイ——靜ニ御聽ヲ願ヒタウゴザイマス

〔取消セ〕ト呼フ者アリ議場騒然

○議長(元田肇君) 山田毅一君ハ先刻此處ニ上ラレマシテ、降壇ヲ屢、促シマシタケレドモ降壇シマセヌカラ、議長ハ退場ヲ命ジマシタ、然ルニ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(元田肇君) 御待ナナサイ——然ルニ山田毅一君ハ交渉委員ト云フコトデアリマシテ、議長ノ命令ヲ奉ジナケレバ、交渉委員デアラウガ、何デアラウガ、議長ハ退場ヲ命ズルノデアリマスガ、休憩前ニ命ジタノデアリマスカラシテ、議長ハ山田毅一君ニハ、入場ヲ新ニ許シマス

〔此時發言者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 更ニ御聽ヲ願ヒマス、山崎傳之助君ハ屢、此壇上ニ上リマシテ、議長ガ降壇ヲ促シマシタガ承知シマセヌ、屢、促シマシタガ……退場ヲ命ジタノデアリマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 鎮マリナサイ——鎮マリナサイ、山崎傳之助君ハ退場ヲ命ジテ取消シテ居リマセヌ、議長ハ退場ヲ命ジマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 御靜ニ願ヒマス——山崎君ハ議長ノ命令ニ服シマセヌカ、改メテ御尋ヲ致シマス——議長ノ命ニ服シマセヌケレバ懲罰ニ付シマス

〔議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——靜ニ願ヒマス、議長ハ山崎傳之助君ニ降壇ヲ屢、促シマシタガ、肯キマセヌ故ニ、退場ヲ命ジ、懲罰ニ付シタノデアリマスガ、ソレモ肯キマセヌ、然ルニ只今同君ガ、自分自ラ退場致サレマシタ、是ニ於テ議長ノ命令モ稍、徹底致シマシタカラ、今後ニ於テ、山崎傳之助君ハ必ズサウアラウトモ考ヘマセヌシ、重要ナ議事デアリマスカラ、改メテ入場ヲ許シマス

〔拍手起リ議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ……

〔發言スル者アリ議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——御著席ヲ願ヒマス——御著席ヲ願ヒマス

○武富濟君(續) 諸君、工藤君ノ議事進行ニ關シテ、首相ニ對スル要求ハ、事皇室ニ關係スルノデアリマスルカラ、首相ハ宜シク襟ヲ正シテ、工藤君ノ言ヲ聞クベク、而シテ工藤君ノ言ニシテ、相當ノ理由アリ

ト認メラレタル時ニハ、自己ノ面目如何ニ拘ラズ、改ムベキハ之ヲ改メ、謝罪スベキハ謝罪スルノガ、立憲大臣デアルト申サナケレバナラヌ(拍手)然ルニ、徒ニ私ノ面目ヲ慮ンデ……

〔發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス——御靜ニナサイ——御靜ニナサイ

○武富濟君(續) 若シ田中大將ニシテ、皇室ヲ尊敬スルノ念慮ガ篤イ人物デアリマシタナラバ、些細ナル過失ト雖モ、恐慄ノ至ニ堪エズトシテ、吾々國民ノ代表者ニ謝罪スベキ筈デアル(拍手)然ルニ晚ヲ拱イデ……

○議長(元田肇君) 本問題ノ反對論ヲ御述ベナサイ

○武富濟君(續) 傲然トシテ空嘯イテ、何處ヲ風ガ吹クカト云フヤウナ態度ヲシテ……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 靜ニナサイ——靜肅ニ願ヒマス

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(元田肇君) 宣言致シマス、斯ノ如キ騷擾ノ間ニ於テハ、議事ノ進行ハ出來マセヌ、故ニ本日ハ是デ散會致シマス——散會ヲ宣告致シマシタ

〔拍手起ル〕

午後十一時二十八分散會

